

消防年報



横手盆地と鳥海山

横手市消防本部
令和6年(2024)刊行



横手盆地と鳥海山

【表紙写真説明】

横手盆地は、秋田県の内陸南部に位置し、奥羽山脈と出羽山地に囲まれ、雄物川とその支流が流れる県内最大の平地です。県内有数の穀倉地帯でもあり、特に「あきたこまち」の生産が盛んにおこなわれています。

この横手盆地からは真っ白な鳥海山が綺麗に眺めることができます。鳥海山は秋田県と山形県に跨る標高2,236mの山です。美しい山容は、出羽富士（でわふじ）とも呼ばれ、秋田県では秋田富士（あきたふじ）とも呼ばれています。

目 次

はしがき

横手市章	
横手市消防本部一目統計	
横手市の特性	1
消防の沿革	2
管内状況	9
横手市の位置	10

総務編

消防庁舎配置図	11
消防庁舎所在地一覧	12
消防組織図	13
消防本部事務分掌表	14
消防署・分署事務分掌表	16
職員配置状況・職員勤続年数	18
職員階級別年齢表	19
職員研修状況	20
職員の資格、免許等取得状況	21
年度別一般会計予算	22
令和6年度予算分類表	23
歴代消防長、次長、署長一覧表	24
消防相互応援協定等締結状況	27

予防編

防火対象物の現況	28
用途別中高層建築物の現況	29
用途別消防用設備等の設置状況	30
用途別消防用設備等 点検結果報告件数	31
用途別立入検査状況	32
建築同意等事務処理件数	33
防火管理者選任状況	34
地域別危険物施設数	35
危険物施設検査状況 危険物手数料徴収状況	36
幼年消防クラブ 火災予防組合結成状況	37
過去5年間の火災概況	38

過去5年間の火災原因	39
過去5年間の主なる火災	40

警防編

車両配置状況	41
消防車両等一覧表	42
気象統計 過去5年間の1日最多降雪量、 最深積雪	44 45
過去5年間の気温の推移	45
月別平均風速と最大風速	46
月別平均気圧の推移	46
救助概況	47
救助器具保有一覧	48

通信編

通信指令設備 高機能消防指令センター システム系統図	49 53
消防デジタル無線 システム概略図	54
119番通報受付状況 119番発信種別の比較	55

救急編

救急業務の推移	56
救急業務の実施状況	57
応急手当の普及状況	63

消防団編

勢力、年報酬及び諸手当	64
歴代消防団長一覧表	65
支部訓練大会種目別成績表	66

災害記録編

災害年表	67
------	----

は し が き

この消防年報は、主に令和5年中における消防諸般の統計及び令和6年4月現在の管内の消防現況を収録し、災害や消防活動の現状を広く一般に紹介することを目的として編集したものです。

この年報により、市消防行政へのご理解とより一層のご指導をいただければ幸いです。

令和6年10月

横手市消防本部

市章 (シンボルマークとシンボルカラー)

● シンボルマーク

横手市の「よ」と平鹿郡の「ひ」と横手市の頭文字「Y」をモチーフにデザインし、実り、田園、清流を象徴する配色としました。

さわやかで元気な人々のまち「豊かな自然・豊かな心・夢あふれる田園都市」をイメージしています。



● シンボルカラー

横手市を象徴する3色のシンボルカラーです。色名についても、横手平鹿地方にちなんだ独自の名称を設定しています。

横手美の里色[よこてみのりいろ]

一面の稲穂、色付きはじめた四季の果実などの「みのり」から、連想されるオレンジ色に、豊かで美しい里への思いを込めて命名した横手市のシンボルカラー。



横手萌木色[よこてもえぎいろ]

春から初夏の横手盆地を彩る、生命力溢れる若々しい稲や木々から連想される生命と活力、未来への実りと希望を象徴し、命名した横手市のシンボルカラー。



横手花浅葱色 [よこてはなあさぎいろ]

横手の清流と、そこから連想される初夏の青系の花を表す花色と、生命力溢れる葱の碧（あお・みどり）に由来する古典的な花色である花浅葱色に、ふるさとの清々しい環境と活力を象徴し、命名した横手市のシンボルカラー。



横手市消防本部一目統計

面積・人口・世帯・気象	面積	人口	世帯数	気象
	692.80km ² 	81,616人 男 38,755人 女 42,861人 (令和6年3月末) 	33,786世帯 (令和6年3月末) 	年平均気温 12.9℃ 年間降水量 1,889mm (令和5年中) 

予算・機構・人事	消防費	職員数	消防本部・消防署・分署	人員配置
	令和6年度当初 24億6882万円 	定数 190人 実員 173人 (令和6年4月1日) 	消防本部 1 消防署 1 分署 4 	消防本部 31人 消防署 38人 南分署 34人 西分署 34人 平鹿分署 22人 山内分署 14人 計 173人

車両	消防ポンプ車	特殊車両	救急車	その他
	ポンプ車 5台 タンク車 4台 予備消防車 2台 	はしご車(35m) 1台 救助工作車(Ⅱ) 1台 化学車(Ⅲ) 1台 	高規格車 7台 予備高規格車 1台 	指揮車 2台 査察車 1台 資器材搬送車 1台 連絡車 1台 広報車 6台 予備広報車 1台 

消防団・施設	消防団員数	地域別消防団員数(実員)・ポンプ数			消防水利																																											
	定数 2,400人 実員 2,065人 (令和6年4月1日) 	<table border="1"> <tr> <th>地域</th> <th>人員</th> <th>小型</th> <th>自動車</th> <th>積載車</th> </tr> <tr> <td>横手</td> <td>338人</td> <td>15</td> <td></td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>増田</td> <td>195人</td> <td>16</td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>平鹿</td> <td>323人</td> <td></td> <td></td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>雄物川</td> <td>338人</td> <td>25</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>大森</td> <td>166人</td> <td>14</td> <td>1</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>十文字</td> <td>423人</td> <td>33</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>山内</td> <td>127人</td> <td></td> <td></td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>大雄</td> <td>155人</td> <td>3</td> <td></td> <td>9</td> </tr> </table>	地域	人員	小型	自動車	積載車	横手	338人	15		14	増田	195人	16		6	平鹿	323人			19	雄物川	338人	25	1	10	大森	166人	14	1	12	十文字	423人	33	2	3	山内	127人			12	大雄	155人	3		9	(私設、基準外含む) 消火栓 1,574 防火水槽 1,107 プール 9 
地域	人員	小型	自動車	積載車																																												
横手	338人	15		14																																												
増田	195人	16		6																																												
平鹿	323人			19																																												
雄物川	338人	25	1	10																																												
大森	166人	14	1	12																																												
十文字	423人	33	2	3																																												
山内	127人			12																																												
大雄	155人	3		9																																												

予防	防火対象物数	危険物施設数	立入検査数	消防同意数
	3618 (令和6年4月1日) 	425 (令和6年4月1日) 	防火対象物 396 危険物施設 152 (令和5年度) 	防火対象物 71 一般建築物 40 (令和5年度) 

横手市の特性

1. 自然的特性

本市は、秋田県の内陸南部に位置しており、東の奥羽山脈と西の出羽丘陵に囲まれた東西約45.4km、南北35.2kmに広がっている。東北地方有数の広さを持つ横手盆地は、古くから稲作が盛んであり、今も日本を代表する穀倉地帯となっている。気候は四季の移り変わりがはっきりしており、日照時間が少なく、統計的にも肌の白い女性が多いため、秋田美人として全国的に知られている。また、全国有数の豪雪地帯で、伝統的な冬の祭り「かまくら」も有名である。

2. 社会的特性

本地域は、石器時代から人が住み集落を形成した遺跡が今でも随所に見られる。また、大和朝廷の国内統一により、秋田に出羽の柵が設けられ、平安時代には、土着の豪族清原氏が勢力を持っていたが、前九年、後三年の役を経て鎌倉時代小野寺氏の領地となり、横手地方は城下町として栄え、県南における政治、経済、文化の中心となった。

その後、幾多の変遷を経て、慶長年間には佐竹藩の領地となり、明治維新後、廃藩置県が行われ、現在の秋田県が誕生し、明治22年町村制実施とともに横手、平鹿地域は1町24村となり、その後、地方自治制度の改革により1市5町2村となる。

平成17年10月1日、平成の大合併を期に、1市5町2村が合併し新横手市が誕生した。人口は、少子化により10万人を割ったが、秋田県第2の都市として現在に至っている。

消 防 の 沿 革

昭和45年8月、横手平鹿広域市町村圏組合設立許可申請書（地方自治法第284条第1項）を県知事に提出、同年8月10日指令地1072号にて許可され、昭和47年4月1日、横手平鹿広域市町村圏組合（横手市及び郡内7ヶ町村）消防本部・消防署が発足した。

組合消防発足に伴い、従来各市町村の消防本部、消防署等に勤務していた消防長以下職員76名が、同付で組合消防吏員を拝命し、1本部1署7分署1出張所消防庁舎、消防車両、救急車両、消防機械器具及び各種装備品等は組合に無償で貸与及び譲渡され、組合消防業務を開始した。

その後、平成17年10月1日、構成市町村の合併により、新横手市が誕生し横手市消防本部と名称を変更する。

以下、主なる変遷は次のとおりである。

S47.4.27	十文字分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置し、救急業務開始。
6.1	消防職員44名新規採用する。定数120名
12.27	山内、大雄分署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水2tトヨタA-2級）購入配置。
S48.3.16	従来の5W消防無線を廃止し、10W消防無線に変更。基地局（固定局）4局、移動局54局運用開始。
4.1	増田、十文字、山内、大雄分署庁舎新築開設。消防職員35名新規採用する。定数155名。
〃	横手市・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部消防相互応援協定締結。 （大曲仙北広域市町村圏組合）
〃	横手市・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部消防相互応援協定覚書締結。 （大曲仙北広域市町村圏組合消防本部）
9.18	消防署に作業車（いすゞ1.5tトラック）購入配置。
12.25	大森分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配備し、救急業務開始。
S49.2.14	横手駅前出張所に普通消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
〃	大森分署に同上。
3.26	増田分署に水槽付ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水2tトヨタA-2級）購入配置。
4.1	平鹿、雄物川、大森分署庁舎新築開設。
4.19	消防本部に連絡車（トヨタ）購入配置。
S51.10.5	横手駅前出張所、駅前地区都市計画により新築移転（木造2階建）
S52.12.12	雄物川分署に救急自動車（トヨタ2B型）配置し、救急業務開始。 日本損害保険協会寄贈車。
12.26	消防署に救急自動車（ニッサン2B型）更新配置。秋田県共済農業協同組合連合会寄贈車。
S53.2.22	横手駅前出張所に梯子付消防ポンプ自動車（24m級いすゞ・艀装日本機械）購入配置。
5.7	消防本部に指揮車（スズキ4WD）購入配置。
6.1	増員4名、定数159名。
12.27	横手駅前出張所新築移転。（鉄骨サイディング平屋建）
S54.3.17	消防署に水槽付ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水2.5tいすゞA-2級）更新購入配置。
9.22	平鹿分署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水1.6tいすゞA-1級）配置。 日本損害保険協会寄贈車。
11.20	平鹿分署に救急自動車（ニッサン2B型）配置し、救急業務開始。 秋田県共済農業協同組合連合会寄贈車。
S55.11.20	十文字分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
11.25	消防署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
S56.10.9	雄物川分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。

S57. 1.13	旧市役所屋上望楼全面廃止。
9.17	増田分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
S58. 9.30	平鹿分署に消防ポンプ自動車BD-I型（トヨタA-2級）購入配置。
S59. 2.26	十文字分署に救急自動車（ニッサン2B型）更新配置。日本自動車工業会寄贈車。
7. 9	雄物川分署に広報車（トヨタバン）購入配置。
7.11	増田分署に広報車（トヨタバン）購入配置。（H4. 6 駅前出張所へ移動）
9.26	消防本部に広報車（ニッサン）配置。日本船舶振興会寄贈車。
11. 5	大森分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
S60. 6.25	平鹿分署に広報車（スバルバン）購入配置。
6.25	十文字分署に広報車（トヨタバン）購入配置。
12.25	消防署に水槽付ポンプ自動車（積載水3t いすゞA-2級）更新購入配置。
S61. 8.29	大雄分署に広報車（トヨタバン）購入配置。
11.17	山内分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）更新購入配置。
12.26	大森分署に救急自動車（いすゞ2B型）更新配置。日本自動車工業会寄贈車）
S62.12.23	十文字分署に水槽付消防ポンプ自動車水-II型（積載水3t 日野A-2級）更新購入配置。
S63. 3.28	消防署に救急自動車（いすゞ2B型）更新購入配置。
4. 1	中国杭州市長来横を契機として歓迎演奏のため「ファンファーレ隊」編成。 隊長以下10名で発足。
8.29	消防署に電源照明車（いすゞ1Kw×4灯）配置。日本船舶振興会寄贈車。
10.24	横手平鹿幼少年婦人防火委員会5団体で発足。
H 1. 2. 9	横手駅前出張所に化学消防車（水槽容量2.5t 日野A-2級）購入配置。
3.20	解体前の旧市役所庁舎を使用しての大規模消防訓練実施。
3.28	増田分署に救急自動車（ニッサン2B型）配置、救急業務開始。日本自動車工業会寄贈車。
4. 1	消防本部に総務課、警防課の2課を新設。条例定数155名。
〃	「ファンファーレ隊」を消防音楽隊「アップバンドチーム」に改名、隊長以下15名に増員。
5.18	消防本部に公用車（ニッサン）購入配置。
12. 8	雄物川分署に水槽付消防ポンプ自動車水-II型（積載水2.5t 日野A-2級）更新配置。
〃	大森分署に消防ポンプ自動車CD-I型4WD（三菱A-2級）更新購入配置。
H 2. 1.12	雄物川分署に救急自動車（いすゞ2B型）更新購入配置。
5.16	大森分署に広報車（ニッサンバン）更新購入配置。
5.19	消防署に連絡車（サニーバン）更新購入配置。
10. 1	管内消防無線呼出名称変更申請認定され、基地局（固定局）4局、移動局54局（含携帯22局）運用開始。
12.10	救急波（基地局4局、移動局8局）増設申請許可され運用開始。
H 3. 2.22	平鹿分署に救急自動車（ニッサン2B型）更新配置。日本損害保険協会寄贈車。
3.28	消防署に特別救助隊用工作車II型（三菱・艀装日本機械）配置。日本損害保険協会寄贈車。
5.20	横手平鹿幼少年婦人防火委員会総団体数30団体。
6.27	消防署に防火号（ニッサンワゴンタイプ）配置。（財）日本防火協会寄贈車。
7. 1	消防音楽隊隊長以下23名。延べ演奏回数20回。
7. 5	秋田自動車道（横手IC～秋田南IC）の救急業務に係る覚書締結。 （東日本高速道路株式会社）
7.15	秋田自動車道用救急自動車（いすゞ2B型）駅前出張所配置。秋田県共済農業協同組合 連合会寄贈車。
〃	秋田自動車道（横手IC～秋田南IC）消防相互応援協定締結。 （秋田市・大曲仙北広域市町村圏組合）

	秋田自動車道（横手 IC～秋田南 IC）消防相互応援協定覚書締結。 （秋田市消防本部・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部）
7.16	雄物川分署に広報車更新購入配置。
7.25	秋田自動車道（横手～秋田）供用開始。
8.23	消防署に資器材搬送車（作業車いすゞ1.5tトラック）更新購入配置。
9.1	条例定数改正により4名増員し159名。
9.20	従来チャンネル切替えて使用していた市町村波、県内波分離許可。
12.18	大森分署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水2.5t日野A-2級）更新購入配置。
12.18	横手駅前出張所に消防ポンプ自動車CD-I型4WD（三菱A-2級）更新購入配置。
H 4. 4. 1	消防本部に予防課新設。
5.29	増田分署に広報車更新購入配置。
9.10	無線呼出符号簡略化のため一部無線局名称変更申請許可。
H 5. 2.10	増田分署水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水2.5t日野A-2級）更新購入配置。
2.22	消防署に救急自動車（いすゞ2B型）更新購入配置。
3.11	消防本部に指令車（1,500cc FAX付）購入配置。
3.15	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型沖電気製）導入。
3.23	消防訓練塔（鉄筋コンクリート6階建）完成。
5.28	消防署に連絡車（トヨタ1,800cc）配置。（財）日本消防協会寄贈車。
6.18	平鹿分署、山内分署に広報車（ニッサンADバン）更新購入配置。
7.31	消防等合同庁舎竣工。同年8月25日移転完了し、消防業務開始。
8.18	高圧ガス製造施設（空気定置式）完成。許可申請（指令資-322）
8.30	衣服器材殺菌消毒装置設置。
9.1	消防等合同庁舎竣工式挙行。
11.1	秋田県広域消防相互応援協定締結。（秋田県内市町・消防一部事務組合）
〃	秋田県広域消防相互応援協定覚書締結（秋田県内消防本部）
H 6. 2.28	消防署に消防ポンプ自動車CD-I型4WD（三菱A-2級）及び山内分署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水2.0t日野A-2級）更新購入配置。
4.11	梯子車、化学車を横手駅前出張所から消防署へ移動配置。
11.22	自動車専用道路（湯沢～横手）供用開始。
12.19	消防無線全国波（増設）変更申請許可。（基地局1局、移動局11局）
12.1	秋田県広域消防相互応援協定再締結。（秋田県内市町・消防一部事務組合）
〃	秋田県広域消防相互応援協定覚書再締結（秋田県内消防本部）
12.27	大雄分署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水2.0tいすゞA-2級）更新購入配置。
H 7. 3.14	十文字分署に救急自動車（ニッサン2B型）更新配置。秋田県共済農業協同組合連合会寄贈車。
9.1	秋田県総合防災訓練横手市で実施。
9.21	秋田自動車道（湯田 IC～秋田南 IC）の救急業務に係る覚書再締結。 （東日本高速道路株式会社）
10.16	秋田自動車道北上・横手間（横手 IC～湯田 IC）消防相互応援協定締結。 （北上地区消防組合）
〃	秋田自動車道（横手 IC～湯田 IC）消防相互応援協定覚書締結。 （北上地区消防組合消防本部）
10.27	秋田自動車道山内トンネルで北上地区消防組合と合同消防訓練を実施。
11.10	秋田自動車道（横手～湯田）供用開始。

H 8. 3. 6	十文字分署に消防ポンプ自動車CD-I型4WD（三菱A-2級）更新購入配置。
4. 1	職員3名増員。職員定数162名。
5. 8	救急救命士1名養成。
7.31	指揮車更新購入配置。（ニッサン1, 800cc）
11.15	消防用携帯無線機5W1局更新購入配置。
12.17	大森分署に救急自動車（ニッサン2B型）更新購入配置。
〃	平鹿分署に水槽付消防ポンプ自動車水-II型（積載水2.0tいすゞA-2級）更新購入配置。
H 9. 3.25	秋田県災害・救急医療システム設置。
4. 1	職員2名増員。職員定数164名。
5. 7	救急救命士1名養成。（計2名）
6. 5	湯沢横手道路（十文字IC～湯沢IC）消防相互応援協定締結。 （湯沢雄勝広域市町村圏組合）
〃	湯沢横手道路（横手IC～十文字IC）消防相互応援協定覚書締結。 （湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部）
〃	湯沢・横手道路（湯沢～十文字）供用開始。
6.26	湯沢横手道路（湯沢IC～横手IC）における覚書締結。（東日本高速道路株式会社）
7.23	秋田自動車道（北上西～湯田）供用開始により秋田自動車道全線開通。
9.17	消防用携帯無線5W5局更新購入配置。
9.30	秋田県災害・救急医療システム運用開始。
10. 6	消防署に高規格救急車1台購入配置。（いすゞ）
10.13	秋田自動車道（湯田IC～秋田北IC）の救急業務に係る覚書再締結。 （東日本高速道路株式会社）
H10. 1.16	雄物川分署に消防ポンプ自動車CD-I型4WD（三菱A-2級）更新購入配置。
1.28	救命索発射銃（空気式）一丁購入配置。
2. 1	高規格救急自動車運用開始。
2.27	緊急消防援助隊野営用天幕一式購入配置。
5.11	救急救命士1名養成。（計3名）
11.18	救急救命士1名養成。（計4名）
11.26	増田分署に救急自動車（ニッサン2B型）更新購入配置。
12. 8	増田分署に消防ポンプ自動車CD-I型4WD（三菱A-2級）更新購入配置。
H11. 2.22	消防署に35m級梯子付消防自動車（日産・艤装日本機械）更新購入配置。
〃	消防用携帯無線機5W1局購入配置。
4. 1	職員1名増員。職員定数165名。
〃	秋田県消防防災ヘリコプター応援協定締結。（秋田県・県内市町・消防一部事務組合）
〃	秋田県消防防災航空隊発足に伴う救助隊員として秋田県に職員1名派遣。
4.30	消防署に救助用救命ボート購入配置。
9.13	消防用携帯無線機5W3局更新購入配置。
11.29	救急救命士1名養成。（計5名）
12.15	雄物川分署に救急自動車（トヨタ2B型）更新購入配置。
H12. 2.21	平鹿分署に消防ポンプ自動車CD-I型4WD（三菱A-2級）更新購入配置。
4. 1	大森、大雄両分署を統合し名称を大森大雄分署とする。
6. 1	平鹿分署にショックパンツ購入配置。
6.20	消防本部連絡1号車（日産マーチ）更新購入配置。
7.21	十文字分署にエアジャッキ購入配置。

9.25	消防用携帯無線機 5W2 局更新配置。
11.21	救急救命士 1 名養成。(計 6 名)
H13. 2.27	消防署に水Ⅱ型水槽付ポンプ自動車(日野)更新購入配置。
7. 3	雄物川分署に広報車(日産ADバン)更新購入配置。
8. 7	消防用携帯無線機 5W2 局更新配置。
8.27	広域市町村圏組合発足 30 周年記念式典。
9.28	平鹿分署に 2B 型救急車(トヨタ・アンビュランス)更新購入配置。
11.14	救急救命士 1 名養成。(計 7 名)
12. 4	十文字分署に高規格救急車(トヨタ・ハイメデック)更新購入配置。
12.14	呼吸器用高圧空気圧縮機(パウアーM3E/SP-2)購入配置。
H14. 2.19	山内分署に CD-I 型 4WD ポンプ車(三菱)更新購入配置。
2.25	ホームページ開設。
4. 1	消防本部に救急課新設。
6.28	増田分署に広報車(日産)更新購入配置。
8.30	消防本部に指令車(トヨタ)更新購入配置。
10.16	雄物川分署に救助資機材購入配置。
11.20	救急救命士 1 名養成。(計 8 名)
H15. 1.29	北上地区消防組合・横手市消防相互応援協定締結。(北上地区消防組合)
〃	北上地区消防組合・横手市消防相互応援協定覚書締結。(北上地区消防組合消防本部)
3.12	十文字分署に水Ⅱ型水槽付ポンプ自動車(日野)更新購入配置。
9. 5	消防用携帯無線機 5W2 局購入配置。
11.12	救急救命士 1 名養成。(計 9 名)
H16. 2. 5	消防署に救助工作車Ⅱ型(いすゞ)更新購入配置。
〃	消防署に救命索発射銃一丁(空気式)購入配置。
〃	消防用携帯無線機 5W2 局購入配置。
10.22	横手駅前出張所に 2B 型救急車(トヨタ・アンビュランス)更新購入配置。
12.13	救急救命士 2 名養成。(計 11 名)
H17. 2.25	大森大雄分署に CD-I 型 4WD ポンプ車(日野)更新購入配置。
3.15	消防署に化学消防車(水槽 2t、薬液槽 1.2t、A-2 級)更新購入配置。
10. 1	新横手市誕生。消防本部名を横手市消防本部に変更。
12. 7	救急救命士 2 名養成。(計 13 名)
12.14	大森大雄分署に高規格救急車(トヨタ・ハイメデック)更新購入配置。
H18. 3.31	横手駅前出張所廃止。
4. 1	救急救命士 1 名採用。(計 14 名)
5. 1	山内分署に救急車(2B 型トヨタ・アンビュランス、旧横手駅前出張所)配置運用開始。
H19. 3.14	高機能消防指令センター(Ⅱ型対応 NEC 製)更新運用開始。
4.20	救急救命士 2 名養成。(計 16 名)
6.26	秋田自動車道北上・横手間(横手 IC~湯田 IC)消防相互応援協定再締結。 (北上地区消防組合)
〃	秋田自動車道(横手 IC~湯田 IC)消防相互応援協定覚書再締結。 (北上地区消防組合消防本部)
〃	北上地区消防組合・横手市消防相互応援協定再締結。(北上地区消防組合)
〃	北上地区消防組合・横手市消防相互応援協定覚書再締結。(北上地区消防組合消防本部)
7.19	消防署へ指揮車(日産)購入配置。
11.20	水難救助隊(5 名)運用開始。

11.29	消防署へ高規格救急車（日産パラメデック）更新購入配置。
〃	消防用携帯無線機 5W1 局購入配置。
H20.5.2	救急救命士 2 名養成。（計 18 名）
11.17	増田分署へ救急車（日産パラメデック高規格準拠）更新購入配置。
H21.5.7	救急救命士 3 名養成。（計 21 名）
7.14	消防署へ資器材搬送車（トヨタ）更新購入配置。
10.28	消防用携帯無線機 5W6 局購入配置。
11.18	雄物川分署に救急車（トヨタハイメデック高規格準拠）更新購入配置。
11.27	消防本部に公用車（ホンダ）更新購入配置。
12.18	平鹿・大森大雄・十文字・山内分署に広報車（日産ADバン）4 台更新購入配置。
H22.5.7	救急救命士 2 名養成。（計 23 名）
10.1	大量退職に備え、定数を 12 名増員。条例定数 177 名。
11.17	消防署へCD-I 型 4WD ポンプ車（日野）更新購入配置。
12.22	秋田県広域消防相互応援協定再締結。（秋田県内市町・消防一部事務組合）
〃	秋田県広域消防相互応援協定書の解釈・運用に係る確認書再締結。（秋田県内消防本部）
H23.4.1	消防本部に通信指令課新設。
4.12	救急救命士 1 名養成。（計 24 名）
12.7	十文字分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
H24.5.21	救急救命士 2 名養成。（計 26 名）
10.29	平鹿分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
11.26	十文字分署にCD-I 型 4WD ポンプ車（日野）更新購入配置。
11.30	山内分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。JA 共済連寄贈車。
H25.4.1	救急救命士 1 名採用。（計 27 名）
5.20	救急救命士 2 名養成。（計 29 名）
11.22	消防本部に査察車更新購入配置。
H26.3.5	大森大雄分署に水-II 型災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ）更新購入配置。
3.5	山内分署新庁舎完成。
3.24	増田分署にI-B 型水槽付消防ポンプ自動車 CAFS 装置付（いすゞ）更新購入配置。
5.26	救急救命士 4 名養成。（計 33 名）
11.5	消防救急デジタル無線運用開始。
H27.1.15	雄物川分署にI-B 型水槽付消防ポンプ自動車 CAFS 装置付（いすゞ）更新購入配置。
3.31	救急救命士 1 名退職。（計 32 名）
3.31	救急救命士 4 名養成。（計 36 名）
4.1	救急救命士 1 名採用。（計 37 名）
11.13	大森大雄分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
H28.3.9	平鹿分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。市民寄贈車。
3.31	救急救命士 2 名養成。（計 39 名）
4.1	定数を 7 名減員。条例定数 170 名。
〃	救急救命士 1 名採用。（計 40 名）
11.25	平鹿分署にCD-I 型災害対応特殊ポンプ自動車（日野）更新購入配置。
H29.2.23	消防本部に指揮車（トヨタ）購入配置。
3.27	秋田県広域消防相互応援協定再締結。（秋田県内市町・消防一部事務組合）
〃	秋田県広域消防相互応援協定書の解釈・運用に係る確認書再締結。（秋田県内消防本部）
10.28	平鹿分署新庁舎完成。
12.20	山内分署にCD-I 型災害対応特殊ポンプ自動車（日野）更新購入配置。

3.31	救急救命士 2 名養成。 (計 42 名)
4.1	救急救命士 1 名採用。 (計 43 名)
H30.3.31	救急救命士 2 名養成。 (計 45 名)
4.1	救急救命士 2 名採用。 (計 47 名)
10.4	増田分署に高規格救急車 (トヨタ・ハイメディック) 更新購入配置。
H31.2.27	災害時における消防用水等の確保に関する協定書締結。 (秋田県南地区生コンクリート協同組合)
3.22	南分署新庁舎完成。
3.31	救急救命士 2 名養成。 (計 49 名)
R1.8.4	秋田自動車道 (横手 IC~秋田南 IC) 消防相互応援協定再締結。 (秋田市・大曲仙北広域市町村圏組合)
〃	秋田自動車道 (横手 IC~秋田南 IC) 消防相互応援協定覚書再締結。 (秋田市消防本部・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部)
〃	秋田自動車道 (湯田 IC~秋田北 IC) の救急業務に係る覚書再締結。 (東日本高速道路株式会社)
8.20	南分署に広報車更新購入配置。
9.20	雄物川分署に高規格救急車 (トヨタ・ハイメディック) 更新購入配置。
11..28	大森大雄分署に CD-I 型災害対応特殊ポンプ自動車 (日野) 更新購入配置。
12.19	消防署に救助工作車 II 型 (日野) 更新購入配置。
R2.3.17	西分署新庁舎完成。
3.31	救急救命士 2 名養成。 (計 51 名)
4.1	救急救命士 1 名採用。 (計 52 名)
12.21	消防署に 35m 級はしご付消防自動車 (先端屈折式) 更新購入配置。
R3.3.31	救急救命士 2 名養成。 (計 54 名)
4.1	救急救命士 1 名採用。 (計 55 名)
11.8	南分署に高規格救急車 (トヨタ・ハイメディック) 更新購入配置。
R4.2.15	消防署に水-II 型災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ) 更新購入配備。
3.31	救急救命士 2 名養成、1 名退職。 (計 56 名)
4.1	救急救命士 1 名採用。 (計 57 名)
10.3	消防署に高規格救急車 (トヨタ・ハイメディック) 更新購入配置。
R5.1.26	消防本部に指揮 2 号車 (トヨタ) 更新購入配置。
1.30	西分署に広報車更新購入配置。
3.31	救急救命士 2 名養成、1 名退職。 (計 58 名)
4.1	定数を 20 名増員。条例定数 190 名。
R6.1.29	山内分署に高規格救急車 (トヨタ・ハイメディック) 更新購入配置。
3.31	救急救命士 1 名養成、1 名退職。 (計 58 名)
4.1	救急救命士 2 名採用。 (計 60 名)

管内状況

令和6年4月1日現在
(人口・世帯数は令和6年3月末現在)

区分 地域別	人口			世帯数	職員数	消防ポンプ車台数	救急自動車台数	その他の車両台数
	総数 (人)	男 (人)	女 (人)					
横手	33,492	15,827	17,665	15,060	69	5	2	8
増田	5,867	2,829	3,038	2,359	34	2	2	2
十文字	11,524	5,453	6,071	4,631				
雄物川	7,902	3,755	4,147	2,950	34	2	2	2
大森	5,111	2,417	2,694	2,078				
大雄	4,148	2,021	2,127	1,547				
平鹿	10,778	5,104	5,674	4,017	22	2	1	1
山内	2,794	1,349	1,445	1,144	14	1	1	1
計	81,616	38,755	42,861	33,786	173	12	8	14

横手市の位置



「大森の芝桜フェスタ」
大森リゾート村内、旧大森スキー場の斜面に植栽された芝桜。その数20万株！

「大雄サマーフェスティバル」
イベント盛りだくさん！恒例のメインイベント・演歌歌手ショーは毎年大盛況です！祭りのフィナーレを飾る花火にも注目！

「横手のかまくら」
水神様をまつる民族伝統行事。幻想的な横手のかまくらをお楽しみください！

「名物也！横手やきそば！」
他の焼きそばとは一味も二味も違う！？福神漬と一緒にどうぞ！



南北 35.2km

東西 45.4km

「山内のいものこ」
粘りが強く、口の中でトロッと溶けます！

「雄物川のスイカ」
雄物川町はスイカの名産地です！糖度が高く瑞々しい！

「さくらんぼ」
十字を代表するさくらんぼ！6月中旬～7月上旬はさくらんぼ祭りが開催されます！そうだ！さくらんぼ狩りに行こう！

「あやめまつり」
浅舞公園は全国有数の「あやめ公園」です！

「花火大会」
増田と山内では毎年9月に花火大会がおこなわれます！

「増田の蔵」
国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている！

総務



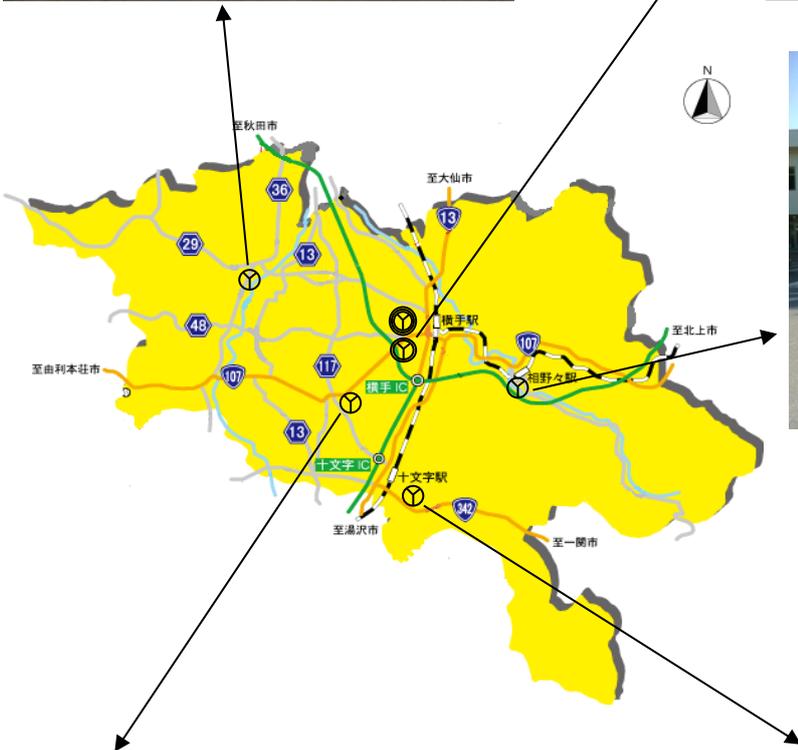
令和5年度 消防職員意見発表会 横手市消防本部予選会

消防庁舎配置図

西分署
 建築年月日 令和2年3月
 構造 鉄骨造2階建
 敷地面積 5,567㎡
 建築面積 798.65㎡



消防本部・消防署
 建築年月日 平成5年8月
 構造 鉄筋コンクリート4階建
 敷地面積 7,100㎡
 建築面積 1,621.39㎡
 延べ面積 4,142.26㎡



山内分署
 建築年月日 平成26年3月
 構造 鉄筋コンクリート平屋建
 敷地面積 7,442㎡
 建築面積 343㎡
 (市役所山内庁舎含む)



平鹿分署
 建築年月日 平成29年10月
 構造 鉄骨造平屋建
 敷地面積 4,992㎡
 建築面積 445.2㎡
 (市役所平鹿庁舎含む)



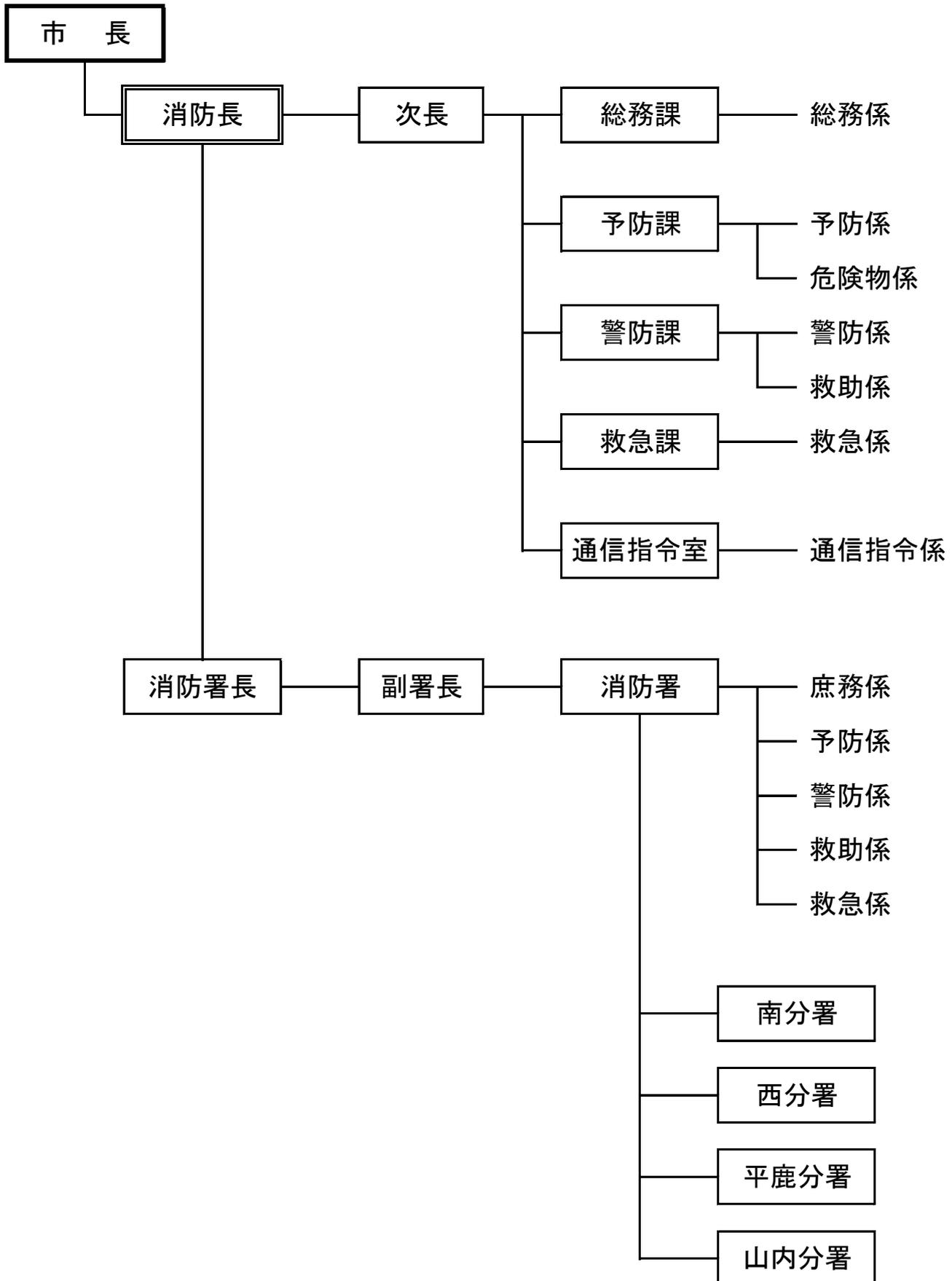
南分署
 建築年月日 平成31年3月
 構造 鉄骨造2階建
 敷地面積 5,559㎡
 建築面積 804.01㎡

消防庁舎所在地一覧

令和 6 年 4 月 1 日現在

本部・署	所在地	電話番号
消 防 本 部	〒013-0060 横手市条里一丁目 1 番 1 号	(本部代表) 0182-32-1111
消 防 署		(消防署代表) 0182-32-1138 FAX 0182-33-1300
南 分 署	〒019-0701 横手市増田町増田字一本柳西 126 番地	TEL 0182-45-2601 FAX 0182-45-2602
西 分 署	〒013-0481 横手市雄物川町薄井字両頭 196 番地 1	TEL 0182-22-5575 FAX 0182-22-5576
平 鹿 分 署	〒013-0105 横手市平鹿町浅舞字覚町後 138 番地	0182-24-1119 (FAX 兼用)
山 内 分 署	〒019-1108 横手市山内土渕字二瀬 8 番地 4	0182-53-2182 (FAX 兼用)

消 防 組 織 図



消防本部事務分掌表

総務課

(1) 総務係

- 組織に関すること。
- 職員の任免、賞罰、服務その他身分に関すること。
- 公印の保管に関すること。
- 公文書の收受、発送、整理及び保存に関すること。
- 条例、規則、規程、告示等に関すること。
- 職員の研修に関すること。
- 職員の福利厚生に関すること。
- 職員の公務災害に関すること。
- 職員の安全衛生委員会及び職員委員会に関すること。
- 職員の表彰に関すること。
- 議案及び議会に関すること。
- 予算編成及び予算執行に関すること。
- 職員の給与及び旅費に関すること。
- 物品の調達及び検収に関すること。
- 被服等の貸与に関すること。
- 消防団に関すること。
- 所管に属する建物及び附属施設の保守管理に関すること。
- その他他の課に属さない備品管理に関すること。
- その他他の課に属さないこと。

予防課

(1) 予防係

- 防火思想の普及広報に関すること。
- 火災予防査察に関すること。
- 火災の原因調査及び損害調査に関すること。
- 防火管理者講習及び指導に関すること。
- 火災の罹災証明に関すること。
- 火災予防条例に関すること。
- 幼少年婦人防火委員会及び火災予防組合に関すること。
- 建築確認の同意に関すること。
- 防火対象物の使用届及び消防用設備検査の指導に関すること。
- その他予防全般に関すること。

(2) 危険物係

- 危険物施設等の許認可及び検査指導に関すること。
- 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律等に係る意見書に関すること。
- 指定可燃物に関すること。
- その他危険物全般に関すること。

警防課

(1) 警防係

- 水火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- 警防計画に関すること。
- 消防力の整備指針に関すること。
- 自衛消防隊の育成指導に関すること。
- 警防に係る統計及び消防年報作成に関すること。
- 車両の安全運行管理に関すること。
- 消防施設整備に関すること。
- 消防水利施設の調査、同意及び管理に関すること。
- 消防機械器具の維持管理に関すること。
- 消防機械の燃料及び機械部品の出納管理に関すること。
- その他警防に関すること。

(2) 救助係

- 救助業務に関すること。
- 救助資機材の保守管理に関すること。
- 救助技術の養成及び指導に関すること。
- 緊急消防援助隊に関すること。
- 諸訓練の安全管理に関すること。
- 機械器具の操作及び指導に関すること。
- その他救助に関すること。

救急課

(1) 救急係

- 救急業務の管理及び計画に関すること。
- 救急備品及び消耗品の出納管理に関すること。
- 救急技術の指導、訓練及び教育に関すること。
- 応急手当普及啓発に関すること。
- 救急の搬送証明に関すること。
- 救急医療機関との連絡調整に関すること。
- 救急統計及び報告に関すること。
- メディカルコントロール体制に関すること。
- その他救急全般に関すること。

通信指令室

(1) 通信指令係

- 各種災害の通報の受信及び出動指令に関すること。
- 通信指令施設の運用及び維持管理に関すること。
- 無線通信事務に関すること。
- 災害の情報収集に関すること。
- 火災警報及び気象情報に関すること

消防署・分署事務分掌表

消防署

(1) 庶務係

- 文書の收受、発送、整理及び保存に関すること。
- 署員の教養訓練及び服務規律に関すること。
- 署員の福利厚生及び衛生管理に関すること。
- 庁舎及び附属施設の保守管理並びに備品の管理に関すること。
- その他他の担当に属さないこと。

(2) 予防係

- 火災予防及び査察に関すること。
- 火災の原因調査に関すること。
- 危険物に関すること。
- 消防用設備等の検査及び維持管理の指導に関すること。
- 火災予防組合の指導に関すること。
- その他予防に関すること。

(3) 警防係

- 消防水利の維持管理に関すること。
- 消防資機材の維持管理及び操作技術の指導に関すること。
- 自衛消防隊の指導育成及び警備警戒に関すること。
- 消防統計に関すること。
- 車両の安全運転管理に関すること。
- 機械器具の維持管理及び操作技術の指導に関すること。
- その他警防に関すること。

(4) 救助係

- 救助業務に関すること。
- 救助隊の訓練に関すること。
- 救助資機材の維持管理に関すること。

(5) 救急係

- 救急業務に関すること。
- 救急隊の訓練に関すること。
- 救急資機材の維持管理に関すること。

分署

(1) 庶務係

- 文書の收受、発送、整理及び保存に関すること。
- 庁舎及び附属施設の保守管理並びに備品の管理に関すること。
- その他庶務に関すること。

(2) 予防係

- 火災予防及び査察に関すること。
- 火災の原因調査に関すること。
- 危険物に関すること。
- 消防用設備等の検査及び維持管理の指導に関すること。
- 火災予防組合の指導に関すること。
- その他予防に関すること。

(3) 警防係

- 消防水利の維持管理に関すること。
- 消防資機材の整備保管に関すること。
- 諸警備及び警戒に関すること。
- 自衛消防隊の指導育成に関すること。
- 救助業務に関すること。
- 救助隊の訓練に関すること。
- 機械器具の維持管理及び操作技術の指導に関すること。
- その他警防に関すること。

(4) 救急係

- 救急救助業務に関すること。
- 救急隊及び救助隊の訓練に関すること。
- 救急資機材の維持管理に関すること。
- その他救急に関すること。

職員配置状況

令和6年4月1日現在

階級 所屬	計	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員
消防本部	31	1	7	6	4	7	5		1
消防署	38		1	7	6	12	6	6	
南分署	34			5	7	10	6	6	
西分署	34			4	8	10	7	5	
平鹿分署	22			2	5	5	7	3	
山内分署	14			2	4	5	2	1	
計	173	1	8	26	34	49	33	21	1

職員勤続年数

令和6年4月1日現在

階級 年数	計	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員
0	6							6	
1	3							3	
2	2							2	
3	3							3	
4	3						1	2	
5	3							3	
6	4						2	2	
7	2						2		
8	5						4		1
9	6						6		
10	9					2	7		
11	15					8	7		
12	6					3	3		
13	5					4	1		
14	6					6			
15	3					3			
16	13					13			
17	6				2	4			
18	5				2	3			
19	3					3			
20	2				2				
21	4				4				
22	0								
23	7				7				
24	3				3				
25	1				1				
26	3			1	2				
27	1				1				
28	7			2	5				
29	6		1	2	3				
30	5			3	2				
31	5			5					
32	7		2	5					
33	0								
34	1		1						
35	4		1	3					
36	2	1	1						
37	1		1						
38	0								
39	1		1						
40	1			1					
41	2			2					
42	2			2					
計	173	1	8	26	34	49	33	21	1

職員階級別年齢表

令和6年4月1日現在

階級 年齢	計	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員
18	2							2	
19	1							1	
20	2							2	
21	3							3	
22	3							3	
23	4							4	
24	7						1	6	
25	1						1		
26	2						2		
27	5						5		
28	9						9		
29	8						8		
30	1						1		
31	8					4	4		
32	9					8	1		
33	4					4			
34	6					5	1		
35	6					6			
36	7					6			1
37	2					2			
38	7					7			
39	4					4			
40	3					3			
41	8				8				
42	5				5				
43	2				2				
44	1				1				
45	5				5				
46	4				4				
47	7				7				
48	4			2	2				
49	4			4					
50	1			1					
51	4			4					
52	6		2	4					
53	4		1	3					
54	3	1	2						
55	3		1	2					
56	2		1	1					
57	1		1						
58	1			1					
59	1			1					
60	3			3					
計	173	1	8	26	34	49	33	21	1

職 員 研 修 状 況

学校別		消防大学校							消防学校																
年度別	科別	計	幹部科	上級幹部科	幹部研修科	予防火防急助	火災調査科	警防急助	救急助	初任教育	幹部教育	予防火防急助	火災調査科	危険物科	警防急助	特殊災害科	無線通信課程	救急科	薬剤投与追加講習	消防操法指導員講習	女性消防操法指導員講習	救急特別講習	ビデオ喉頭鏡追加講習	救急救命処置再教育	
H12	29				1					3	4	3	4		3	1		1	6		2		1		
H13	26			1						3	5		2	2	2	1		1	6		2		1		
H14	28							1		4	3	3	3		2	2		1	6		2		1		
H15	27						1				3		4	2	2	3		1	7		2		2		
H16	29								1	3	4	3	4		2	2			6		2		2		
H17	31				1					2	6		4	4	2	2			6		2		2		
H18	25						1			3	2	4	2		2	2			5		2		2		
H19	20								1	5	1		1	1	1	1			5		2		2		
H20	26	1								7	1		1	1	1	1	1		5	3	3		1		
H21	26					1				7	1		1	1	1	1	1		5	3	3		1		
H22	44	1								10	1	5	1		5	1	1		11	3	3		2		
H23	58	1								13	3		5	5	5	3	5		10	3	3		2		
H24	61	1								7	2	4	4		7	3	5		19		3		4	2	
H25	74									16	4		5	3	7	4	5		16	5	3		4	2	
H26	78				1					9	3	8	3		3	6	4		7	27	3		2	2	
H27	43	1	1							6	2		3	3	3	4	3		7	4	3		2	1	
H28	38		1				1			4	2	3	3		3	2	3		4	3	3		2	4	
H29	37								1	2	2		3	3	3	3	3		2	3	3	2	2	3	2
H30	36	1								3	2	2	2		2	2	2		3	4	3	2		3	5
R1	30				1					3	2		2	2	2	2	2		3	3	3			3	2
R2	27									2	2	2	2		2	2	2		3	2				6	2
R3	27					1				3	2		2	2	2	2	2		3		3	2			3
R4	23									1	2	2	2		2	2	2		2		3	2			3
R5	27						1			3	2		2	2	2	2	2		3		3	2			3

職員の資格、免許等資格状況

令和6年4月1日現在

免許資格	階級所属	計	階級別							所属別							
			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	本部	通信指令室	消防署	南分署	西分署	平鹿分署	山内分署
実員		173	1	8	26	34	49	33	21	1	19	12	38	34	34	22	14
大型自動車免許		131		6	24	28	46	26	1		14	7	29	26	26	17	12
中型自動車免許		4	1			2	1				1	1		2			
中型自動車免許（8 t 未満）		9		2	2	3	2				2	2	1		1	2	1
準中型免許（7.5 t 未満）		16						1	14	1	1		6	4	3	2	
準中型免許（5 t 未満）		6				1		4	1			2	1	1	1		1
普通自動車免許		7						2	5		1		1	1	3	1	
大型自動車二種免許		13			1	2	7	3			2		1	2	4	3	1
大型特殊免許		17		1	8	3	1	3		1	2		4	2	5	1	3
けん引免許		1			1										1		
大型自動二輪免許		25		1	3	6	9	5		1	3	2	5	1	6	6	2
普通二輪免許		31		1	5	7	9	8	1		1	1	13	4	5	5	2
第二級特殊無線技師		160	1	8	25	34	45	33	14		17	12	34	30	32	21	14
第三級陸上特殊無線技師		5					2	2	1		1			3	1		
アマチュア無線技師		4		1		1		1	1			2			1	1	
航空特殊無線技師		6			2	3	1						3	1	2		
救急救命士		58	1	4	9	17	15	8	4		3	4	12	12	11	8	8
救助科		65	1	6	12	17	25	4			9	3	18	8	16	8	3
潜水士		48		1	5	8	18	16			2	3	11	8	14	8	2
小型船舶操縦士		9		1		4	2	2			2		3	1	1	2	
スクーバーダイビング		4			2	2							1		2		1
二等無人航空機操縦士		2					1		1				2				
危険物取扱者（甲）		2				1	1				1			1			
危険物取扱者（乙）		149		5	20	33	45	32	13	1	10	12	33	30	30	21	13
危険物取扱者（丙）		5	1	1	3						2		1	2			
消防設備士（甲）		2				1	1				1			1			
消防設備士（乙）		5				1	2		2		1		2	1	1		
電気工事士		4			1		2	1			1			1	1	1	
予防技術検定（防火査察）		46		2	5	13	17	9			8	3	5	8	11	9	2
予防技術検定（消防用設備等）		17		1	1	5	7	3			4	1	2	4	2	2	2
予防技術検定（危険物）		14				6	6	2			2	1	1	4	2	2	2
玉掛免許		47		3	6	11	22	3	1	1	9	2	12	6	13	3	2
移動式小型クレーン		47		3	7	12	21	3	1		7	2	14	6	13	3	2
建設機械免許		6	1		1	1	1	2			1		1		2		2
足場組免許		3		1		1	1				1		1		1		
ガス溶接取扱者		5		3	1				1		3		1		1		
第一種衛生管理免許		4	1	1			2				2			1	1		
毒劇物取扱者		2		1		1					1	1					
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者		7		1	2	1	3					1	2		3	1	
第二種酸素欠乏危険作業主任者		5			1	1	2	1			1				2	2	
J P T E C		26			2	6	12	5	1		2		10	2	6	6	
T R R テクニシャン		37		2	7	6	15	7			3	3	9	7	9	5	1

年度別一般会計予算

(単位:千円)

年度		H27	H28	H29	H30	R1	R2
常備消防費	人件費	1,181,936	1,236,464	1,164,804	1,190,402	1,254,463	1,252,230
	常備消防経費	76,101	75,914	105,259	104,788	102,880	116,884
	常備消防施設等整備事業	91,089	52,071	54,711	45,014	268,976	262,887
	消防分署統合事業	/	12,348	112,537	452,033	402,662	/
非常備消防費		157,620	154,050	155,318	150,082	153,617	130,361
消防施設費		67,386	86,626	74,461	86,031	69,307	104,455
水防費・災害対策費 (市部局所管)		15,546	17,700	84,138	105,766	18,625	32,692
消防費決算額		1,589,678	1,635,173	1,751,227	2,134,116	2,270,530	1,899,509

(単位:千円)

年度		R3	R4	R5	R6 (当初予算)
常備消防費	人件費	1,257,579	1,292,137	1,322,295	1,333,312
	常備消防経費	109,121	130,729	136,373	148,567
	常備消防施設等整備事業	132,623	64,051	78,799	657,027
	地方創生臨時交付金事業	2,585	7,305	/	/
非常備消防費		126,054	129,701	128,829	137,047
消防施設費		89,091	135,576	130,762	174,989
水防費・災害対策費 (市部局所管)		26,495	26,867	64,753	17,882
消防費決算額		1,743,549	1,786,365	1,861,810	2,468,824

歴代消防長一覧表

令和6年4月1日現在

歴代	氏名	就任	退任	備考（在職期間）	
消防長	初代	佐々木 一郎	昭23.11.8	昭27.12.8	市長兼務 4年1ヶ月
	2代	福田 武治	昭27.12.21	昭31.4.7	消防長心得期間2年1ヶ月、消防長在職期間1年3ヶ月
	3代	小味 淵 肇	昭31.4.10	昭38.5.1	市長兼務 7年1ヶ月
	4代	黒沢 鉄二郎	昭38.12.26	昭41.3.31	在職期間2年3ヶ月 内 署長兼務1年
	5代	稲川 慶之助	昭41.4.1	昭43.3.31	在職期間 2年
	6代	碓石 孝太郎	昭43.4.1	昭45.3.31	在職期間2年 内 署長兼務1年
	7代	高橋 信吉	昭45.4.1	昭56.7.30	昭47.4.1横手平鹿広域消防長 在職期間10年3ヶ月
	8代	高橋 吉之助	昭56.9.1	昭58.2.27	在職期間 1年6ヶ月
	9代	加藤 康治	昭58.3.1	昭58.3.31	在職期間1ヶ月 内 署長兼務1ヶ月
	10代	佐藤 正吉	昭58.4.1	昭59.3.31	在職期間 1年
	11代	高橋 金蔵	昭59.4.1	昭62.3.6	在職期間2年11ヶ月 内 署長兼務1年
	12代	和賀 利助	昭62.5.20	昭63.3.31	在職期間 10ヶ月
	13代	柿崎 芳夫	昭63.4.1	平1.3.31	在職期間 1年
	14代	高橋 操	平1.4.1	平7.3.31	在職期間 6年
	15代	新森 陽一	平7.4.1	平8.3.31	在職期間 1年
	16代	斎藤 完	平8.4.1	平10.3.31	在職期間 2年
	17代	高橋 茂喜	平10.4.1	平13.3.31	在職期間 3年
	18代	永沢 正毅	平13.4.1	平18.3.31	在職期間 5年
	19代	中山 榮治	平18.4.1	平20.3.31	在職期間 2年
	20代	川村 東吉	平20.4.1	平23.3.31	在職期間 3年
	21代	泉田 榮次	平23.4.1	平25.3.31	在職期間 2年
22代	伊藤 弘明	平25.4.1	平27.3.31	在職期間 2年	
23代	大石 義孝	平27.4.1	平31.3.31	在職期間 4年	
24代	菅谷 和明	平31.4.1	令5.3.31	在職期間 4年	
25代	鈴木 勉	令5.4.1	令6.3.31	在職期間 1年	
26代	高田 俊之	令6.4.1	現在		

歴代次長一覧表

令和6年4月1日現在

歴代	氏名	就任	退任	備考（在職期間）	
本 部 次 長	初代	加藤 康治	昭47. 4. 1	昭58. 3. 31	在職期間 11年
	2代	高橋 操	昭58. 4. 1	平 1. 3. 31	在職期間 6年
	3代	新森 陽一	平 1. 4. 1	平 7. 3. 31	在職期間 6年内 署長兼務1
	4代	斎藤 完	平 7. 4. 1	平 8. 3. 31	在職期間 1年
	5代	高橋 茂喜	平 8. 4. 1	平10. 3. 31	在職期間 2年
	6代	畠山 光三	平10. 4. 1	平12. 3. 31	在職期間 2年
	7代	永沢 正毅	平12. 4. 1	平13. 3. 31	在職期間 1年
	8代	菅谷 嘗一	平13. 4. 1	平18. 3. 31	在職期間 5年
	9代	中山 榮次	平17. 4. 1	平18. 3. 31	在職期間 1年
	10代	加賀谷 長吉	平18. 4. 1	平20. 3. 31	在職期間 2年
	11代	川村 東吉	平19. 4. 1	平20. 3. 31	在職期間 1年内 総務課長兼務1年
	12代	佐藤 茂	平20. 4. 1	平22. 3. 31	在職期間 2年
	13代	泉田 榮次	平22. 4. 1	平23. 3. 31	在職期間 1年
	14代	伊藤 弘明	平23. 4. 1	平25. 3. 31	在職期間 2年
	15代	東海林 俊一	平25. 4. 1	平27. 3. 31	在職期間 2年内 予防課長兼務1年
	16代	大石 義孝	平26. 4. 1	平27. 3. 31	在職期間 1年内 総務課長兼務1年
	17代	中村 広幸	平27. 4. 1	平28. 3. 31	在職期間 1年内 総務課長兼務1年
	18代	菅谷 和明	平28. 4. 1	平31. 3. 31	在職期間 3年内 総務課長兼務2年 署長兼務1年
	19代	菊地 俊宏	平31. 4. 1	令 2. 3. 31	在職期間 1年内 署長兼務1年
	20代	鈴木 勉	令 2. 4. 1	令 3. 3. 31	在職期間 1年内 通信指令室長兼務1年
	21代	菊地 俊宏	令 3. 4. 1	令 4. 3. 31	在職期間 1年
	22代	鈴木 勉	令 4. 4. 1	令 5. 3. 31	在職期間 1年
	23代	高田 俊之	令 5. 4. 1	令 6. 3. 31	在職期間 1年内 総務課長兼務1年
	24代	中川原 一智	令 6. 4. 1	現在	

歴代署長一覧表

令和6年4月1日現在

歴代	氏名	就任	退任	備考（在職期間）	
消防署長	初代	佐々木一郎	昭23.11.8	昭24.10.29	在職期間 11ヶ月
	2代	福田武治	昭24.10.30 昭30.9.5	昭30.1.4 昭31.4.7	在職期間 5年3ヶ月 在職期間 7ヶ月
	3代	鳥海三郎	昭30.1.5	昭30.9.5	在職期間 8ヶ月
	4代	黒沢鉄二郎	昭31.4.10	昭39.12.31	在職期間 8年8ヶ月
	5代	稲川慶之助	昭40.1.1	昭41.3.31	在職期間 1年3ヶ月
	6代	碓石孝太郎	昭41.4.1	昭44.3.31	在職期間 3年
	7代	高橋信吉	昭44.4.1	昭45.3.31	在職期間 1年
	8代	高橋吉之助	昭45.4.1	昭58.2.27	昭47.4.1横手平鹿広域消防署長 在職期間11年11ヶ月
	9代	加藤康治	昭58.3.1	昭58.3.31	在職期間 1ヶ月
	10代	高橋金蔵	昭58.4.1	昭60.3.31	在職期間 2年
	11代	菅原弥之助	昭60.4.1	昭62.3.31	在職期間 2年
	12代	柿崎芳夫	昭62.5.20	昭63.3.31	在職期間 10ヶ月
	13代	赤川長重	昭63.4.1	平1.3.31	在職期間 1年
	14代	黒沢一男	平1.4.1	平5.3.31	在職期間 4年
	15代	齊藤幸雄	平5.4.1	平6.3.31	在職期間 1年
	16代	新森陽一	平6.4.1	平7.3.31	在職期間 1年
	17代	高橋茂喜	平7.4.1	平8.3.31	在職期間 1年
	18代	佐々木慎吾	平8.4.1	平12.3.31	在職期間 4年
	19代	金沢廣治	平12.4.1	平13.3.31	在職期間 1年
	20代	久米吉紀	平13.4.1	平16.3.31	在職期間 3年
	21代	高橋保夫	平16.4.1	平18.3.31	在職期間 2年
	22代	東海林隆	平18.4.1	平20.3.31	在職期間 2年
	23代	佐藤定治	平20.4.1	平21.3.31	在職期間 1年
	24代	佐藤憲悦	平21.4.1	平22.3.31	在職期間 1年
	25代	佐藤晋作	平22.4.1	平24.3.31	在職期間 2年
	26代	藤原正美	平24.4.1	平26.3.31	在職期間 2年
	27代	小野一男	平26.4.1	平27.3.31	在職期間 1年内 通信指令室長兼務1年
	28代	鎌田広行	平27.4.1	平30.3.31	在職期間 3年
	29代	菅谷和明	平30.4.1	平31.3.31	在職期間 1年
	30代	菊地俊宏	平31.4.1	令3.3.31	在職期間 2年
	31代	鈴木勉	令3.4.1	令4.3.31	在職期間 1年
	32代	松井正一	令4.4.1	令5.3.31	在職期間 1年
	33代	中川原一智	令5.4.1	現在	

消防相互応援協定等締結状況

令和6年4月1日現在

区分	締 結 先	締 結 種 別 締 結 年 月 日
相 互 応 援 協 定	大曲仙北広域市町村圏組合	横手市・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部消防相互応援協定 昭和48年4月1日
	秋田市 大曲仙北広域市町村圏組合	秋田自動車道消防相互応援協定 (横手IC～秋田南IC間) 令和元年8月4日(再締結)
	秋田県内市町・消防一部事務組合	秋田県広域消防相互応援協定 平成29年3月27日(再締結)
	北上地区消防組合	秋田自動車道北上・横手間消防相互応援協定(横手IC～湯田IC間) 平成19年6月26日(再締結)
	湯沢雄勝広域市町村圏組合	湯沢横手道路消防相互応援協定 (十文字IC～湯沢IC間) 平成9年6月5日
	秋田県・県内市町・消防一部事務組合	秋田県消防防災ヘリコプター応援協定 平成11年4月1日
	北上地区消防組合	北上地区消防組合・横手市消防相互応援協定 平成19年6月26日(再締結)
業 務 協 定	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	横手市・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部消防相互応援協定覚書 昭和48年4月1日
	秋田市消防本部 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	秋田自動車道消防相互応援協定覚書 (横手IC～秋田南IC間) 令和元年8月4日(再締結)
	秋田県内消防本部	秋田県広域消防相互応援協定書の解釈・運用に係る確認書 平成29年3月27日(再締結)
	東日本高速道路株式会社 東北支社	秋田自動車道の救急業務に係る覚書(湯田IC～秋田北IC間) 令和元年8月4日(再締結) (関係消防本部) 秋田市消防本部 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部
	北上地区消防組合消防本部	秋田自動車道消防相互応援協定覚書 (横手IC～湯田IC間) 平成19年6月26日(再締結)
	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	湯沢横手道路消防相互応援協定覚書 (横手IC～十文字IC間) 平成9年6月5日
	東日本高速道路株式会社 東北支社	湯沢横手道路における覚書 (湯沢IC～横手IC間) 平成9年6月26日 (関係消防本部) 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部
	北上地区消防組合消防本部	北上地区消防組合・横手市消防相互応援協定覚書 平成19年6月26日(再締結)
	秋田県南地区生コンクリート協同組合	災害時における消防用水の確保に関する協定書 平成31年2月27日

予 防



火災調査実習の様子

防火対象物の現況

令和6年4月1日現在

用途別		地域別									合計
		横手	増田	平鹿	雄物川	大森	十文字	山内	大雄		
1	イ 劇場・映画館等	2	1	1		2	1		1	8	
	ロ 公会堂又は集会場	23	33	13	14	8	26	11	10	138	
2	イ キャバレー・カフェ等						1			1	
	ロ 遊技場又はダンスホール	6					2			8	
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等										
	ニ カラオケボックス等	3								3	
3	イ 待合・料理店等	2			2		1			5	
	ロ 飲食店	69	2	7	4	4	28	2	3	119	
4	百貨店・マーケット等	123	3	11	7	3	26	5	3	181	
5	イ 旅館・ホテル等	12	6	3	1	3	2	3	1	31	
	ロ 寄宿舍・下宿等	341	9	9	8	5	64	2		438	
6	イ (1) 病院										
	イ (2) 有床診療所										
	イ (3) (1)以外の病院、 (2)以外の有床診療所、有床助産所	5				1				6	
	イ (4) 無床診療所、無床助産所	32	4	3	3	2	10	2		56	
	ロ (1) 特別養護老人ホーム等	23	3	10	7	7	9	2	4	65	
	ロ (2) 救護施設										
	ロ (3) 乳児院										
	ロ (4) 障害児入所施設										
	ロ (5) 障害者支援、短期入所施設								1	1	
	ハ (1) 老人デイサービスセンター等	8	1	7	3	2	4	1	1	27	
	ハ (2) 更生施設										
	ハ (3) 助産施設、保育所等	22	1	6	3	2	5	1	1	41	
	ハ (4) 児童発達支援施設等	2		1						3	
	ハ (5) 身体障害者支援施設	21		1		1	3		4	30	
ニ 幼稚園・盲学校等	4								4		
7	各学校・各種学校	27	13	6	5	1	3	2	4	61	
8	図書館・博物館等	6	3	1	2	1	1			14	
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等										
	ロ イ以外の公衆浴場					2				2	
10	車両の停車場等	2					1			3	
11	神社・寺院等	49	2	21	10	6	8	1	2	99	
12	イ 工場又は作業場	227	64	118	70	42	86	18	41	666	
	ロ 映画スタジオ等										
13	イ 自動車車庫又は駐車場	31	4	9	5	6	7	8	3	73	
	ロ 飛行機の格納庫等										
14	倉庫	164	30	70	45	29	62	6	21	427	
15	前各項に該当しない対象物	317	27	71	83	42	64	15	24	643	
16	イ 複合用途対象物（特定）	139	25	20	20	16	41	6	8	275	
	ロ イ以外の複合用途	81	12	16	10	12	32	3	8	174	
17	文化財等	1	10		4	1				16	
合計		1,742	253	404	306	198	487	88	140	3,618	

用途別中高層建築物の現況

令和6年4月1日現在

用途別	階数区分	防火対象物数	中高層建築物									
			3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	
1	イ 劇場・映画館等	8	1	1								
	ロ 公会堂又は集会場	138	1	1		1						
2	イ キャバレー・カフェー等	1										
	ロ 遊技場又はダンスホール	8	1									
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等											
	ニ カラオケボックス等	3										
3	イ 待合・料理店等	5			1							
	ロ 飲食店	119	3	1								
4	百貨店・マーケット等	181	3									
5	イ 旅館・ホテル等	31		1	1	1		3	1			
	ロ 寄宿舎・下宿等	438	28	8	12		1			1	1	
6	イ (1) 病院											
	イ (2) 有床診療所											
	イ (3) (1)以外の病院、 (2)以外の有床診療所、有床助産所	6			2	1			1			
	イ (4) 無床診療所、無床助産所	56	2	1								
	ロ (1) 特別養護老人ホーム等	65	2	1								
	ロ (2) 救護施設											
	ロ (3) 乳児院											
	ロ (4) 障害児入所施設											
	ロ (5) 障害者支援、短期入所施設	1										
	ハ (1) 老人デイサービスセンター等	27		1								
	ハ (2) 更生施設											
	ハ (3) 助産施設、保育所等	41										
	ハ (4) 児童発達支援施設等	3										
	ハ (5) 身体障害者支援施設	30	2									
ニ 幼稚園・盲学校等	4											
7	各学校・各種学校	61	22	5								
8	図書館・博物館等	14	1	1				1				
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等											
	ロ イ以外の公衆浴場	2										
10	車両の停車場等	3										
11	神社・寺院等	99	6									
12	イ 工場又は作業場	666	13	1								
	ロ 映画スタジオ等											
13	イ 自動車車庫又は駐車場	73	1									
	ロ 飛行機の格納庫等											
14	倉庫	427	1	1								
15	前各項に該当しない対象物	643	43	9	4	1		2				
16	イ 複合用途対象物 (特定)	275	41	5	4	1	1					
	ロ イ以外の複合用途	174	23	1	2		1					
17	文化財等	16	1									
合 計		3,618 277	195	38	26	5	3	6	2	1	1	

用途別消防用設備等の設置状況

令和6年4月1日現在

用途別		消防用設備等			警報設備			避難設備	
		消火器	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	非常警報設備	避難器具	誘導灯
1	イ 劇場・映画館等	8	4		8		8		8
	ロ 公会堂又は集会場	109	23		58	7	125	37	118
2	イ キャバレー・カフェー等	1					1		1
	ロ 遊技場又はダンスホール	8	1	1	8		7		8
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等								
	ニ カラオケボックス等	3			3	1			3
3	イ 待合・料理店等	5	1		3	1	1	3	5
	ロ 飲食店	113	1		34	5	25	17	112
4	百貨店・マーケット等	173	17	6	98	2	70		171
5	イ 旅館・ホテル等	31	10	2	31	4	11	6	27
	ロ 寄宿舍・下宿等	425	3		45	4	11	26	17
6	イ(1) 病院								
	イ(2) 有床診療所								
	イ(3) (1)以外の病院、 (2)以外の有床診療所、有床助産所	6	2	5	6		5	3	5
	イ(4) 無床診療所、無床助産所	55			26	4	6		56
	ロ(1) 特別養護老人ホーム等	65	2	60	65		17	8	65
	ロ(2) 救護施設								
	ロ(3) 乳児院								
	ロ(4) 障害児入所施設								
	ロ(5) 障害者支援、短期入所施設	1		1	1		1		1
	ハ(1) 老人デイサービスセンター等	25	2	2	16		10	1	27
	ハ(2) 更生施設								
	ハ(3) 助産施設、保育所等	39	7		35	1	14	3	40
	ハ(4) 児童発達支援施設等	1							3
	ハ(5) 身体障害者支援施設	26	2	1	20		3	4	30
ニ 幼稚園・盲学校等	4	2		4			3	4	
7	各学校・各種学校	60	41		46		29	16	42
8	図書館・博物館等	10	3		10		9	2	9
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ イ以外の公衆浴場	2	1		1				2
10	車両の停車場等	3	1		2		1		1
11	神社・寺院等	86	5		13	12	31	2	16
12	イ 工場又は作業場	654	108		272	11	11		86
	ロ 映画スタジオ等								
13	イ 自動車車庫又は駐車場	72			16				5
	ロ 飛行機の格納庫等								
14	倉庫	423	29		132	2	1		47
15	前各項に該当しない対象物	443	23		92	1	49	7	158
16	イ 複合用途対象物(特定)	260	20	17	169	9	44	19	263
	ロ イ以外の複合用途	147	4		27	5	4	6	52
17	文化財等	7			7	4			4
合 計		3,265	312	95	1,248	73	494	163	1,386

用途別消防用設備等点検結果報告件数

令和5年度中

用途別		地域別	横手	増田	平鹿	雄物川	大森	十文字	山内	大雄	合計
1	イ 劇場・映画館等		2	1	1		2	1		1	8
	ロ 公会堂又は集会場		20	13	13	8	8	26	9	7	104
2	イ キャバレー・カフェー等							1			1
	ロ 遊技場又はダンスホール		5					2			7
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等										
	ニ カラオケボックス等		2								2
3	イ 待合・料理店等							1			1
	ロ 飲食店		17	1	1		1	27		1	48
4	百貨店・マーケット等		63	3	8	4	2	26	2	2	110
5	イ 旅館・ホテル等		6	3	2	1	1	2	3	1	19
	ロ 寄宿舍・下宿等		35	3	3	3	5	64	1		114
6	イ (1) 病院										
	イ (2) 有床診療所										
	イ (3) (1)以外の病院、 (2)以外の有床診療所、有床助産所		5				1				6
	イ (4) 無床診療所、無床助産所		10	1		2	1	10	1		25
	ロ (1) 特別養護老人ホーム等		15	2	7	4	5	9	2	4	48
	ロ (2) 救護施設										
	ロ (3) 乳児院										
	ロ (4) 障害児入所施設										
	ロ (5) 障害者支援、短期入所施設									1	1
	ハ (1) 老人デイサービスセンター等		3	1	7	3	1	4	1	1	21
	ハ (2) 更生施設										
	ハ (3) 助産施設、保育所等		7	1	6	3	1	5	1	1	25
	ハ (4) 児童発達支援施設等				1						1
	ハ (5) 身体障害者支援施設		10					3		4	17
ニ 幼稚園・盲学校等		4								4	
7	各学校・各種学校		23	13	6	5	1	3	2	4	57
8	図書館・博物館等		5		1	1	1	1			9
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等										
	ロ イ以外の公衆浴場						2				2
10	車両の停車場等		2					1			3
11	神社・寺院等		16	1	7	3	1	8	1		37
12	イ 工場又は作業場		89	33	53	31	11	86	10	16	329
	ロ 映画スタジオ等										
13	イ 自動車車庫又は駐車場		6	2	4	2	3	7	6	2	32
	ロ 飛行機の格納庫等										
14	倉庫		65	16	18	23	7	62	5	9	205
15	前各項に該当しない対象物		122	17	25	15	24	64	11	16	294
16	イ 複合用途対象物（特定）		48	6	9	8	7	41	6	2	127
	ロ イ以外の複合用途		13	5	3			32	1	2	56
17	文化財等		1			3					4
合 計			594	122	175	119	85	486	62	74	1,717

用途別立入検査状況

令和5年度中

用途別		地域別	横手	増田	平鹿	雄物川	大森	十文字	山内	大雄	合計
1	イ 劇場・映画館等						1				1
	ロ 公会堂又は集会場		5	2	5	3	1	21	7	2	46
2	イ キャバレー・カフェー等										
	ロ 遊技場又はダンスホール		1								1
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等										
	ニ カラオケボックス等		1								1
3	イ 待合・料理店等										
	ロ 飲食店		9		1		1	4	1	1	17
4	百貨店・マーケット等		20		1	2	1	5		1	30
5	イ 旅館・ホテル等		8	3	2		3	2		1	19
	ロ 寄宿舎・下宿等		9	2					2		13
6	イ(1) 病院										
	イ(2) 有床診療所										
	イ(3) (1)以外の病院、 (2)以外の有床診療所、有床助産所		1				1				2
	イ(4) 無床診療所、無床助産所										
	ロ(1) 特別養護老人ホーム等		7	2	4	4	6	2	2	4	31
	ロ(2) 救護施設										
	ロ(3) 乳児院										
	ロ(4) 障害児入所施設										
	ロ(5) 障害者支援、短期入所施設										
	ハ(1) 老人デイサービスセンター等		2		4		1	2			9
	ハ(2) 更生施設										
	ハ(3) 助産施設、保育所等		4		1		1	1	1	1	9
	ハ(4) 児童発達支援施設等										
	ハ(5) 身体障害者支援施設		1							2	3
ニ 幼稚園・盲学校等		3									3
7	各学校・各種学校				2						2
8	図書館・博物館等						1				1
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等										
	ロ イ以外の公衆浴場										
10	車両の停車場等		2								2
11	神社・寺院等		2		2		1		1		6
12	イ 工場又は作業場		14	4	11	9	2	4	8	1	53
	ロ 映画スタジオ等										
13	イ 自動車車庫又は駐車場				1			2	4		8
	ロ 飛行機の格納庫等										
14	倉庫		9	2	3	1	1	6	1	1	24
15	前各項に該当しない対象物		20		8	5	1	5	6	4	49
16	イ 複合用途対象物(特定)		21	5	4	1	3	13	4		51
	ロ イ以外の複合用途		7			1		5	2		15
17	文化財等										
合計			146	21	49	26	25	72	39	18	396

建築同意等事務処理件数

令和5年度中

用途別		地域別	横 手	増 田	平 鹿	雄 物 川	大 森	十 文 字	山 内	大 雄	合 計
1	イ 劇場・映画館等		1								1
	ロ 公会堂又は集会場		1								1
2	イ キャバレー・カフェー等										
	ロ 遊技場又はダンスホール										
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等										
	ニ カラオケボックス等										
3	イ 待合・料理店等										
	ロ 飲食店			1		1					2
4	百貨店・マーケット等		3								3
5	イ 旅館・ホテル等		1								1
	ロ 寄宿舎・下宿等		2					1			3
6	イ（１）病院										
	イ（２）有床診療所										
	イ（３）（１）以外の病院、 （２）以外の有床診療所、有床助産所										
	イ（４）無床診療所、無床助産所										
	ロ（１）特別養護老人ホーム等		1		1			1			3
	ロ（２）救護施設										
	ロ（３）乳児院										
	ロ（４）障害児入所施設										
	ロ（５）障害者支援、短期入所施設										
	ハ（１）老人デイサービスセンター等							1			1
	ハ（２）更生施設										
	ハ（３）助産施設、保育所等		1								1
	ハ（４）児童発達支援施設等										
	ハ（５）身体障害者支援施設				1	1					2
ニ 幼稚園・盲学校等											
7	各学校・各種学校										
8	図書館・博物館等										
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等										
	ロ イ以外の公衆浴場										
10	車両の停車場等										
11	神社・寺院等			1							1
12	イ 工場又は作業場		5		1	3					9
	ロ 映画スタジオ等										
13	イ 自動車車庫又は駐車場		5					1			6
	ロ 飛行機の格納庫等										
14	倉庫		4	2	2	1		1	1		11
15	前各項に該当しない対象物		7	1	1	5		4		1	19
16	イ 複合用途対象物（特定）		4								4
	ロ イ以外の複合用途		3								3
17	文化財等										
その他・一般住宅			23	4	3	6	1	3			40
合 計			61	9	9	17	1	12		2	111

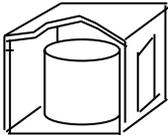
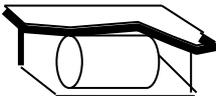
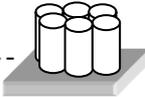
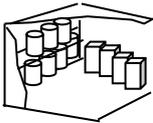
防火管理者選任状況

令和6年4月1日現在

区 分 用 途 別		甲 種		乙 種	
		法第8条 該当防火 対象物数	防火管理 者届出済 対象物数	法第8条 該当防火 対象物数	防火管理 者届出済 対象物数
1	イ 劇場・映画館等	5	5		
	ロ 公会堂又は集会場	54	53	78	57
2	イ キャバレー・カフェ等			1	1
	ロ 遊技場又はダンスホール	8	8		
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等				
	ニ カラオケボックス等	3	3		
3	イ 待合・料理店等	3	3		
	ロ 飲食店	29	25	39	33
4	百貨店・マーケット等	92	88	47	40
5	イ 旅館・ホテル等	21	21		
	ロ 寄宿舎・下宿等	6	5	1	1
6	イ(1) 病院				
	イ(2) 有床診療所				
	イ(3) (1)以外の病院、 (2)以外の有床診療所、有床助産所	4	4		
	イ(4) 無床診療所、無床助産所	2	2		
	ロ(1) 特別養護老人ホーム等	59	59		
	ロ(2) 救護施設				
	ロ(3) 乳児院				
	ロ(4) 障害児入所施設				
	ロ(5) 障害者支援、短期入所施設	1	1		
	ハ(1) 老人デイサービスセンター等	11	10	3	3
	ハ(2) 更生施設				
	ハ(3) 助産施設、保育所等	31	31		
	ハ(4) 児童発達支援施設等				
	ハ(5) 身体障害者支援施設	3	3	2	2
ニ 幼稚園・盲学校等	4	4			
7	各学校・各種学校	26	26	1	
8	図書館・博物館等	6	6	3	3
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等				
	ロ イ以外の公衆浴場	1	1		
10	車両の停車場等				
11	神社・寺院等	35	30	3	2
12	イ 工場又は作業場	41	40		
	ロ 映画スタジオ等				
13	イ 自動車車庫又は駐車場				
	ロ 飛行機の格納庫等				
14	倉庫				
15	前各項に該当しない対象物	66	63	18	18
16	イ 複合用途対象物(特定)	97	88	14	13
	ロ イ以外の複合用途	18	17	2	1
17	文化財等	6	2		
合 計		632	598	212	174

地域別危険物施設数

令和6年4月1日現在

		横手	増田	平鹿	雄物川	大森	十文字	山内	大雄	合計		
危険物施設	貯蔵所	屋内貯蔵所 	18	3	2	2	2	1			28	
		屋外タンク貯蔵所 	11	2	1	3	3	4		1	25	
		屋内タンク貯蔵所 	1								1	
		地下タンク貯蔵所 	56	10	19	17	12	16	6	6	142	
		簡易タンク貯蔵所 					1				1	
		移動タンク貯蔵所 	48	9	10	18	8	14	3	2	112	
		屋外貯蔵所 				1	1	1			3	
		取扱所	(営業)給油取扱所(他) 	16	3	4	5	5	4	1	1	39
				14		3					1	18
			販売取扱所 	1								1
一般取扱所 	26		6	7	3	7	4		2	55		
合計		191	33	46	49	39	44	10	13	425		

危険物施設検査状況

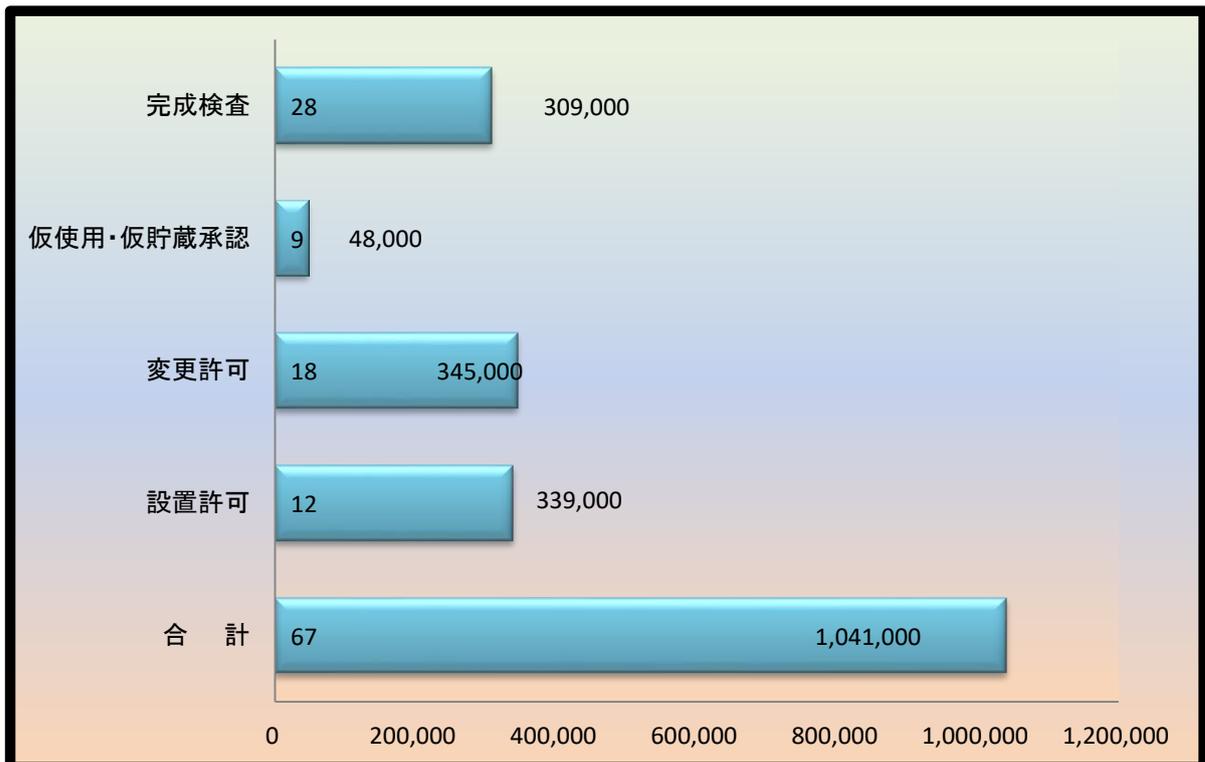
令和5年度中

区 分		項 目	施 設 数	立入検査件数
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所		28	7
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		25	1
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		1	1
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		142	36
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		1	
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		112	55
	屋 外 貯 蔵 所		3	
取扱所	給 油 取 扱 所		57	46
	販 売 取 扱 所		1	
	一 般 取 扱 所		55	6
合 計			425	152

危険物手数料徴収状況

令和5年度中

項 目	件 数	料 金 (円)
完成検査	28	309,000
仮使用・仮貯蔵承認	9	48,000
変更許可	18	345,000
設置許可	12	339,000
合 計	67	1,041,000



幼年消防クラブ 火災予防組合結成状況

令和6年4月1日現在

区分 地域局別	幼 年		少 年		婦 人		計	
	団体数	人	団体数	人	団体数	人	団体数	人
横 手	15	917			8	657	23	1,574
増 田					1	25	1	25
平 鹿					3	322	3	322
雄物川	1	74			6	538	7	612
大 森	2	75			1	2,078	3	2,153
十文字					46	1,800	46	1,800
山 内					1	25	1	25
大 雄			4	37	22	1,303	26	1,340
合 計	18	1,066	4	37	88	6,748	110	7,851

過去5年間の火災概況

区 分		年 別				
		R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
火災件数	建 物	27	16	21	13	17
	林 野	3	3	2	2	3
	車 両	3	4	1	1	3
	その他	19	9	15	13	9
	計	52	32	39	29	32
出 動	人 員	872	487	645	514	598
	ポンプ車	168	91	121	109	104
焼失程度	全 焼	23	10	12	10	13
	半 焼	2	1	3	2	3
	部分焼	19	10	14	5	13
	ぼ や	7	5	14	7	8
罹災世帯	全 損	11	7	7	4	11
	半 損	3			1	
	小 損	18	10	14	8	11
焼失面積	建 物 (㎡)	3,757	1,816	2,813	3,134	2,591
	林 野 (a)	138	53	12	27	98
死傷者	死 者	1	2	1		3
	傷 者	10	9	5	8	14
損害見積額	建 物 (千円)	74,018	60,401	115,205	132,636	43,329
	内容物 (千円)	21,013	10,024	17,254	46,453	20,495
	林 野 (千円)	10		105		
	車 両 (千円)	1,968	2,485	352	570	768
	その他 (千円)	213	2,596	231	7,290	56
	計 (千円)	97,222	75,506	133,147	186,949	64,648

過去5年間の火災原因

年 原因別	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
たばこ	3	1	1	2	1
こんろ	4			1	3
かまど	1				
風呂かまど			1		
炉	1				
焼却炉					1
ストーブ	2	2	1	2	2
こたつ					
ボイラー					
煙突・煙道		5	1	1	
排気管	1	2			
電気機器	2				1
電気装置	1	1		1	3
電灯・電話等の配線	1			2	
内燃機関		1	1	1	
配線器具	1	3	5		1
火遊び	1				
マッチ・ライター		1			
溶断機・切断機			2		
灯火	1				
衝突の火花					
取灰	1		1		
火入れ					
放火	2		1	2	1
放火の疑い	1			2	1
ごみ焼き等	11	9	12	10	11
その他	10	6	8	3	
不明・調査中	8	1	5	2	7
合計	52	32	39	29	32

過去5年間の主なる火災（損害額一千万円以上）

年	月	出火時間	鎮火時間	火災種別	出火原因	焼損棟数				焼損面積 ㎡	罹状況況		死者	傷者	損害額 (千円)
						全焼	半焼	部分焼	ぼや		世帯	人員			
元	9月	16:35	18:25	建物	子供の火遊びの疑い	1				67	1	6		2	17,202
	12月	13:40	19:40	建物	薪ストーブの火の粉が障子や襖に着火したものと推定	7		3	1	982	8	22			31,155
2	7月	10:45	14:00	建物	1階天井裏屋内配線の短絡の疑い	1				179	1	2	1		23,243
	10月	18:20	21:20	建物	ボイラー排気筒壁貫通部の低温着火の疑い	1	1	2		277	1	4		1	13,909
	11月	16:00	17:57	建物	反射式石油ストーブが異常燃焼し炎が立上り、消火のために掛けたこたつ布団に着火、延焼拡大したものの	1		1		221	2	7			12,582
3	6月	8:50	12:32	建物	不明	4	1	4		764	3	7			85,472
4	9月	14:15	22:52	建物	自動半田付け装置の高温となっていたプロペラシャフトやベアリングの可動部に第2石油類をかけたことにより発火、延焼拡大したものの			1		1798				1	140,916
	9月	17:40	21:09	建物	屋内電気配線が短絡し配線被覆に着火、延焼拡大したと推定	3		2	1	540	3	13			22,832
5	5月	17:30	20:52	建物	草焼の火種が断熱材に飛火し通風口の空気の流入で延焼拡大したものの	3		3	1	699	5	13		1	15,140
	12月	4:15	11:20	建物	トラッキング現象が生じ、紙類や配線被覆に着火、延焼拡大したものの	2		5	1	821	6	23	1	2	22,287

警 防



令和5年度購入 災害対応無人航空機(ドローン)

車両配置状況

令和6年4月1日現在

区分 所属	計	ポンプ車	タンク車	梯子車	化学車	救助工作車	救急車	指揮車	査察車	広報車	資器材搬送車	連絡車
消防本部	7	1	1					2	1	1		1
消防署	8	1	1	1	1	1	2				1	
南分署	6	1	1				2			2		
西分署	6	1	1				2			2		
平鹿分署	4	1	1				1			1		
山内分署	3	1					1			1		
計	34	6	5	1	1	1	8	2	1	7	1	1

消防車両等一覧表

令和6年4月1日現在

区分 所属	種 別	車 名	車両番号	年式	型別	ポンプ 製作所	登 録 年月日	備 考
消 防 本 部	指 揮 車	トヨタ	秋田830 さ1702	H29	—	—	H29. 2. 23	
	指 揮 車	トヨタ	秋田830 さ2301	R5	—	—	R5. 1. 18	
	査 察 車	日 産	秋田800 す1807	H25	—	—	H25. 11. 15	
	連 絡 車	ホンダ	秋田300 の9053	H21	—	—	H21. 11. 17	
	広 報 車	トヨタ	秋田800 さ3762	H14	—	—	H14. 8. 28	
	ポ ン プ 車	三 菱	秋田 800 さ3156	H14	CD- I	日 機	H14. 2. 13	
	タ ン ク 車	日 野	秋田800 は245	H15	II	日 機	H15. 3. 7	積載水2,500 ℓ
消 防 署	ポ ン プ 車	日 野	秋田800 さ9935	H22	CD- I	日 機	H22. 11. 9	
	タ ン ク 車	いすゞ	秋田830 さ2202	R4	II	長野ポンプ	R4. 2. 15	積載水3,000 ℓ
	化 学 車	日 野	秋田800 は398	H17	III	日 機	H17. 3. 11	薬剤1,200ℓ、積載水2,000ℓ
	救 助 工 作 車	日 野	秋田830 さ1912	R1	II	—	R1. 12. 19	
	梯 子 車	日 野	秋田830 ち2012	R2	35M級	—	R2. 12. 21	
	資 器 材 搬 送 車	トヨタ	秋田800 さ9080	H21	—	—	H21. 7. 9	1.35 tトラック
	救 急 車	トヨタ	秋田830 さ2209	R4	—	—	R4. 9. 16	
	救 急 車	トヨタ	秋田830 さ99	H24	—	—	H24. 11. 1	

南 分 署	ポンプ車	日野	秋田800す1168	H24	CD-I	日機	H24.11.2	
	タンク車	いすゞ	秋田830さ1403	H26	I-B	日機	H26.3.3	CAFS装置付き、積載水1,500ℓ
	救急車	トヨタ	秋田800す4891	H30	—	—	H30.10.4	
	救急車	トヨタ	秋田830さ2110	R3	—	—	R3.10.29	
	広報車	ダイハツ	秋田883あ1908	R1	—	—	R1.8.20	
	広報車	日産	秋田800さ9347	H21	—	—	H21.11.30	
西 分 署	ポンプ車	日野	秋田830せ1911	R1	CD-I	日機	R1.11.28	
	タンク車	いすゞ	秋田830さ1402	H26	II	日機	H26.2.13	積載水2,000ℓ
	救急車	トヨタ	秋田830す1909	R1	—	—	R1.9.20	
	救急車	トヨタ	秋田830す1510	H27	—	—	H27.10.30	
	広報車	ダイハツ	秋田883あ2301	R5	—	—	R5.1.18	
	広報車	日産	秋田800さ9346	H21	—	—	H21.11.30	
平 鹿 分 署	ポンプ車	日野	秋田800す3616	H28	CD-I	日機	H28.11.1	
	タンク車	いすゞ	秋田830さ1412	H26	I-B	日機	H26.12.17	CAFS装置付き、積載水1,500ℓ
	救急車	トヨタ	秋田830す1602	H28	—	—	H28.2.26	市民より寄贈
	広報車	日産	秋田800さ9350	H21	—	—	H21.11.30	
山 内 分 署	ポンプ車	日野	秋田830さ1712	H29	CD-I	日機	H29.12.4	
	救急車	トヨタ	秋田830さ2401	R6	—	—	R6.1.18	
	広報車	日産	秋田800さ9348	H21	—	—	H21.11.30	

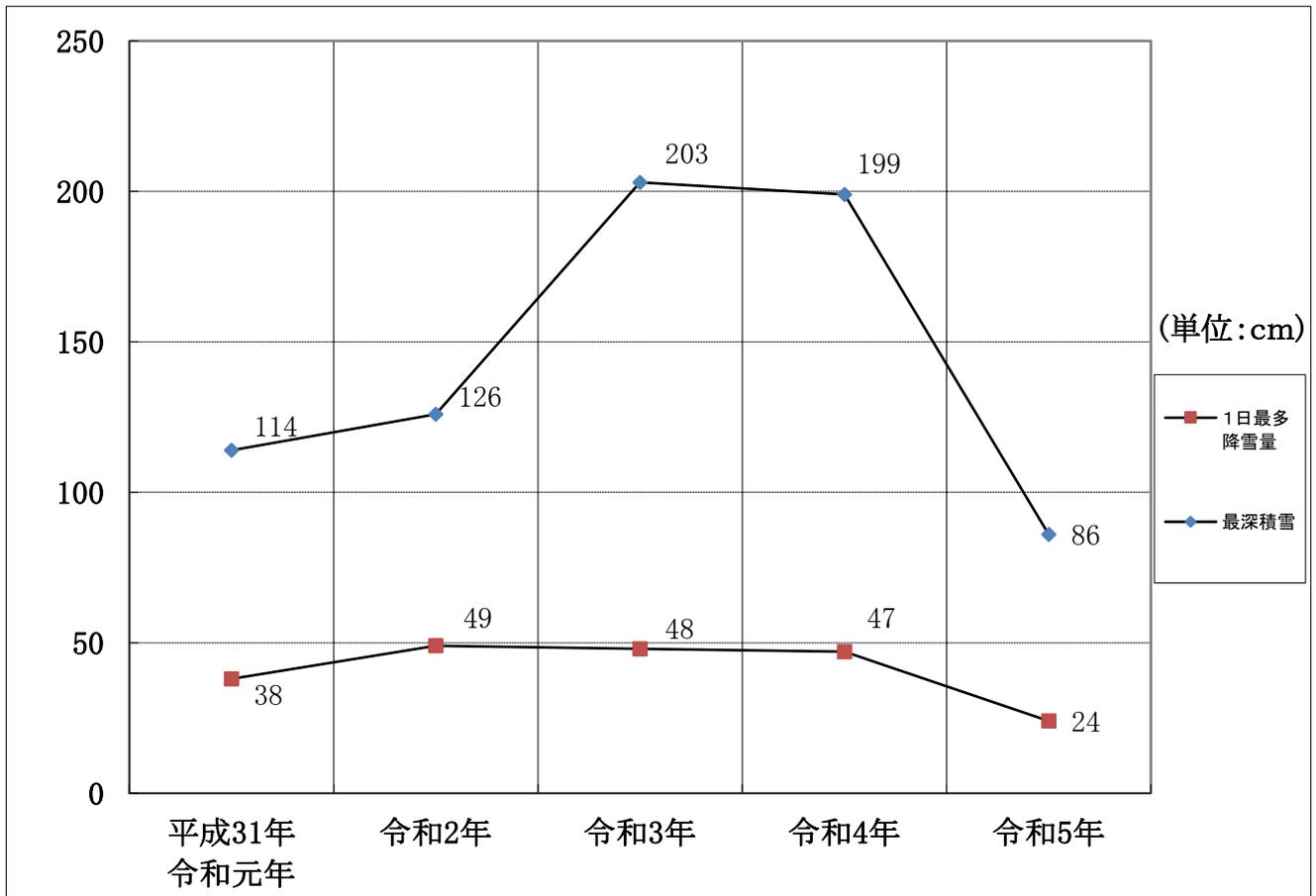
気象統計

(令和5年)
通信指令室観測

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最多風向	西北西	北西	東	西北西	東南東							
最大風速	10.1	9.1	6.4	8.6	6.6	6.9	6.4	7.1	5.9	6.9	7.9	8.8
平均風速	1.9	1.6	1.7	2.4	2	2	1.8	2.2	1.8	1.8	2	1.5
最高気温	7.3	11.9	22.5	25.7	31	31.7	35	39.2	36.7	26.6	25.9	15.3
最低気温	-9.9	-9.3	-5.2	0.2	2.5	9.7	18.2	22.2	12.6	4.6	-2	-9.3
平均気温	-1.2	-0.7	5.8	10.8	15.6	21.5	25.5	29.6	24.4	14	8.3	1.6
最大湿度	93.9	92.6	96.1	93.4	95.4	95.5	97.1	95.7	96.1	95.5	97.6	96.5
最小湿度	51.2	33.5	17.7	13.4	17.1	23.9	44.7	35.6	39.4	31.9	41.4	50.5
平均湿度	79.3	79.4	66.7	62	67.8	73.1	78.3	70.5	77.1	78.6	81.5	82.2
降水量mm	145.5	110	85.5	109.5	139	123.5	308	93.5	128.5	172	308.5	165.5
降雪量cm	202	209	12	—	—	—	—	—	—	—	44	56
最高気圧	1019.6	1026.1	1023.2	1019.8	1019.8	1009.5	1011.1	1009.2	1015.6	1019.5	1022.6	1023.3
最低気圧	991.1	993.6	992.9	984.1	995.4	985.6	991.3	993.3	992.8	987.8	989.2	991.3
平均気圧	1008.9	1013	1012.6	1007	1006.9	1001.3	1002.5	1001.6	1005.3	1007.1	1009	1011.4
降雨日数	28	24	10	11	13	15	16	5	14	17	21	23

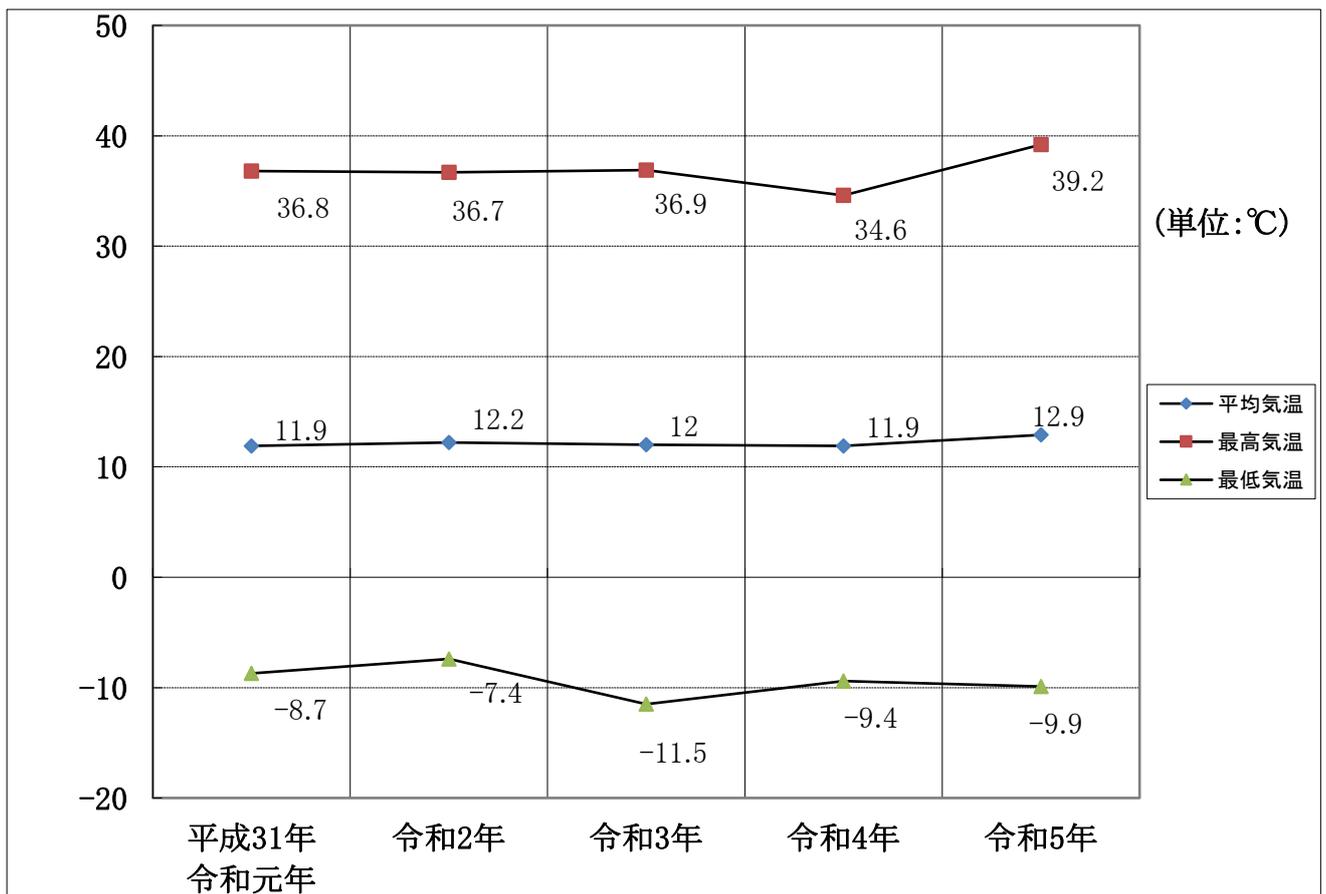
※ は気象庁ウェブサイト(<https://www.data.jma.go.jp>)から引用

過去5年間の1日最多降雪量、最深積雪



気象庁ウェブサイト(<https://www.data.jma.go.jp>)から引用

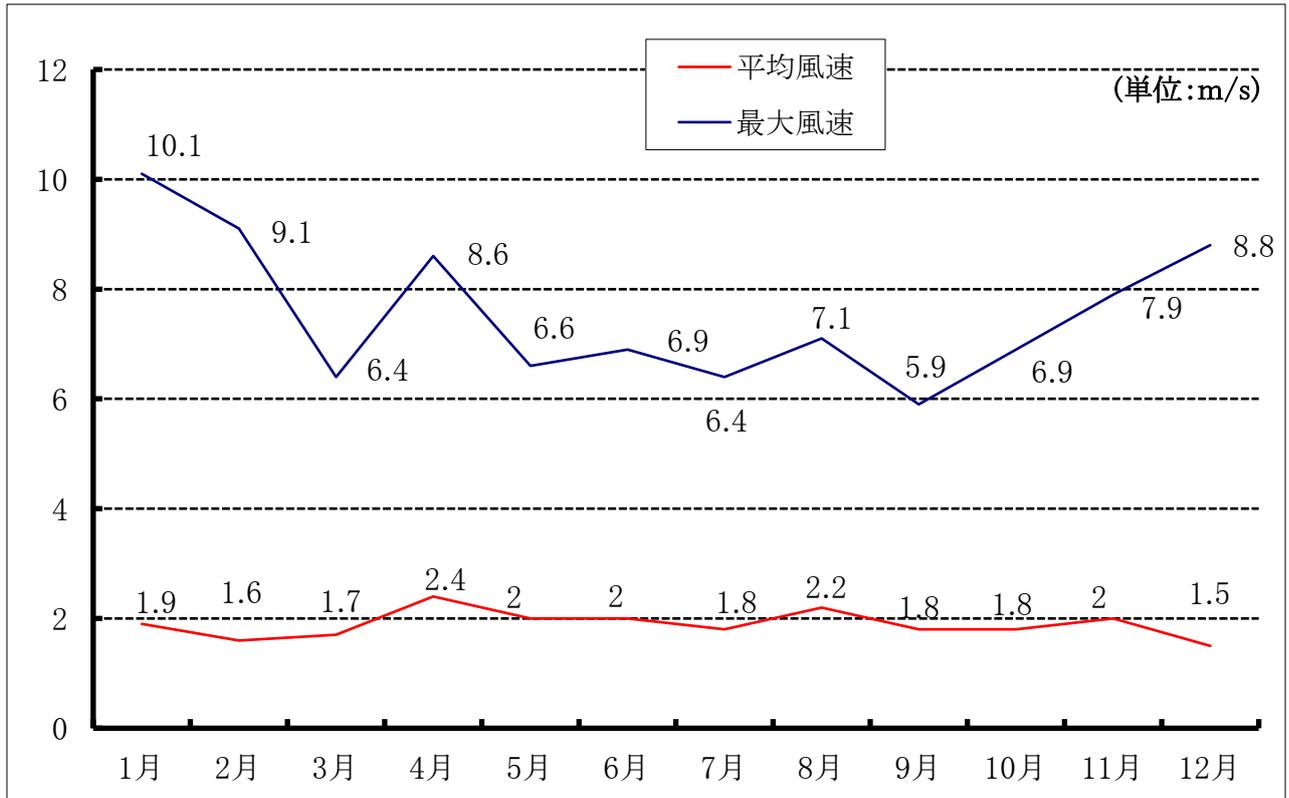
過去5年間の気温の推移



気象庁ウェブサイト(<https://www.data.jma.go.jp>)から引用

月別平均風速と最大風速

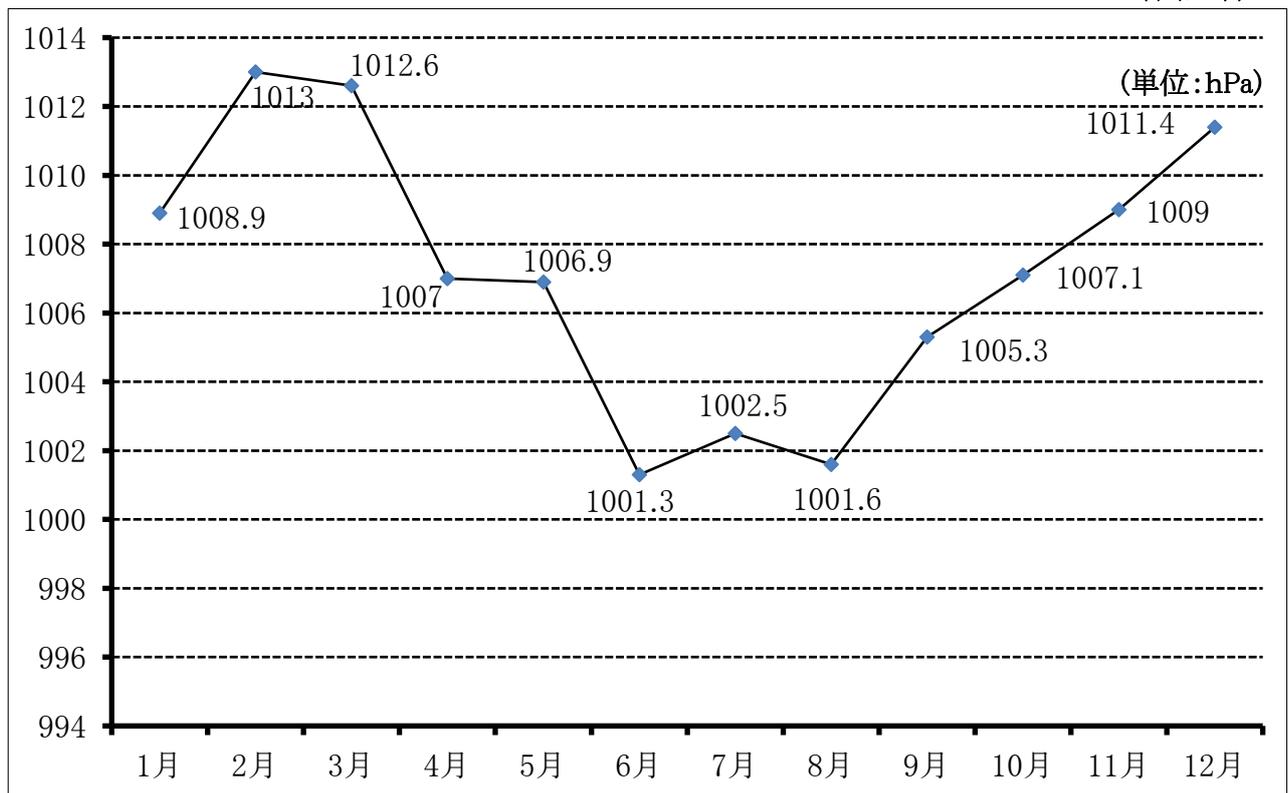
(令和5年)



気象庁ウェブサイト(<https://www.data.jma.go.jp>)から引用

月別平均気圧の推移

(令和5年)



救 助 概 況

出 動 活 動 救 助 人 員 事故種別	平成31年 令和元年			令和2年			令和3年			令和4年			令和5年		
	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員												
合 計	59	26	29	42	23	24	47	25	26	46	25	29	48	18	19
建 物 火 災															
建 物 火 災 以 外															
交 通 事 故	43	14	16	25	10	11	17	7	7	25	15	19	33	8	9
水 難 事 故				3	3	3	4	3	3	3	1	1	4	3	3
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故							1	1	1	1	1	1			
機 械 に よ る 事 故	6	5	5	4	2	2	1			2			4	4	4
建 物 等 に よ る 事 故	3	2	2	1	1	1	1	1	1				2	2	2
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	2	1	1	1						1	1	1	2		
破 裂 事 故															
そ の 他 の 事 故	5	4	5	8	7	7	23	13	14	14	7	7	3	1	1

救助器具 保有一覧

令和6年4月1日現在

器具名	個数
一般救助用器具	
かぎ付きはしご	5
三連梯子	14
金属製折りたたみはしご・ワイヤーはしご	7
空気式救助マット	1
救命索発射銃	1
救助用縛帯	14
平担架	8
重量物排除用器具	
油圧ジャッキ	3
油圧スプレッダー	2
可搬ウィンチ	2
マンホール救助器具	1
救助用簡易起重機	
マット型空気ジャッキ（一式）	2
大型油圧スプレッダー	5
救助用支柱器具	1
チェーンブロック	1
切断用器具	
油圧切断機	3
エンジンカッター	8
ガス溶断器	1
チェーンソー	11
鉄線カッター	11
空気鋸	2
大型油圧切断機	4
空気切断機	1
コンクリートチェーンソー	1
破壊用器具	
万能斧	28
ハンマー	14
携帯用コンクリート破壊器具	6
削岩機	1
ハンマドリル	1
検知・測定用器具	
生物剤検知器	
可燃性ガス測定器	2
有毒ガス測定器	2
酸素濃度測定器	2
放射線測定器	26
化学剤検知器	1

器具名	個数
呼吸保護用用具	
空気呼吸器	56
空気補充用ポンベ	
酸素呼吸器	5
簡易呼吸器	2
防塵マスク	67
送排風機	2
エアラインマスク	
隊員保護用器具	
耐電手袋	17
耐電衣	6
耐電ズボン	6
耐電長靴	6
防塵メガネ	51
携帯警報機	46
防毒マスク	15
化学防護服	39
陽圧式化学防護服	5
耐熱服	2
放射線防護服	2
特殊ヘルメット	40
除染用器具	
除染シャワー	1
除染剤散布器	2
水難救助用器具	
潜水器具	11
救命胴衣	105
水中投光器	12
救命浮環	39
浮標	1
救命ボート	4
船外機	1
水中スクーター	
水中無線機	5
水中時計	11
水中テレビカメラ	1
山岳救助用器具	
登山器具	
バスケット型担架	4
検索用器具	
簡易画像探索機	1

器具名	個数
高度救助用器具	
画像探索機	1
地中音響探知機	
熱画像直視装置	7
夜間用暗視装置	
電磁波探査装置	
二酸化炭素探査装置	
水中探査装置	
地震警報器	
その他の救助用器具	
投光器	23
携帯投光器	35
携帯拡声器	25
携帯無線機	27
応急処置用セット	4
車両移動器具	4
緩降機	4
ロープ登降機	4
救助用降下機	4
発電機	15
その他	
大型ブローア	
ウォーターカッター	

通信



通信指令台

通 信 指 令 設 備

《機器構成》 令和6年4月1日現在

品 名		通信指令室	消防本部	消防署	南分署	西分署	平鹿分署	山内分署	計
1	指令装置								
(1)	指令台	3							3
(2)	自動出動指定装置 (制御処理装置1式、19インチディスプレイ3台)	1							1
(3)	地図等検索装置 (地図等検索装置3台、19インチ地図用ディスプレイ3台)	1							1
(4)	長時間録音装置	1							1
(5)	非常用指令装置	1							1
(6)	指令制御装置	1							1
(7)	携帯・IP電話受信転送及び発信地受信装置 (平成24年6月統合型に切り替え)	1							1
(8)	プリンタ	2							2
(9)	カラープリンタ	1							1
(10)	スキャナ	1							1
(11)	署端末			1	1	1	1	1	5
2	表示盤								
(1)	車両運用表示盤	1							1
(2)	支援情報表示盤	1							1
(3)	多目的情報表示盤	1							1
3	無線統制台	1							1
4	指令情報伝送装置								
(1)	指令情報送信装置	1							1
(2)	指令情報出力装置(端末)			1	1	1	1	1	5
5	気象情報収集装置	1							1
6	災害状況等自動案内装置	1							1
7	順次指令装置(電話、Eメール)	1							1
8	音声合成装置	1							1

品名		通信指令室	消防本部	消防署	南分署	西分署	平鹿分署	山内分署	計
9 出動車両運用管理装置									
(1)	Ⅲ型管理装置	1							1
(2)	Ⅲ型車両運用端末装置		2	9	4	4	3	2	24
(3)	車外設定端末装置			4	2	2	1	1	10
10 システム監視装置		1							1
11 電源装置									
(1)	無停電電源装置(UPS)通信指令施設	1							1
(2)	無停電電源装置(UPS)署端末			1	1	1	1	1	5
(3)	直流電源装置(12V系)	1							1
(4)	直流電源装置(24V系)	1							1
(5)	非常用発動発電機			1	1	1	1	1	5
12 発信地表示装置 (平成24年6月統合型に切り替え)		1							1
13 指令付属装置									
(1)	119番FAX受付装置	1							1
(2)	災害情報連絡用FAX	1							1
14 無線装置(デジタル)									
(1)	基地局用無線装置		1 敷地		1 十文字	1 大森		1 山内	4
(2)	遠隔制御装置		2						2
(3)	無線回線制御装置	1							1
(4)	管理監視制御装置	1							1
(5)	車載型無線装置		7	10	6	6	4	3	36
(6)	携帯無線機	1	5	10	4	4	3	2	29
(7)	可搬型無線機		1 敷地						1
(8)	署用受令機			1	1	1	1	1	5
(9)	直流電源装置(基地局用)				1	1		1	3
(10)	非常用発動発電機	1			1 十文字	1 大森		1 山内	4
15 デジタルトランシーバー			3	20	10	10	6	4	53
16 庁舎監視カメラ装置									
(1)	監視用カメラ	2			1	2			5
(2)	屋外設置用ハウジング	1							1
(3)	監視用モニタ	2			1	1			4

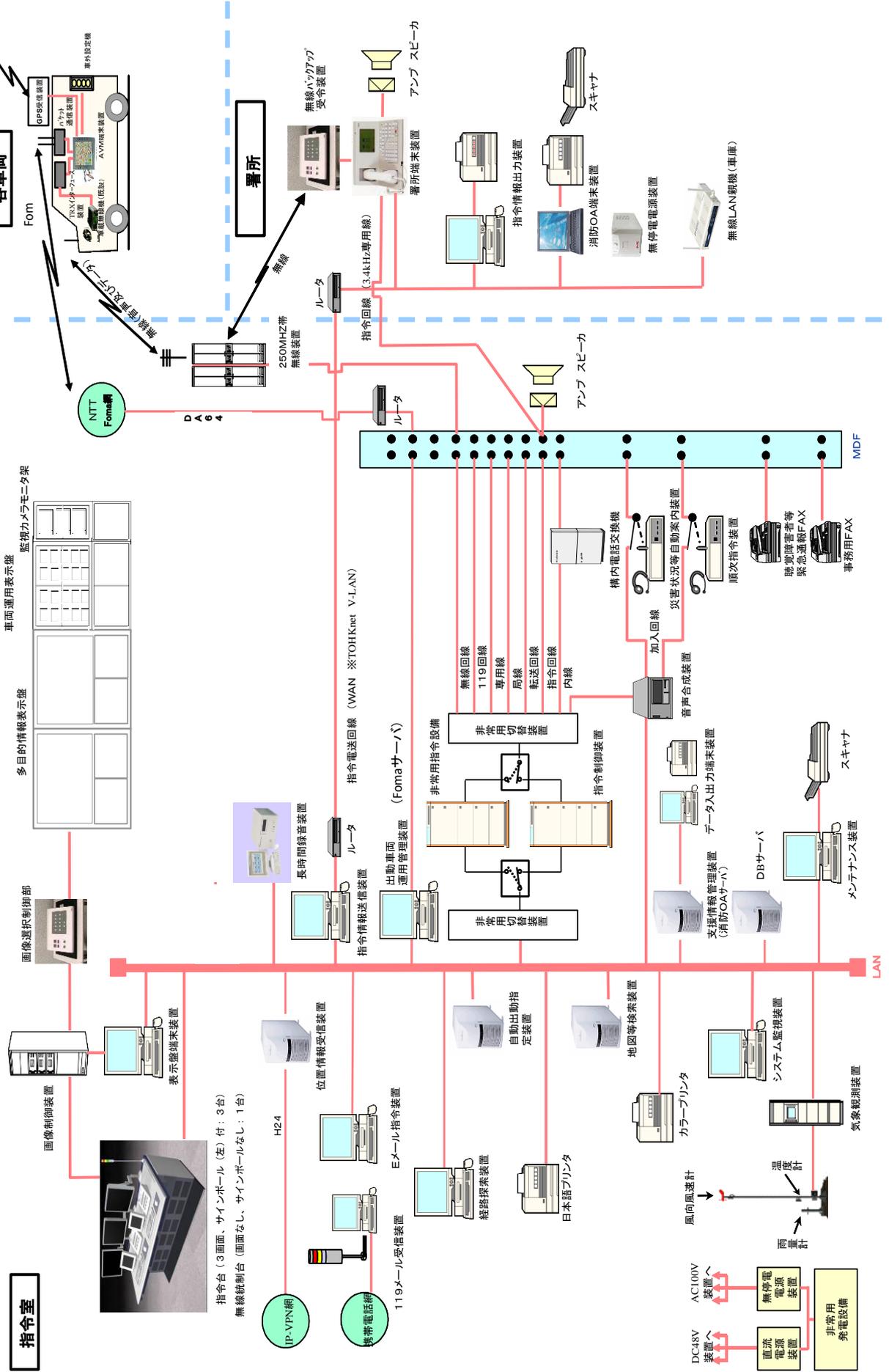
品名		通信指令室	消防本部	消防署	南分署	西分署	平鹿分署	山内分署	計
17 消防情報支援装置									
(1)	サーバー	1							1
(2)	消防情報支援端末装置								
	①本体 (NEFOAP)	3	3	1	2	2	1	1	13
	②イメージスキャナ	1							1
(3)	ネットワーク機器	1							1
18 電話交換装置									
(1)	電話交換機	1							1
(2)	IP多機能電話	4	19	8	4	4	2	2	43
(3)	配線架(MDF)	1							1
19 IT支援情報端末装置									
(1)	イントラ情報端末装置	3							3
20 動画像電送装置									
(1)	動画像受信装置	1							1
(2)	動画像電送装置	1							1
21 その他									
(1)	指令システム分電盤	1							1
(2)	119メール受信装置	1							1
(3)	NET119受信装置	2							2
(4)	緊急車両出動表示灯		1		1	1			3
(5)	高速回線避雷ユニット		1	1	1	1	1	1	6
(6)	県総合防災情報システム	1							1
(7)	携帯・IP電話位置情報表示装置	1							1
(8)	地震表示装置	1							1
(9)	東北電力専用回線	各1回線							各1回線
(10)	横手警察署専用回線								
(11)	東日本高速道路(株)専用回線								

《回線／回路構成》

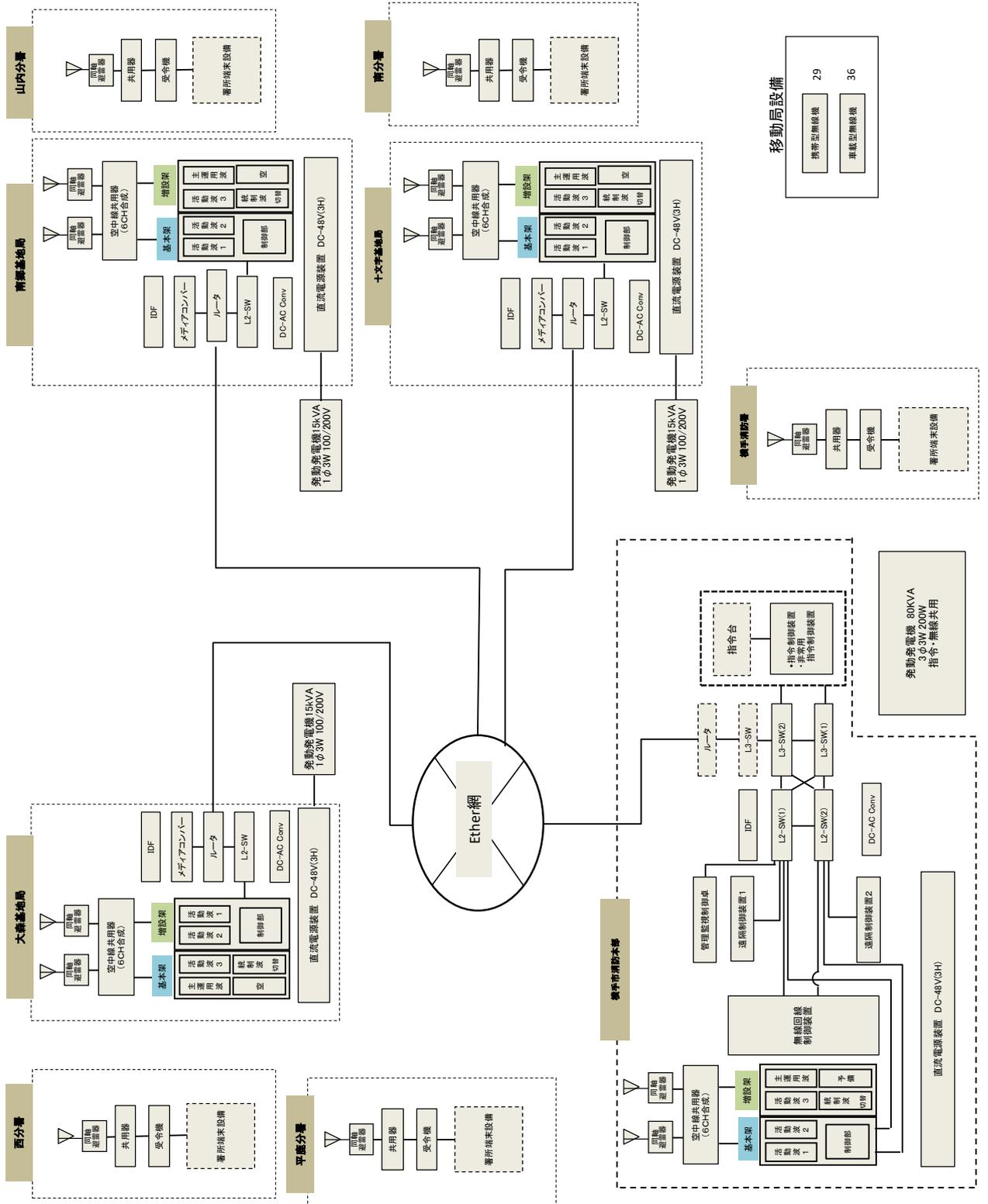
	回線・回路名	容 量	実 装	備 考
1	1 1 9 番受付回線	1 6	6	発信地 I N S × 3 回線
2	携帯 1 1 9 番受付回線	1 6	4	ドコモ・a u・ソフトバンク・ 楽天モバイル
3	携帯 1 1 9 番転送回線 携帯 1 1 9 番転送受付回線	8	2	I N S 1 回線を携帯 1 1 9 番 転送受付用として使用
4	指令回線	1 0	5	
5	局線（一般加入回線）	8	2	
6	内線	5	5	構内回線
7	専用回線	6	3	
8	無線回線	8	6	
9	庁内放送回線	8	7	
1 0	災害情報自動案内回線	2 4	2 4	
1 1	自動順次指令回線	1 0	4	
1 2	指令伝送回線	2 4	7	
1 3	予告指令回線	8	7	指令台標準装備
1 4	現在時刻表示回路	8	7	指令台標準装備
1 5	病院呼出回路	4 0 0	4 0 0	ワンタッチ発信用
1 6	関係機関呼出回路	4 0 0	4 0 0	ワンタッチ発信用
1 7	多言語 1 1 9 回線	1	1	ワンタッチ発信用
1 8	N E T 1 1 9 回線	2	2	

横手市消防本部

高機能消防指令センターシステム系統図



横手市消防本部 消防デジタル無線システム概略図



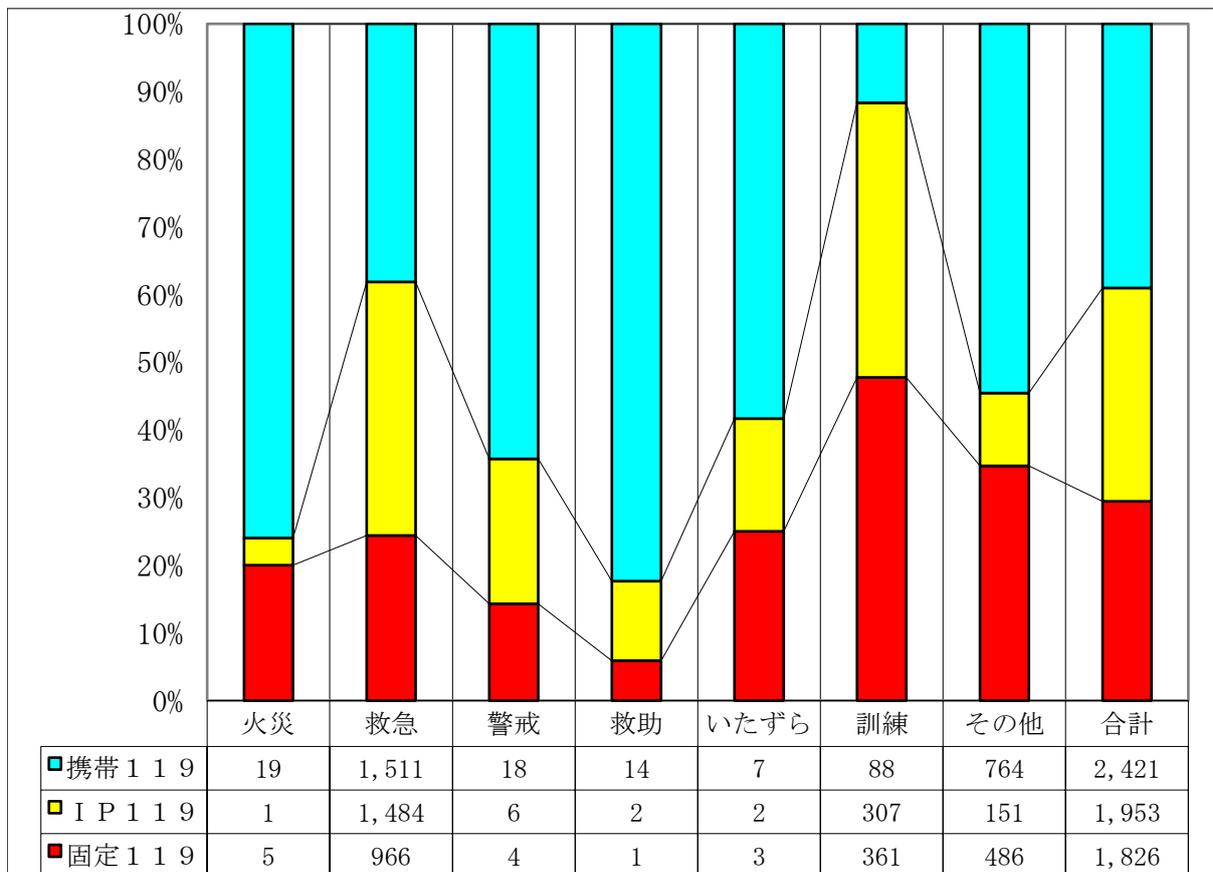
119番通報受付状況

令和5年度

	火災	救急	警戒	救助	いたずら	訓練	その他	合計
4月	7	254	1	2	1	34	121	420
5月	4	316	2	2	4	74	149	551
6月		298	1	2	2	75	106	484
7月		357	5	2		65	134	563
8月	3	443	3	2	1	32	123	607
9月	2	313	1	1	1	51	121	490
10月	2	309	2	1		138	95	547
11月		320	3	1		91	116	531
12月	2	342	4		3	55	107	513
1月	1	353	2	1		30	113	500
2月	2	296				45	94	437
3月	2	360	4	3		66	122	557
合計	25	3,961	28	17	12	756	1,401	6,200

119番発信種別の比較

令和5年度



救急



山内救急1号車の更新

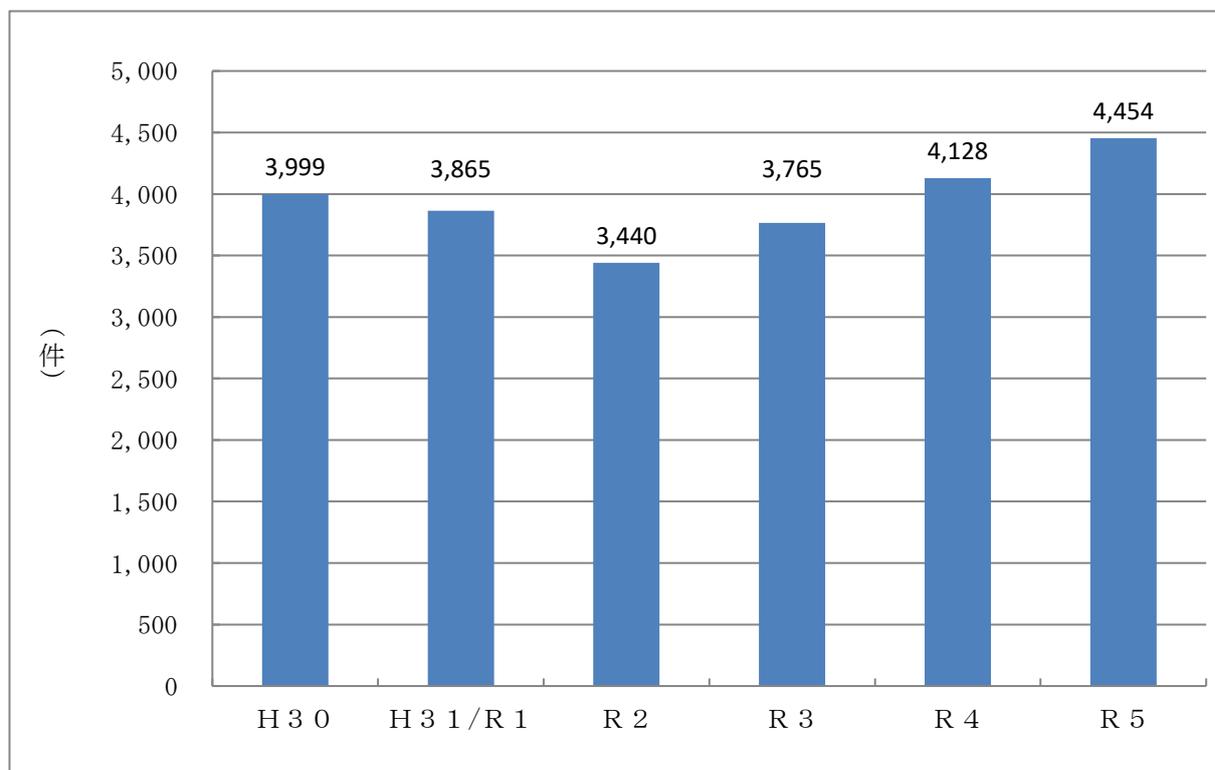
救急業務の推移

令和5年中の横手市における救急出動件数は4,454件で4,146人を医療機関に搬送した。これを前年と比較すると件数で326件、搬送人員238人の増加となった。

前年比で有意な増減はないが、人口減少のなか、救急搬送の可能性が高い高齢者人口は減少しないため、今後しばらく救急件数は横ばいとなる見通しとなっている。

5年前との比較でみると出動件数は455件の増加、搬送人員は317人の増加となっている。

第1図 救急出動件数の推移



第1表 救急出動件数及び搬送人員の推移

	出動件数	前年比	搬送人員	前年比
平成30年	3,999	+135	3,829	+125
平成31年 令和元年	3,865	-134	3,681	-148
令和2年	3,440	-425	3,257	-424
令和3年	3,765	+325	3,582	+325
令和4年	4,128	+363	3,908	+326
令和5年	4,454	+326	4,146	+238

救急業務の実施状況

(1) 救急出動状況及び搬送人員

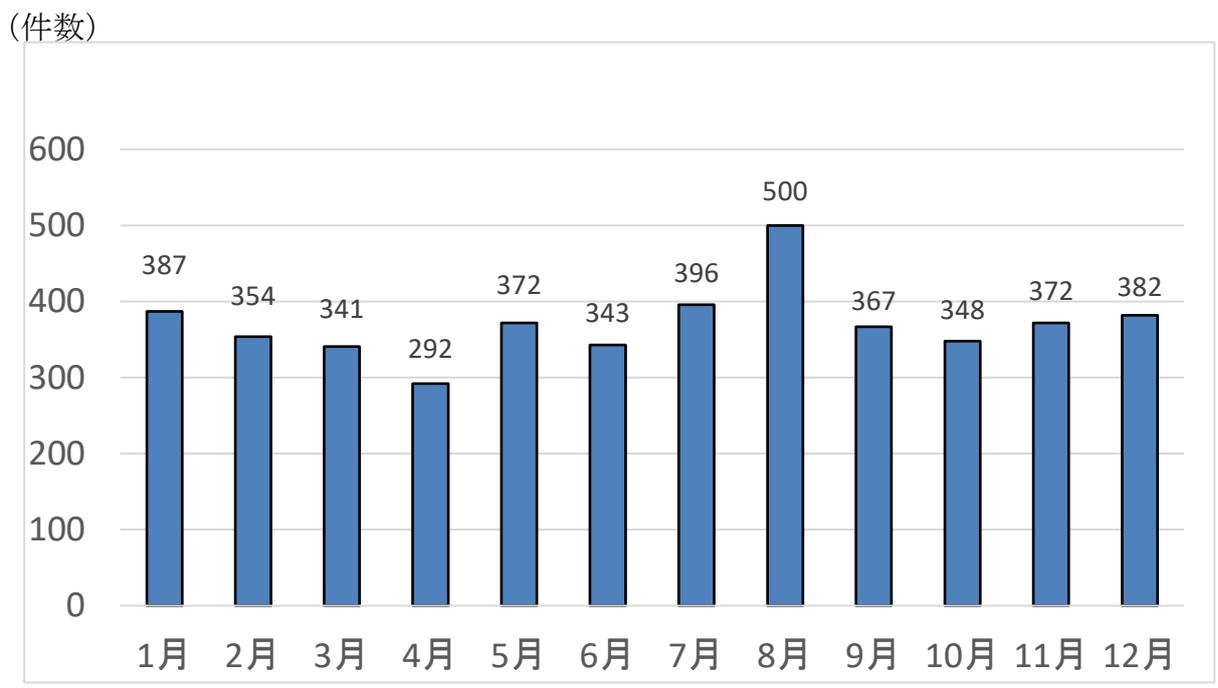
令和5年中の出動件数は4,454件で1日平均12.2件、搬送人員は、4,146人で管内人口82,454人（令和5年12月31日現在）のうち概ね20人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。事故種別出動件数では、急病が3,124件（70.1%）一般負傷595件（13.4%）、転院搬送326件（7.3%）の順で上位を占めている。

地域別の救急出動件数は、横手1,952件（前年1,788件）、平鹿538件（前年513件）、十文字480件（前年486件）、雄物川464件（前年376件）、増田413件（前年348件）、大森226件（前年269件）、大雄195件（前年185件）山内185件（前年161件）、管外への出動1件（前年2件）の順となっている。

第2表 救急出動の概要

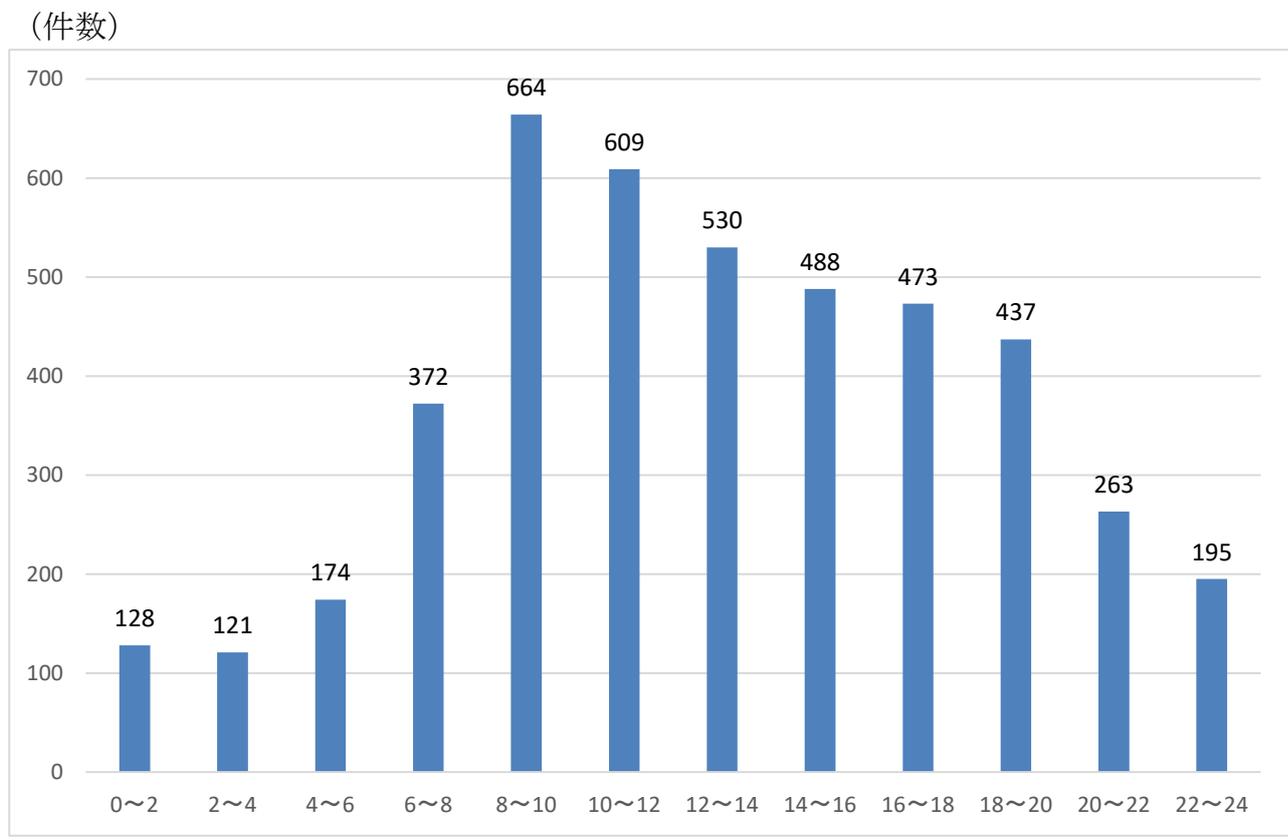
	令和4年	令和5年
管内人口	84,294人	82,454人
出動件数	4,128件	4,454件
搬送人員	3,908人	4,146人
1日あたりの出動件数	11.3件	12.2件
1日の最多出動件数	24件	27件
人口1万人あたりの出動件数	489.7件	540.2件
管内人口／搬送人員	21.6人に1人	19.9人に1人
救急出動最多事故種別	急病	急病
救急出動最多月	9月	8月
救急出動最多曜日	月曜	木曜
救急出動最多時間帯	8時～10時	8時～10時

第2図 月別救急出動件数（令和5年）



(月)

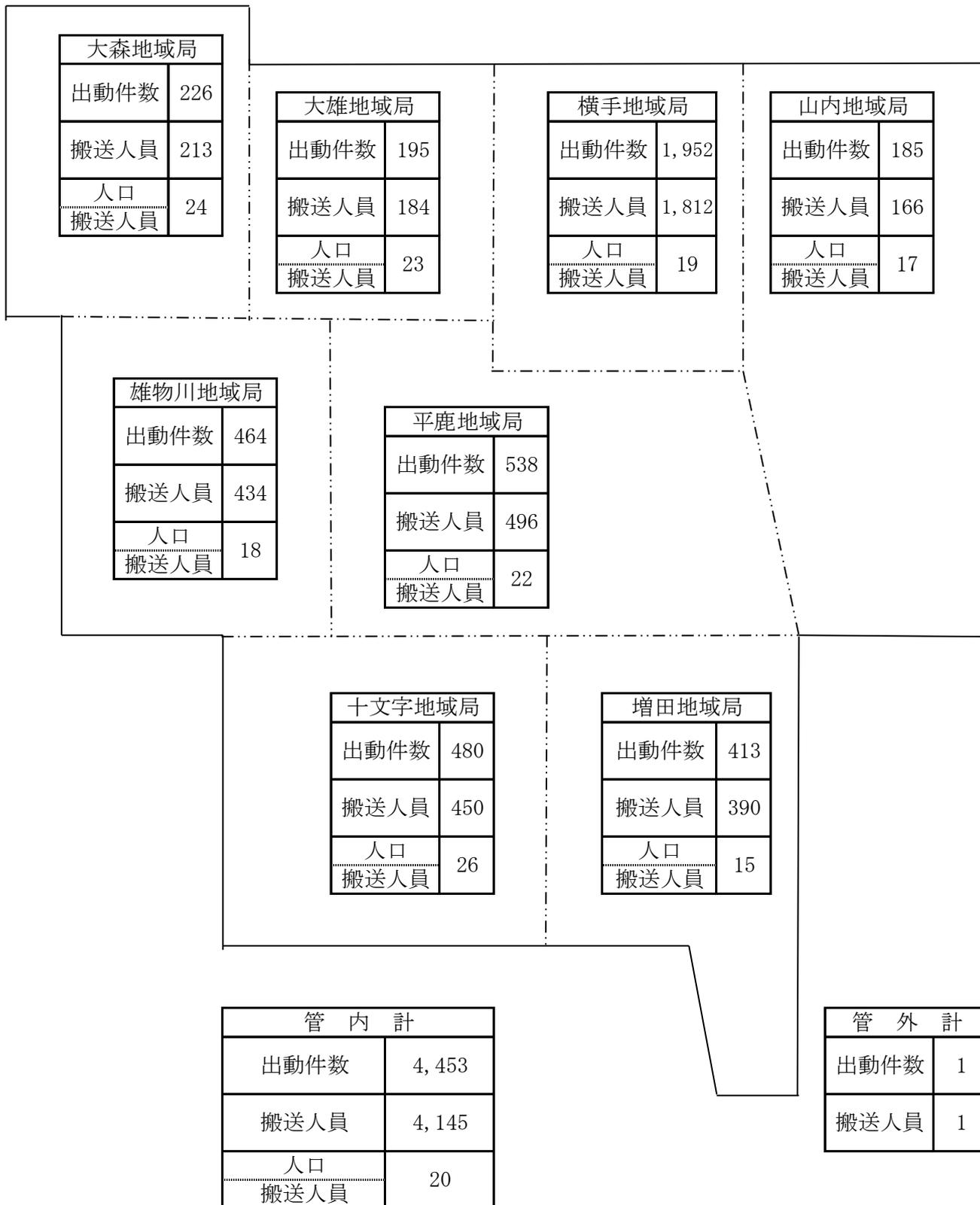
第3図 時間帯別救急出動件数（令和5年）



(時間帯)

第4図 地域別救急出動件数及び搬送人員

(令和5年中)



(2) 傷病程度及び年齢別搬送人員の状況

令和5年中の搬送人員は4,146人で傷病程度状況は、死亡157人（全体の3.8%）重症564人（同13.6%）、中等症1,780人（同42.9%）で、これらをあわせた傷病者の割合は全体の60.3%にあたる。一方で入院加療を必要としない軽症者の割合は39.7%と高い数値になっている。

また、年齢別では65才以上の年齢層が3,064人と全体の73.9%を占めており、高齢化社会の影響により高年齢層の救急搬送人員の割合が高くなっている。

第3表 傷病程度別搬送人員

	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送・その他
計	4,146	14		2	229	34	25	569	7	22	2,925	319
死亡	157			1	1			16	1	4	131	3
重症	564	1			18	7	1	65		6	370	96
中等症	1,780	5		1	54	12	8	205	2	4	1,299	190
軽症	1,645	8			156	15	16	283	4	8	1,125	30
その他												
備考	○死亡 初診時において、死亡が確認されたもの。 ○重症 3週間以上の入院加療を必要とするもの。 ○中等症 入院を必要とするもので重症に至らないもの。 ○軽症 入院を必要としないもの。 ○その他 医師の診断がないもの。											

第4表 年齢別搬送人員

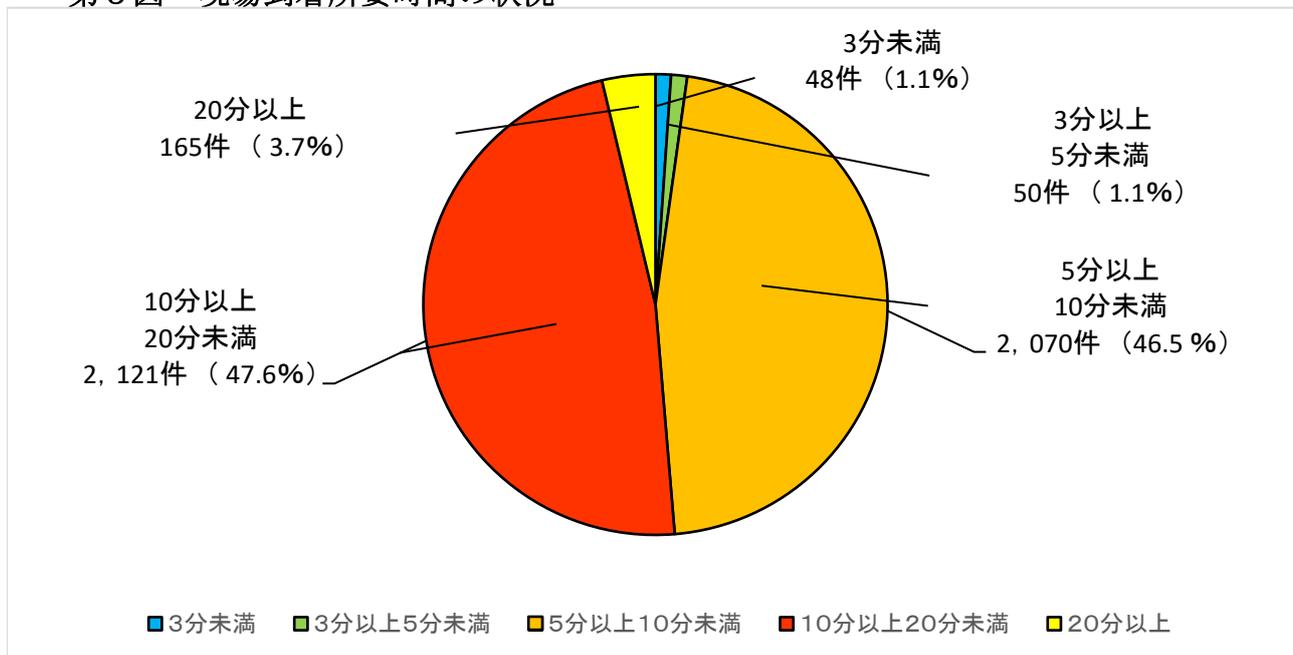
	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送・その他
計	4,146	14		2	229	34	25	569	7	22	2,925	319
新生児	6											6
乳幼児	105				5			14			74	12
少年	85				10		19	8		2	40	6
成人	886	11			124	23	4	91	5	12	537	79
高齢者	3,064	3		2	90	11	2	456	2	8	2,274	216
備考	○新生児 生後28日未満の者 ○乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者 ○少年 満7歳以上満18歳未満の者 ○成人 満18歳以上満65歳未満の者 ○高齢者 満65歳以上の者											

(3) 現場到着所要時間

令和5年中の救急出動件数4,454件を現場到着所要時間別（覚知から現場に到着するまでに要した時間）にみると、10分以上20分未満が2,121件で最も多く、全体の47.6%を占めている。

なお、平均現場到着所要時間は10.5分（前年11.0分）となっている。

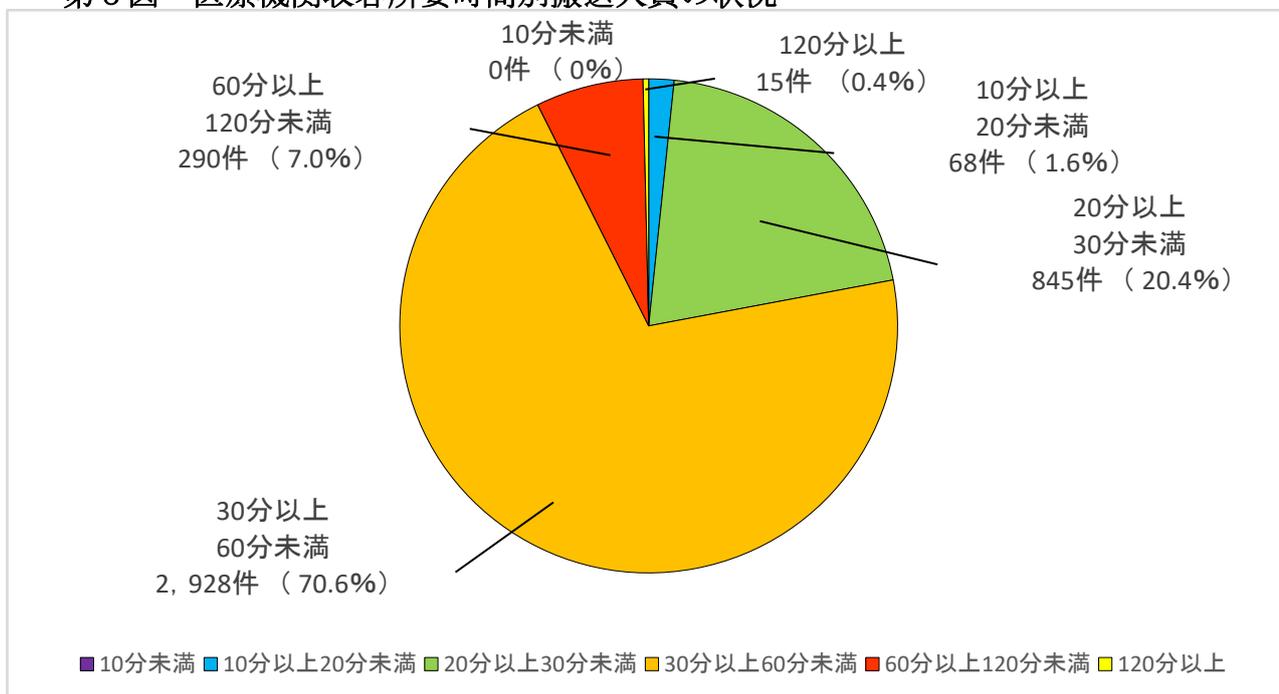
第5図 現場到着所要時間の状況



(4) 医療機関収容所要時間

令和5年中の救急自動車による搬送人員4,146人についての収容所要時間（覚知から医療機関に到着し医師引継ぎまでの時間）の状況は、30分以上60分未満が2,928人（70.6%）で最も多く、次いで20分以上30分未満の845人（20.4%）となっている。なお、平均医療機関収容時間は39.8分（前年40.8分）となっている。

第6図 医療機関収容所要時間別搬送人員の状況



(5) 救急隊員の行った応急処置等の実施状況

令和5年中の搬送人員4,146人の内、救急隊員が応急処置を行った傷病者は4,109人（搬送人員の99.1%）となっている。

平成19年7月から運用開始されている、認定救命士によるアドレナリン投与は47件実施されており、令和4年の27件と比べると20件増加している。

なお、平成26年4月から追加された心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液は61件、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与は8件が認定救命士により実施されている。

第5表 事故種別ごとの応急処置実施数

応急処置	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
止血	血	16	11	40	10	77
被覆	覆	11	26	90	19	146
固定	定	1	34	18	10	63
保温	温	19	4	11	7	41
酸素吸入	吸入	925	19	60	138	1,142
人工呼吸	呼吸	39		2	2	43
胸骨圧迫	圧迫					
心肺蘇生	蘇生	140	2	23	12	177
在宅療法継続	継続	112		3	7	122
血圧測定	測定	2,742	223	533	311	3,809
心音・呼吸音聴取	聴取	1,124	89	76	55	1,344
血中酸素飽和度測定	測定	2,799	225	542	362	3,928
心電図測定	測定	1,969	85	166	153	2,373
気道確保	確保	237	2	24	20	283
(うち経鼻エアウェイ)		2		1		3
(うち喉頭鏡、鉗子等)		9		8		17
(うちラリングアルマスク等)				3		3
(うち気管挿管)				2		2
除細動	除細動	12		1		13
静脈路確保(CPA前/後)		134 (55/79)	2 (1/1)	13 (4/9)	7 (1/6)	156 (61/95)
薬剤投与	投与	37	1	3	6	47
ブドウ糖投与	投与	8				8
その他の処置		2,863	224	557	272	3,916

住民に対する応急手当の普及状況

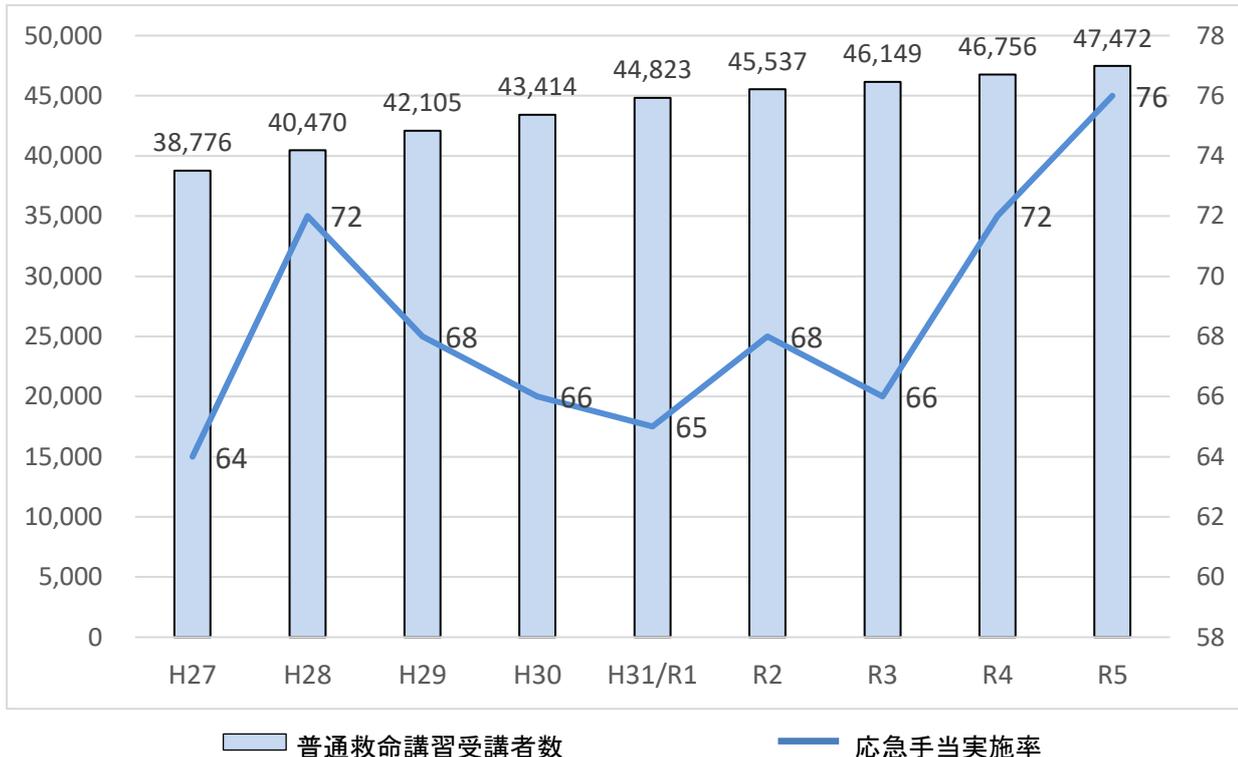
救急隊の要請から現場に到着するまでに要する時間は、令和5年中の平均が10.5分であった。この間に、一般市民による応急手当が適切に実施されれば大きな救命効果が得られることから、住民に対する応急手当の知識と技術の普及を目的に、救命講習会やインターネットを活用したeラーニングによる普及啓発活動を積極的に進めている。

平成6年より実施した普通救命講習の受講者は延べ47,472人に達している。

第6表 講習会実施状況

年別	上級救命講習		普通救命講習		入門コース		その他の講習		計	
平成27年	1回	33人	81回	1,646人	30回	652人	13回	284人	125回	2,615人
平成28年	1回	24人	70回	1,694人	25回	629人	19回	869人	115回	3,216人
平成29年	1回	30人	65回	1,635人	29回	783人	29回	773人	124回	3,221人
平成30年	1回	26人	55回	1,309人	29回	606人	35回	752人	120回	2,682人
平成31年 令和元年	1回	25人	59回	1,409人	32回	665人	22回	473人	114回	2,572人
令和2年	1回	17人	21回	714人	8回	176人	3回	17人	33回	924人
令和3年	1回	19人	32回	612人	22回	427人	2回	16人	57回	1,074人
令和4年	1回	16人	50回	607人	13回	161人	6回	91人	70回	875人
令和5年	1回	16人	59回	716人	16回	298人	9回	134人	85回	1,164人

第7図 心肺停止傷病者に対する一般住民の応急手当実施状況



消防団



令和5年度 冬季防災訓練のワンシーン

横手市消防団

令和6年4月1日現在

統計項目		統計値	
階級別定員	団 長 (名)	1	
	副 団 長 (名)	8	
	分 団 長 (名)	64	
	副 分 団 長 (名)	62	
	部 長 (名)	196	
	班 長 (名)	409	
	団 員 (名)	1,660	
	計 (名)	2,400	
実 員 (名)		2,065	
団員平均年齢		男子 49.1 歳	女子 47.0 歳
市職員（実員の内数） (名)		205	
普通ポンプ自動車 (台)		4	
小型動力ポンプ付き積載車 (台)		85	
小型動力ポンプ (台)		106	
消火栓（私設及び基準外含む） (基)		1,574	
防火水槽（私設及び基準外含む） (基)		1,107	

報 酬

種別	支払区分	報酬額 (単位：円)
年額報酬	団 長	90,000
	副 団 長	73,100
	分 団 長 (副支団長職)	54,800
	分 団 長 (分団長職)	40,500
	副 分 団 長	35,700
	部 長	27,600
	班 長	19,800
	団 員	16,500
出動報酬	災 害 出 動 (1回につき 4時間未満)	2,500
	災 害 出 動 (1回につき 4時間以上7時間45分未満)	5,000
	災 害 出 動 (1回につき 7時間45分以上)	8,000
	大 規 模 災 害 出 動 (1日につき 4時間未満)	2,500
	大 規 模 災 害 出 動 (1日につき 4時間以上7時間45分未満)	5,000
	大 規 模 災 害 出 動 (1日につき 7時間45分以上)	8,000
	警 戒 出 動 (1回につき)	2,500
	訓 練 出 動 (1回につき)	2,500
	そ の 他 (1回につき)	2,500

※「大規模災害出動」とは、出動命令から解散まで24時間を超える災害に係る出動とする。

歴代消防団長一覧表

令和6年4月1日現在

歴代	氏名	就任	退任	備考（在職期間）
初代	菊池 二郎	平31.4.1	令3.3.31	在職期間 2年
2代	菅原 一太郎	令3.4.1	令5.3.31	在職期間 2年
3代	樋渡 徹	令5.4.1	現在	

※平成31年4月1日、横手市内8消防団を統合し、名称を横手市消防団とした。

支部訓練大会種目別成績表

(直近5大会)

年 度	種 目	第 1 位	第 2 位	第 3 位
平成29年度	総 合	山内消防団	十文字消防団	平鹿消防団
	規 律 訓 練	大森消防団	大雄消防団	山内消防団
	小型ポンプ操法	十文字消防団	山内消防団	平鹿消防団
	ポンプ車操法	十文字消防団	雄物川消防団	大森消防団
平成30年度	総 合	十文字消防団	山内消防団	大森消防団
	規 律 訓 練	大森消防団	山内消防団	大雄消防団
	小型ポンプ操法	十文字消防団	山内消防団	平鹿消防団
	ポンプ車操法	十文字消防団	大森消防団	雄物川消防団
令和元年度	総 合	大森支団	十文字支団	平鹿支団
	規 律 訓 練	大森支団	大雄支団	十文字支団
	小型ポンプ操法	十文字支団	平鹿支団	山内支団
	ポンプ車操法	十文字支団	大森支団	雄物川支団
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の拡大により中止			
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の拡大により中止			
令和4年度	総 合	—	—	—
	規 律 訓 練	横手支団	雄物川支団	大雄支団
	小型ポンプ操法	十文字支団	山内支団	平鹿支団
	ポンプ車操法	十文字支団	雄物川支団	—
令和5年度	総 合	—	—	—
	規 律 訓 練	横手支団	大森支団	平鹿支団
	小型ポンプ操法	山内支団	十文字支団	横手支団
	ポンプ車操法	大森支団	十文字支団	雄物川支団

災害



NBC災害対応訓練の様子

災 害 年 表

年 号	地 域	種 別	記 事
明治29年	全 域	地 震 (陸羽)	仙北を震源とした地震が8月23日から発生し、8月31日8時37分M6.4の最大震を観測。これにより平鹿郡で死者18名、負傷者111名、焼失1棟、全半壊1,709棟、破損6,707棟のほか、道路、橋梁棟に被害。
大正2年	全 域	地 震 (強首)	3月15日仙北でM7.1の地震発生これにより平鹿郡で死者4名、負傷者8名、住家非住家全壊46棟、半壊52棟、破損890棟の被害。
昭和2年	増 田	火 災	5月31日縫殿村通覚寺より出火、折からの強風に煽られ18戸に延焼する。損害額3万円。
昭和3年	横 手	火 災	7月31日水上より出火、住家12戸焼失。消防夫1名負傷。損害額17,425円。
昭和6年	横 手	火 災	1月17日秋田県立横手中学校(現県立横手高校)寄宿舎放火により焼失。
	増 田	火 災	3月19日増田昭和館より出火。
昭和8年	十 文 字	火 災	梨木で7戸焼失。(大杉焼失)
昭和11年	増 田	火 災	1月6日上町より出火。5棟全焼。
昭和12年	平 鹿	火 災	5月11日六日町新町より出火、9棟全焼。
昭和13年	増 田	火 災	4月29日樋場より出火、全半焼24棟、損害額17,500円。
昭和14年	横 手	火 災	9月5日隣村栄村火災に応援出動途中、同村赤谷地国道上で通行人を避けようとハンドルを切り誤り杉並木にポンプ車が衝突、常備消防部長と警防員2名が殉職。
昭和15年	大 森	火 災	神成部落より出火、6戸全焼。
昭和17年	増 田	火 災	5月20日放火により本町から出火、18棟23世帯焼失。
	平 鹿	火 災	6月2日宿館より出火。13棟全焼。
昭和18年	横 手	火 災	3月27日上飛瀬より出火、住家3棟、非住家2棟全焼、焼死者1名、損害額12,300円。この年残雪多くポンプ自動車通行不能のため、ガソリンポンプ2台で消火。
	大 森	水 害	8月12日豪雨により横沢、極楽寺、船沢で橋脚が流失。横沢、極楽寺で道路決壊、上溝川左岸の護岸が流失。
昭和19年	横 手	火 災	5月9日横手沢にて山火事発生、15mの風に煽られ林野2ha焼失。
昭和20年	横 手	空 襲	7月15日米軍艦載機3機飛来し、横手国民学校(旧横手工業高校)付近に爆弾を投下、爆風により学校の窓ガラスや

			壁が落ちる被害を受けた。
			8月5日再度艦載機飛来し爆弾を投下、横手駅また走行中の列車に機銃掃射した。爆弾は駅前民家に命中、家は崩壊家族6人死亡、負傷者2名。
昭和21年	大森	火災	8月23日日本郷より出火、住家非住家62棟全半焼。
昭和22年	平鹿	火災	5月宿館より出火、3棟全焼。
	大雄	水害	7月23日大雨により雄物川が増水し、阿気村地区の雄物川堤防6カ所決壊、その他河川の橋梁10数カ所流失した。藤巻、六丁、山王、中島の低地一帯が水没、大森町まで一帯が冠水する。
	雄物川	水害	7月雄物川で大洪水、沼館橋流失。
	横手	水害	7月23日大雨により横手川が増水氾濫。永久橋の中野西袂から中央へ30mが橋脚とともに流失、床上浸水500棟。8月2日再度大雨で中の橋西岸10m決壊、流失家屋1、床上浸水73棟、床下浸水398棟ほか堤防決壊有り。9月14日～15日、キャサリン台風が豪雨をもたらした横手川の水位は7.7mに達する。本郷橋20m、碓大橋30m床上浸水350棟、床下浸水1,057棟。
	大森	水害	7月23日、8月2日、9月14日～15日大雨や台風により川西で橋脚9カ所流失、道路決壊3カ所。
	十文字	水害	7～9月にかけて、大雨と台風により皆瀬川が増水し繰り返し洪水が発生し川沿いの地域を中心に大きな被害を受けた。睦合村で流失家屋11棟、倒壊家屋13棟、半壊以上8棟、半壊以下531棟、床上浸水306棟、床下浸水419棟。植田村志摩集落で7戸が当時人家のなかった高口に移住した。
	山内	水害	村内まれにみる水害。
	増田	火災	12月30日増田水力電気会社事務室より出火、同会社全焼。損害額18,000円
昭和23年	増田	水害	台風のため成瀬川橋、戸波橋流失。
昭和24年	増田	火災	2月27日雄平農村工場より出火、建物9棟361坪を焼失。
	山内	火災	4月11日相野々下三明岡の大火。(全焼22戸)
昭和25年	山内	火災	9月10日相野々駅前(中島)大火。(全焼11戸、15世帯)
昭和26年	大雄	火災	12月31日重福寺火災。
	大森	火災	4月9日五日町より出火、45棟全半焼。
昭和27年	十文字	火災	三重小学校全焼
	横手	水害	7月15日から3日間にわたる降雨で県内の大小河川は増

昭和 28 年	大 森 増 田	火 災 火 災	水。道路、橋梁、護岸の被害大、根岸町護岸 60mに被害。平和街道も 7 カ所寸断。
			3 月大森農協倉庫焼失。
	大 森 横 手	火 災 火 災	4 月 28 日専売公社たばこ収納場より出火、90 坪焼失。損害額 400 万円。
			5 月 18 日女郎出より出火、全焼住宅 14 棟、非住家 11 棟半焼 3 棟、損害額 594 万円。
昭和 29 年	大 森 雄物川	火 災 火 災	11 月 24 日前郷字礼堂（現前郷二番町）より出火、住家 5 棟、非住家 1 棟全焼、7 棟半焼、負傷者 5 名、損害額 602 万円。
			矢走より出火、3 棟焼失。
	大 森	火 災	二井山より出火、住家 9 棟、非住家 5 棟全焼。
昭和 30 年	大 雄 横 手	火 災 水 害	8 月 11 日前田より出火、住家 12 棟、非住家 8 棟全焼、4 名焼死。損害額 1,102 万円。
			3 月 31 日根田谷地田根森劇場火災。
	大 森	水 害	6 月 24 日～26 日豪雨により横手川増水、全市消防団総出動。境大橋（木橋）、中の橋の一部流出、本郷橋、碓大橋流失、26 日 0 時 25 分サイレンを吹鳴、付近住民は横手公園に避難、交通網は麻痺。行方不明者 1 名、家屋流失 4 棟、床上浸水 231 棟、床下浸水 654 棟。
			6 月 25 日豪雨により、横沢、熊の堂、鉢山、芝橋の橋が流失。大森橋、武道線の道路 330m流失。鉢山堤、石高堤、の溜め池が決壊、床下浸水 32 戸。
			6 月 24 日大雨により雄物川増水及び氾濫、床下浸水 54 棟。
昭和 31 年	大 雄 山 内	水 害 水 害	6 月 24 日～25 日にかけての豪雨により、家屋の床下浸水 8 戸、行方不明者 1 名の外、橋梁 18 カ所、道路 37 路線、農地等に多大の被害、損害額 2,000 万円以上。
			11 月 4 日醍醐中学校火災、1 棟全焼。
	平 鹿 横 手	火 災 火 災	1 月 3 日寺町店舗併用住宅より出火、木造 2 階建を全焼。火元 23 歳女性、1 歳男児焼死。
9 月 7 日睦成字関根より出火、住家 1 棟、非住家 4 棟全焼、住家 2 棟半焼。さらに 300m離れた住家に飛火し、住家非住家各 1 棟全焼。損害額 302 万円。			
昭和 32 年	平 鹿 横 手	火 災 火 災	2 月 1 日蛭野小学校火災、1 棟全焼。損害額 1, 500 万円。
			5 月 17 日安田谷地岸より出火、私鉄機関庫 1 棟 152 坪全焼。蒸気機関車 1、内燃機関車 1、客車 1、ラッセル車 1 など焼失。

昭和33年	横手	火災	6月4日上飛瀬(現寿町)タイヤ修理工場より出火、火元工場1、同住家1全焼、隣家運送業者車庫全焼、同住家1棟全焼、納豆製造販売工場一部焼失、火元男性左手に火傷、消防士1名背部に火傷を負う。損害額289万円。
	大森	水害	8月26日豪雨により藤野の雄物川護岸決壊。
	横手	火災	12月12日金沢中野字長持より出火、火元住家非住家各1棟、隣家1棟全焼、さらに、金沢南小学校(現市立金沢小学校)に延焼し、普通教室2室、音楽室の一部を焼失。損害額301万円。
	横手	風害	12月13日暴風雨により全壊家屋7棟、一部破損23棟、電柱倒壊22本。
	大森	火災	4月23日五日町より出火、4棟全半焼。
	大森	火災	5月19日木ノ根坂より出火、全焼住家1棟非住家3棟、半焼1棟、尚この火災で古文書、国宝級の文化財焼失。
昭和34年	大森	水害	7月29日豪雨により大納川、上溝川の堤防14カ所決壊(420m)、水路決壊(355m)、橋梁流失2カ所。
	大森	水害	9月18日台風による雨で雄物川、上溝川の堤防決壊(200m)、崖崩れ70m、橋の流失3カ所、床上浸水21戸、床下浸水42戸。
昭和35年	大森	水害	7月6日豪雨により堤防や護岸が決壊、道路9,500m決壊。床上浸水4戸、床下浸水174戸。
昭和36年	横手	火災	2月11日睦成字千手沢より出火、住家1棟及び、市有共同住宅(4世帯)全焼。損害額281万円。
	大森	火災	3月20日坂部開より出火、住家5棟、非住家3棟全焼。
	平鹿	火災	2月3日浅舞小学校火災1棟半焼、損害額2,000万円。
昭和37年	横手	火災	2月22日上真山より出火、住家2棟非住家2棟全焼、部分焼1棟。この年は十数年ぶりの大雪に加え、前日の雨で道路状態が悪く各ポンプ隊は迂回し現場に着くも水利状態も悪くホース延長に時間を要した。また、一時国鉄の列車の運行を停止し消火にあたった
	横手	火災	4月11日上飛瀬(現寿町)より出火、住家4棟、非住家1棟全焼。避難の際、2階から飛び降りた女性が脊椎骨折の重症を負った。原因は放火の疑い。損害額997万円。
	横手	風害	9月16日台風18号により全壊家屋1棟、屋根の破損多数、杉立木の倒木46本。20時火災警報を発令する。
	横手	火災	12月6日前郷字外飛瀬(現前郷二番町)織物工場より出火、同工場811㎡、同住家、土蔵造り倉庫2棟全焼。当日は強

昭和 38 年	横 手	火 災	<p>風波浪注意報が発令中で南東の風 7m と強く、市内消防団員 100 人あまりの出動の外、平鹿町、大森町、十文字町、大雄村及び大曲市から消火応援があった。</p> <p>損害額 2,883 万円。</p> <p>3 月 3 日下根岸町市立横手北小学校第 3 校舎より出火、木造校舎 2 棟、平屋建体育館 1 棟延べ 3,537 m²を焼失、消防団員 400 名余、平鹿郡内のポンプ車及び大曲、湯沢市の消防署からの応援があり、風下の民家、寺院への延焼が阻止できた。原因不審火として調査したが不明。</p> <p>損害額 3,790 円</p>
昭和 40 年	大 雄 横 手	火 災 雪 害	<p>5 月 3 日上町より出火、住家 11 棟、非住家 7 棟全焼。</p> <p>1 月と 2 月は概ね平年並みの降雪だったが、2 月下旬から 3 月にかけて冬型の気圧配置が強まり 3 月としては 20 年来の大雪となり、市民生活に大きな障害が出た。このため 3 月 13 日～16 日自衛隊の出動を要請し、隊員 110 名、車両 7 台をもって道路の除雪を行った。</p> <p>主な被害は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 月 24 日睦成字上真山で倉庫 165 m²全壊、中型貨物車一部破損、1 名右足骨折を負う。 ・ 2 月 6 日雄物川町雄南小学校体育館（木造平屋建 297 m²）倒壊。 ・ 3 月 5 日鍛冶町で木造平屋建て倉庫 182 m²全壊、車両 2 台破損、商品多数に被害。 ・ 3 月 5 日柳町（現中央町）映画館木造一部 2 階建の客席部分 122 m²、2 階客席天井部分破損。 ・ 3 月 17 日大屋沢にて幅 10m 高さ 30m の雪崩が発生、死者 2 名（46 歳、16 歳男性）、負傷者 2 名。 ・ 3 月 17 日山内役場 30 m²が潰れ、職員 3 名負傷。 ・ 3 月 24 日山内小松川地内で薪の上の雪が崩れて、1 名死亡。
	大 雄 横 手	水 害 水 害	<p>4 月 21 日雪どけ水のため、田根森地内の県道、村道 3 カ所が一時通行不能となる。</p> <p>7 月 15 日、前日からの降水量は 105mm に達し横手川は増水、旭岡橋流失、中小河川の川田橋、野中橋、中杉沢橋が流失、横手川付近住民は高地へ避難、公共施設、農地道路、堤防等に甚大な被害を受ける。浄水場の被害で飲料水の供給が途絶、湯沢市、増田町より応援を受ける。床上浸水 1,150</p>

			棟、床下浸水 3,142 棟。死者行方不明者なし。 (災害救助法適用)
	大 森	水 害	7 月 15 日豪雨により大納川、上溝山城堰流域の橋の流失 5 カ所、山崩れ 5、護岸決壊 2、道路決壊、路面の流失 16 カ 所、床上浸水 46、床下浸水 64 戸。横荘鉄道雄物川架橋の 橋脚沈下。
	山 内	水 害	7 月 15 日豪雨により、橋脚の流失損壊 15 カ所の外、道路 の決壊、農地等の流失埋没、建物の全半壊 6、床上浸水 20、 床下浸水の 55 戸の被害を出した。損害額 13, 445 万円。 (村分)
	横 手	火 災	12 月 4 日四日町上町 (現四日町 6 番) 商店より出火、住家 1 棟非住家 3 棟全焼、非住家 1 棟半焼、住家 2 棟非住家 1 棟部分焼で延べ 1,513 m ² 焼失。市の中心街であり店舗、住 宅が密集しており、建物の外動産 5, 277 万円余りの被害を 出す。
昭和 41 年	大 森	水 害	3 月 5 日融雪により床上浸水 1 戸、床下浸水 35 戸。
	大 森	水 害	6 月 28 日～29 日豪雨により橋脚の流失 2 カ所、床上浸水 17 戸、床下浸水 51 戸、一部損壊 14 カ所。
昭和 43 年	山 内	雪 害	1 月 22 日山内村三又字松沢の砂防ダム建設工事現場で、長 さ 100m、幅 20m、厚さ 2m の雪崩が発生、作業員 3 名が 生き埋めとなり死亡。
	大 森	火 災	4 月 27 日坂部小学校全焼。
昭和 44 年	増 田	水 害	集中豪雨で戸波橋の一部が流失する。
昭和 45 年	増 田	地 震	東成瀬地震で震度 3 を記録、被害総額 4,000 万円。
	増 田	火 災	4 月 25 日雄平酪農組合職員寮より出火、寮及び隣接板金 会社倉庫を全焼。
昭和 46 年	横 手	水 害	7 月 3 日断続的な降雨により横手川増水、床上浸水 5 棟、 床下浸水 125 棟。
	大 森	水 害	7 月 3 日豪雨により床上浸水 8 戸、床下浸水 74 戸。
昭和 47 年	山 内	水 害	2 月 2 日～3 日集中豪雨により村内 4 河川が氾濫し、橋梁 の流失 2 カ所の外、道路の決壊、農地の流失冠水、床上浸 水 13 戸。
	十 文 字	水 害	8 月 2 日～3 日雷を伴う降雨により各河川増水、下仁井田地 区で床下浸水 36 棟。
昭和 48 年	大 森	火 災	1 月 9 日袴形保育園より出火、保育園併用住宅 1 棟全焼。 損害額 776 万円。
昭和 49 年	横 手	雪 害	明治 27 年秋田气象台設置依頼最多の降積雪となり、1 月

			<p>11 日市では豪雪非常事態を宣言、1 月 25 日夜半から降り出した雪は一晚に 68 c m、27 日の朝は積雪 2.35m となる。市民が一斉に雪下ろしを始めた柳町（現中央町）では、2 階から家へ出入りする状態。交通は途絶、列車も全て止まった。県への自衛隊派遣を要請、28 日 205 名、29 日 120 名、山形から 85 名が到着、搬入した重機を駆使し 1 週間を要する除雪が昼夜を通して実施された。</p> <p>2 月 14 日、15 日最高積雪 2.4m を記録。</p> <p>1 月 31 日からは国鉄の外、横手大森線が不通となり学生、通勤者等徒歩で通学通勤する状態が 3 日間続いた。山内では 1 月 25 日～27 日降雪量 2.6m、積雪量 4 m。小学校は臨時休校。また、農林関係では果樹を中心に 33 億円の被害に及んだ。</p>
昭和 50 年	横 手	火 災	8 月 30 日新坂町市立鳳中学校体育館より出火、体育館 841 m ² 焼失。原因不明、損害額 2,124 万円。
	雄物川	火 災	12 月 19 日常野より出火、住家 1 棟全焼、焼死者 1 名。
	雄物川	火 災	2 月 18 日中島より出火、住家 1 棟全焼、焼死者 1 名。
	大 雄	水 害	8 月 6 日集中豪雨により、雄物川大上橋が大雄村側 64m 流失した。
昭和 51 年	大 森	水 害	8 月 7 日豪雨により大納川氾濫、五日町、菅生田、昼川などで住宅の半壊 1、非住家半壊 3、床上浸水 184 戸、床下浸水 169 戸。横沢橋、極楽寺橋流失。
	大 森	火 災	10 月 21 日剣花より出火、住家 1 棟非住家 1 棟全焼、非住家 1 棟部分焼、焼死者 1 名。（火元 55 歳男性）
	横 手	火 災	1 月 2 日寿町より出火、店舗併用住宅 2 棟全焼、部分焼 1 棟、焼死者 2 名（火元 4 歳、3 歳男児）負傷者 1 名。
	横 手	風 害	3 月 31 日強風により住家、非住家 158 棟に被害、車庫ビニールハウスにも被害、横手西中学校、金沢小学校のトタン屋根剥がれる。新築工事中のビルの足場パイプが隣の風呂屋に倒れる。
	大 森	風 害	3 月 31 日強風により、全壊非住家 9 棟、半壊住家非住家 18 棟、一部損壊 185 棟、公共施設 15、その他 3 に被害。
	横 手	火 災	4 月 4 日田中町より出火、店舗併用住宅 2 棟、住家 4 棟全焼、損害額 3,949 万円。
昭和 52 年	山 内	火 災	4 月 21 日黒沢より出火、木造一部 2 階建住家 1 棟全焼、焼死者 1 名、負傷者 1 名。損害額 531 万円。
	雄物川	火 災	1 月 14 日今宿より出火、住家 1 棟全焼、焼死者 1 名。

昭和54年	増田	火災	1月24日増田字下川原より出火、仏壇工場1棟(1,400㎡)全焼。損害額1億640万円。
	十文字	風害	3月31日新築中の住宅全壊1、一部破損2、非住家全壊8、屋根の被害、その他住宅被害37。
	大雄	風害	3月31日明朝より強風となり、住家92、非住家91に被害、立木195本、役場総合車庫が倒壊、車両5台が損壊した。
昭和55年	山内	火災	4月23日大松川より出火、住家1棟非住家2棟全焼、負傷者1名、損害額1,373万円。
	大森	火災	10月15日八日町より出火、住家4棟全焼、3棟部分焼。損害額2,670万円。
	大森	火災	6月26日文天鏡田レストランパークより出火、非住家1棟全焼。損害額2,757万円。
昭和56年	増田	火災	12月23日湯野沢より出火、作業所併用住家1棟全焼。損害額3,092万円。
	全域	台風	8月23日台風15号による被害。住家全壊1、一部損壊15、非住家全壊4、半壊27、屋根の被害住家非住家40、土砂崩れ2カ所、堤防決壊8カ所。
昭和57年	平鹿	火災	11月25日秋南火工佐藤煙火工場爆発火災、2棟全壊、3棟半壊、28棟ガラス等に被害。死者2名。
	横手	火災	5月15日金沢中野、市立金沢中学校体育館用具室付近より出火、木造2階建校舎2,244㎡焼失。損害額5,142万円。出火原因不明。なお、この年5月に入ってから放火と思われる火災が発生し、同中学校でも5月8日に不審火による出火があり、学校、市教育委員会、警察などで警戒警備に当たっていた矢先であった。
	大森	火災	5月17日上野花火工場秋田火工爆発火災。非住家4棟全焼、周辺の約90棟で外壁、窓ガラス等破損。負傷者2名。損害額509万円。
昭和58年	雄物川	火災	12月11日二井山より出火、非住家1棟全焼。焼死者1名。
昭和60年	十文字	雪害	1月14日十文字文化センターの屋根の雪が、隣接する十文字中学校体育館西側用具室屋根に落下、中央部分10m倒壊する。
	横手	火災	1月23日神明町のアパートより出火、同アパートを全焼、部分焼1、焼死者2名、負傷者1名。
	増田	火災	2月4日増田字七日町より出火、店舗併用住家1棟全焼、1棟部分焼、負傷者1名。損害額3,265万円。
	山内	火災	3月23日大沢より出火、全焼木造一部2階建住家1棟、半

昭和 61 年	雄物川	火 災	焼非住家 1 棟、焼死者 1 名。損害額 1,094 万円。
	横 手	水 害	6 月 21 日童子ヶ沢より出火、森林 5a 焼失、焼死者 1 名。 8 月 6 日雷雨により河川増水、床上浸水 9、床下浸水 109、 屋根の被害 8、堤防決壊 1、崖崩れ 3、道路損壊 2 ヲ所。
	横 手	雪 害	2 月 14 日婦気大堤で木造平屋建倉庫 60 m ² が雪の重みで倒壊。
昭和 62 年	雄物川	雪 害	2 月 14 日矢神で農機具格納庫 130 m ² が雪の重みで倒壊。
	大 森	火 災	3 月 25 日五日町傳福寺より出火、寺院併用住家 1 棟全焼。
	横 手	風 害	3 月 25 日強風により飛んできた戸が当たり 61 歳女性負傷。 非住家全壊 15、半壊 6、一部損壊 111。
	増 田	風 害	3 月 25 日増田高校特別棟の屋根が 174 m ² 剥離。
	平 鹿	風 害	3 月 25 日 58 歳男性が強風により屋根より転落負傷する。 蛭野小学校体育館屋根 112 m ² 、同校舎と体育館の渡り廊下の屋根 33 m ² 剥離。
	横 手	水 害	8 月 16 日～17 日豪雨により横手川が増水、館地区、大沢地区、幸町の堤防決壊。栄地区の住宅横の土砂が流失。
	増 田	水 害	8 月 16 日～17 日床下浸水非住家 2、地滑り 2、道路決壊 3、 河川の決壊 13 ヲ所。
	平 鹿	水 害	8 月 16 日～17 日床下浸水 14 棟。
	雄物川	水 害	8 月 16 日～17 日、8 月 28 日～29 日にかけて 2 度の集中豪雨で雄物川堤防決壊。5 億 6 千万円の被害。
	大 森	水 害	8 月 16 日～17 日床下浸水住家 4 棟、非住家 9 棟。
昭和 63 年	十 文 字	水 害	8 月 16 日～17 日床下浸水住家 7 棟。 8 月 29 日床下浸水住家 5 棟。
	山 内	水 害	8 月 16 日～17 日の豪雨により河川の決壊、橋梁、道路流失、 床下浸水 11 戸の被害。
	十 文 字	火 災	2 月 26 日十五野新田より出火、住家 3 棟、非住家 1 棟全、 住家 1 棟部分焼。
	横 手	火 災	8 月 1 日黒川字悪戸、寺院より出火、寺院併用庫裏 1 棟 全焼、部分焼 3 棟。この火災で 50 k g ガスボンベが爆発、 約 40m 吹き飛ぶ。
	山 内	火 災	11 月 8 日筏より出火、木造 2 階建住家 1 棟、非住家 1 棟全 焼。焼死者 1 名、損害額 2,511 万円。
平成元年	平 鹿	火 災	6 月 11 日樽見内耕新農場より出火、非住家全焼 3 棟、半焼 10 棟 (いずれも鶏舎)、鶏 30,000 羽、鶏卵 3,000 k g 焼失。 損害額 4,124 万円。
	雄物川	火 災	7 月 22 日東里より出火、住宅 1 棟全焼、焼死者 1 名。

平成2年	大 雄	火 災	2月4日西中島より出火、木造2階建作業上併用住家全焼。焼死者1名(男性17歳)、負傷者1名(19歳男性)。
	十文字	火 災	3月1日谷地新田より出火、住家2棟、非住家3棟全焼、住家3棟、非住家1棟部分焼。
平成3年	全 域	台 風	9月28日台風19号により非住家全壊10棟、半壊住家15棟をはじめ、住家非住家1,071棟、文教施設24、農業施設等、多くの被害。また、煙突修理中の64歳男性が強風により転落負傷する。
平成5年	平 鹿	火 災	4月5日伊勢堂より出火、住家3棟全半焼、焼死者1名、損害額5,584万円。原因放火。
	横 手	火 災	10月4日城西町の飲食店より出火、店舗住家1棟全焼、焼死者2名、負傷者1名。
平成6年	平 鹿	火 災	4月19日桑ノ木より出火、住家1棟全焼、焼死者3名。損害額1,447万円。
	増 田	火 災	7月27日縫殿より出火、工場併用住家1棟全焼、消防士1名負傷。損害額9,871万円。
平成7年	大 森	水 害	8月16日～17日集中豪雨により、檜岡川、猿田川、上溝川が増水、土砂崩れ5カ所、道路陥没3カ所、通行止め4カ所、床上浸水12棟、床下浸水18棟、田畑冠水111ha。
平成8年	平 鹿	火 災	3月1日阿弥陀田より出火、住家1棟全焼、非住家1棟部分焼、住家1棟ぼや、焼死者1名(女性)。原因囲炉裏炬燵の不始末。
	雄物川	火 災	9月15日砂子田地内住家1棟149㎡全焼。損害額1,887万円。原因仏壇ローソクの不始末。
	山 内	火 災	10月14日土渕より出火、住家1棟306㎡全焼。負傷者2名、損害額2,104万円。原因たばこの不始末。
平成9年	十文字	火 災	3月16日植田地内住家1棟252㎡全焼。死者2名、損害額1,525万円。原因フライパン加熱の疑い。
	横 手	火 災	9月30日、蛇の崎町住宅密集地より出火、住家全焼3棟、部分焼2棟488㎡焼失と、非住家4棟ぼや、一酸化炭素中毒及び火傷者2名。損害額5,785万円。
平成10年	横 手	火 災	2月23日赤坂より出火、全焼住家1棟、非住家1棟、部分焼住家2棟。損害額2,300万円。
	雄物川	火 災	4月20日谷地新田地内非住家(空き屋)1棟395㎡全焼。損害額2,643万円。
	横 手	水 害	7月28日梅ノ木後外4町内が降り始めから短時間に65mmの局地的な大雨により、床上浸水4棟、床下浸水31棟、道

平成11年	雄物川	火災	路冠水4ヵ所など、市民生活に大きな影響を及ぼす。 1月31日東里より出火、住家併用豚舎1棟400㎡焼失。豚80頭、損害額2,260万円。
	雄物川	雪害	3月3日沼館で倉庫(土蔵造)の張り出し部分217㎡が雪の重みで損壊し車両6台全半壊。
	横手	火災	3月16日中央町住家1棟227㎡全焼。損害額3,087万円。
	増田	風害	3月22日低気圧接近による強風のため、住家、非住家5棟屋根トタン剥離、杉、樅の木多数倒木し電線に被害有り。(最大瞬間風速28m 増田分署計測)
	平鹿	風害	同日 住家、非住家8棟屋根トタン剥離。
	十文字	風害	同日 住家、非住家8棟屋根、壁体トタン剥離、農業施設等に被害多い。
	雄物川	風害	同日 沼館八幡神社境内の樹齢150年、100年の杉倒木。
	大雄	風害	同日 屋根トタン修理中突風にあおられ転落受傷(重症)。
	山内	火災	4月22日三又より出火、全焼住家1棟、非住家2棟390㎡焼失。焼死者1名。
	十文字	水害	4月27日佐賀会地内皆瀬川右岸河川敷(旧堤防)大雨に融雪が加わり幅20mにわたり崩落、木流し工法行う。
	横手	火災	5月5日赤坂より出火、全焼非住家2棟、669㎡焼失。
	雄物川	火災	9月3日東里より出火、全焼住家1棟、半焼住家1棟、住家併用作業場1棟、ぼや1棟の645㎡焼失。
	平鹿	火災	9月14日祭典用の曳き山車1台焼損、負傷者3名。
	平成12年	平鹿	風害
	全域	風害	12月19日正午過ぎから突風による被害発生、住家、非住家37棟の屋根トタン剥離、瞬間最大風速31mを記録する。
平成13年	横手	火災	3月7日幸町より出火、住家2棟419㎡全焼、類焼2棟。損害額9,572万円。
	雄物川	火災	4月11日沼館より出火、住家1棟121㎡全焼、焼死者1名。損害額1,241万円。
	増田	火災	4月27日山林4ha 杉立木280本焼失、防災ヘリコプター「なまはげ」出動する。
	横手・山内	水害	8月1日集中豪雨により横手川が警戒水位に達し、横手では降り始めから155mm、山内で総雨量214mmを記録した。両地区では建物、農業、道路関係に大きな被害をもたらした。損害総額、横手1億6,800万円、山内、5億3,900万円。

平成14年	横 手	火 災	1月7日石町より出火、住家1棟全焼、焼死者1名。損害額1,791万円。
	増 田	火 災	2月25日火石田より出火、住家1棟全焼、焼死者1名。損害額1,187万円。
	全 域	土砂水害	7月10日～11日台風6号により各地で土砂災害が発生、雄物川町では雄物川増水のためスイカ、水稻など52haに被害。
	横 手	土砂水害	8月1日～2日集中豪雨により市内7ヵ所土砂災害が発生し30棟に床下浸水などの被害。
	横 手	土砂水害	8月19日～20日台風13号による豪雨のため市内6ヵ所に土砂災害発生。道路冠水14ヵ所、根岸町、神明町、荒沼地区等で70棟100世帯が床下浸水等の被害を受ける。
	山 内	火 災	9月13日三又地内製材所1棟477㎡全焼。損害額1,310万円。原因アセチレンバーナーによる飛び火の疑い。
	全 域	風 害	10月1日～2日台風21号の強風被害が発生、立木倒木6、農業用施設倒壊、損壊など69棟、リンゴの倒木落下など被害177haに及ぶ。
平成15年	大 森	火 災	10月7日西野共同住宅97㎡部分焼。損害額1,888万円。
	大 森	火 災	5月5日川西で住家1棟262㎡全焼。損害額2,583万円。原因ガスコンロの消し忘れ。
平成16年	十 文 字	風 害	6月20日台風6号から変わった低気圧の強風のため、農業用ハウスの被覆ビニール剥離、損壊など25棟に被害が発生する。
	山 内	火 災	8月17日相野々で店舗併用住宅2棟763㎡全焼。損害額4,897万円。原因 お盆送り火の灰の不始末。
	横 手	火 災	12月5日朝日が丘で住家1棟149㎡全焼。焼死者1名。
	横 手	火 災	12月11日南町で住家2棟219㎡全焼。損害額1,280万円。
	横 手	火 災	2月14日大町地内で旅館1棟999㎡全焼。損害額11,388万円。
平成17年	増田.雄物 川.十文字	水 害	7月17日～18日の集中豪雨のため、増田町道路法面6ヵ所崩落、十文字町、雄物川町で河川敷農作物に被害。損害額9,042万円。
	大 森	火 災	11月7日八沢木地内縫製工場1棟531㎡全焼、負傷者3名。損害額5,618万円。
	増 田	火 災	12月9日亀田地内住家1棟342㎡全焼、焼死者1名。
	横 手	火 災	8月31日赤坂地内住家173㎡全焼。損害額2,581万円。
	横 手	火 災	9月20日平和町地内住家173㎡全焼、負傷者3名。損害額

平成18年	横手	火災	1,687万円。 11月15日金沢地内住家全焼1棟、半焼1棟、部分焼5棟、ぼや2棟、延べ420㎡焼失。損害額1,515万円。
	全域	雪害	17年12月中旬から本格的に雪が降り始め、1月下旬には最深積雪190cm(山内)を記録、各地域局で雪害対策部が設置された。雪に起因した事故も多発し、人的事故(救急搬送)は56件(内死者2名)、建物被害25棟及び農業施設28棟など損害額は2,000万円以上に及ぶ。
	十文字	火災	1月6日上鍋倉地内アパート491㎡全焼。損害額3,885万円。原因たばこの不始末。
平成19年	平鹿	火災	1月23日浅舞地内住家全焼1棟、部分焼1棟、419㎡焼失。損害額1,616万円。
	雄物川	火災	5月5日上西野地内住家1棟293㎡全焼。損害額2,451万円。
	平鹿	火災	2月10日浅舞地内店舗併用住家より出火、全焼4棟、部分焼1棟、延べ1,696㎡焼失。負傷者2名、損害額11,003万円。
	横手	火災	2月17日外ノ目地内住家1棟272㎡全焼。死者1名、損害額1,114万円。
平成20年	山内	火災	3月26日平野沢地内住家1棟161㎡全焼。死者1名。
	山内	火災	5月23日山内土淵林野火災発生秋田県消防防災ヘリコプター「なまはげ」出動要請。焼失面積1ha、15年生杉立木1,967本焼損。
	平鹿	火災	11月18日醍醐地内住家1棟135㎡全焼。死者1名。
	全域	雪害	降積雪量は平年並みであったが19年11月中旬より雪による人的被害(除雪作業中の事故、雪道歩行中の転倒等)が多発し、20年3月上旬まで延べ42名が救急搬送される。(死亡2名、重傷9名、中等傷12名、軽傷19名)
	増田	火災	1月1日増田字関ノ口地内で住家1棟221㎡を全焼。損害額2,680万円。原因灯明の不始末。
	大森	火災	4月5日板井田地内で住家1棟半焼。死者1名。
横手	火災	7月3日南町住家2棟全焼、4棟ぼや。焼損面積171㎡。損害額1,724万円。原因たばこの不始末。	
横手	火災	8月2日清水町地内住家1棟全焼、2棟部分焼。焼損面積262㎡、1名負傷。損害額1,002万円。原因配線半断線による短絡の疑い。	
大森	火災	11月19日袴形地内住家1棟全焼、非住家1棟ぼや。焼損	

平成 21 年	横 手	火 災	面積 403 m ² 、負傷者 1 名、損害額 1,190 万円。原因いづり大根火の不始末。
	横 手	火 災	12 月 13 日横手町地内住家 2 棟全焼、部分焼 2 棟、非住家 1 棟半焼。焼損面積 226 m ² 、負傷者 1 名、損害額 1,331 万円。原因反射式ストーブ取り扱い不良。
	十 字 字	火 災	12 月 28 日平和町地内店舗併用住宅より出火、住家 2 棟全焼、非住家 1 棟ぼや。焼損面積 219 m ² 、損害額 2587 万円。原因放火。
	十 字 字	火 災	1 月 19 日日本町地内で店舗併用住宅より出火、住家 1 棟全焼、2 棟部分焼、ぼや 1 棟。焼損面積 324 m ² 、損害額 31,244 万円。
平成 22 年	横 手	火 災	2 月 8 日朝日が丘地内住家 1 棟全焼。焼損面積 168 m ² 、損害額 2,496 万円。
	大 森	火 災	4 月 30 日板井田地内住家 1 棟全焼、1 棟ぼや、非住家 1 棟全焼。焼損面積 455 m ² 、損害額 1,365 万円。
	雄 物 川	火 災	4 月 23 日谷地新田地内住家 1 棟全焼、1 棟部分焼、1 棟ぼや、非住家 1 棟ぼや。焼損面積 158 m ² 。死者 1 名。
平成 23 年	雄 物 川	風水害	7 月 3 日、雄物川地区で短時間に局地的な大雨、突風により床下浸水 65 棟、突風被害 2 棟、法面崩壊 6 箇所、道路冠水 6 箇所、県道通行止め 1 箇所、停電 1,400 戸のほか、農地冠水などに被害が及ぶ。
	山 内	火 災	9 月 26 日土淵地内住家 1 棟全焼。焼損面積 184 m ² 、死者 1 名。
	平 鹿	火 災	樽見内地内豚舎 1 棟 653 m ² 全焼。損害額 1,067 万円。
	全 域	雪 害	1 月から 2 月上旬にかけて記録的な大雪となり、1 月 24 日横手市雪害対策本部を設置。2 月 1 日には山内分署観測で最深積雪 228 c m を観測する。雪害も多発し、除雪中の事故で 65 名（死亡 6 名、重傷 19 名、軽傷 43 名）、歩行中の転倒などで 34 名が救急搬送される。また、建物被害は住家一部破損 71 棟、非住家全壊 29、半壊 13、一部破損 114 棟、農業関係被害は 36 億 7 千万円以上に及んだ。
	全 域	地 震	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災） 3 月 11 日 14 時 46 分三陸沖でマグニチュード 9.0 の地震が発生、東北太平洋側を中心に津波による甚大な被害が発生した。横手市で震度 5 弱を観測。管内ではこの地震による人的、物的被害はなかったものの、全域が停電となりライフラインに大きな影響が出た。また、3 月 11 日から 31 日

平成 24 年	全 域	地 震	<p>まで岩手県に 13 隊延べ 41 名、4 月 13 日から 17 日、25 日から 28 日まで宮城県に 2 隊延べ 10 名の緊急消防援助隊を派遣した。</p> <p>4 月 7 日東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の余震により震度 5 強を観測。翌日まで市内全域が停電となる。</p>
	全 域	水 害	<p>6 月 23 日から 24 日にかけての大雨により山内地区の秋田自動車道法面崩落により住家 1 棟が全壊したのをはじめ、住家床下浸水 8 棟、非住家床下浸水 7 棟、崖崩れ 8 箇所の被害。</p>
	横 手	火 災	<p>7 月 5 日秋田自動車道上り線 48.6k p、普通貨物自動車 1 台焼損。損害額 1,061 万円。</p>
	平 鹿	火 災	<p>9 月 7 日醍醐地内農作業小屋 1 棟 207 m²全焼。損害額 1,039 万円。</p>
	全 域	風 害	<p>12 月 4 日秋田県全域に暴風警報が発令され、強風により屋根トタンの剥離 3 棟、街路灯 2 本倒れる。</p>
	全 域	雪 害	<p>雪による人的被害では、除雪作業中の事故が 35 件（軽傷 20 名、重症 15 名）、歩行中の転倒等が 25 件であった。建物被害では、住家一部破損が 4 棟、非住家全壊が 8 棟、半壊が 3 棟、その他倒壊が 2 件であった。</p>
	雄物川	火 災	<p>1 月 11 日雄物川町薄井住家 1 棟 200 m²全焼。怪我人 3 名、損害額 444 万円。</p>
	平 鹿	火 災	<p>3 月 3 日平鹿町醍醐住家 1 棟 219 m²、農作業小屋 139 m²を全焼。死者 1 名、怪我人 1 名、損害額 1,281 万円。</p>
	全 域	風 害	<p>4 月 2 日に発生した温帯低気圧が、3 日 15 時には中心気圧が 972hPa に下がり、爆弾低気圧となった。3 日深夜から 4 日朝まで約 10 時間、平均風速 15m の強風が吹き、消防本部観測データでは 4 日 5 時 23 分に 36.7m の最大瞬間風速を記録する。横手市管内において人的被害なし。</p> <p>約 13,900 戸で停電となり、建物被害 791 棟、農業施設被害 826 棟、農作物被害 22,845 m²、公共施設被害 146 施設、指定文化財被害 7 件、その他被害 240 件の被害が生じた。</p> <p>被害総額は 933,729 千円（概算）。</p>
	平 鹿	火 災	<p>7 月 3 日平鹿町浅舞金属加工製造工場 1 棟 394 m²全焼。損害額 3,944 万円。</p>
横手、平鹿 雄物川、十 文字、山内	水 害	<p>7 月 5 日から 6 日にかけての大雨により、住家床上浸水 3 棟、床下浸水 65 棟、非住家の浸水 86 棟、農作物は 690ha を超える冠水被害が発生する。24 時間雨量では、7 月の観</p>	

平成 25 年	増 田	火 災	測史上最大となる 107.5 ミリを記録する。 10 月 25 日増田町亀田地内で住家 1 棟、車庫 1 棟、物置 2 棟、計 4 棟全焼。怪我人 2 名。損害額 671 万円。
	平 鹿	火 災	12 月 12 日平鹿町浅舞地内で住家 1 棟 100 m ² 全焼、部分焼 1 棟、半焼 1 棟、焼損面積 219 m ² 。死者 2 名。
	全 域	雪 害	1 月 7 日大雪対策連絡部設置、2 月 21 日に雪害対策部に移行する。2 月 26 日には山内分署観測で最深積雪 225 c m を観測する。雪害も多発し、除雪中の事故で 35 名（死亡 3 名、重傷 15 名、軽傷 17 名）、歩行中の転倒などで 26 名が救急搬送される。また、建物被害は非住家全壊 4 棟、非住家半壊 9 棟、一部破損 3 棟であった。
	全 域	風水害	4 月 6 日から 8 日にかけての大雨及び強風により、雄物川河川公園が冠水し、平鹿町で屋根トタン剥離、山内で電線切断の被害が発生する。
	大 雄	火 災	5 月 10 日大雄地内、住家 1 棟 211 m ² 全焼、住家 1 棟 36 m ² 部分焼、木造車庫のタキロン若干燃焼。怪我人 1 名、損害額 415 万円。
	十 文 字	火 災	5 月 22 日十文字町越前地内、住家 1 棟 152 m ² 、物置 10 m ² 全焼、部分焼 1 棟 22 m ² 、死者 2 名、損害額 397 万円。
	横 手	火 災	5 月 26 日横手市上境地内、住家併用寺院の庫裡部分 412 m ² 及び、物置 40 m ² 1 棟全焼。損害額 5,332 万円。
	大 雄	火 災	5 月 27 日大雄地内、住家併用作業小屋 1 棟 403 m ² 、車庫 16 m ² 、物置小屋 10 m ² 全焼。損害額 1,210 万円。
	平 鹿	風 害	8 月 20 日、強風により平鹿町上吉田地内で住家 1 棟屋根トタン剥離、非住家 2 棟全壊、1 棟半壊、4 棟一部破損、ビニールハウス一部倒壊の被害が発生する。
	平成 26 年	横 手	火 災
横 手		火 災	3 月 24 日横手市柳田地内、住家 1 棟 208 m ² 全焼、住家 1 棟 30 m ² 、非住家外壁 22 m ² 部分焼、エアコン室外機、エアコン配管カバー 2 本、網戸 1 枚焼損。損害額 1,038 万円。
横 手		火 災	4 月 5 日横手市杉目地内、住家 173 m ² 全焼。損害額 1,022 万円。
横 手		火 災	5 月 6 日横手市下八丁地内、住家 1 棟 317 m ² 全焼、普通自動車 2 台、廃車 1 台焼損。住家の外壁及び窓 133 m ² 、55 m ² 部分焼。損害額 4,278 万円。
	横 手	火 災	6 月 28 日横手市清川町地内、住家 228 m ² 全焼、車庫外壁

平成 27 年	横手、大森 平鹿	風 害	16 m ² 部分焼、住家 25 m ² 、24 m ² 部分焼。怪我人 1 名。損害額 903 万円。
	平 鹿	火 災	12 月 17 日から 18 日にかけて暴風雪により、看板割れ 1 件、電線より火花 6 件の被害が発生する。
	横 手	火 災	2 月 9 日平鹿町下鍋倉地内、住家 231.38 m ² 全焼、死者 2 名、損害額 555 万円。
	横 手	火 災	2 月 10 日横手市睦成地内、住家併用農作業場 455.36 m ² 全焼、怪我人 1 名、損害額 2,243 万円。
	横手、大森 増田、十文字、雄物川	風 害	3 月 10 日から 11 日にかけて暴風雪により、住家・非住家屋根トタン剥離 7 件、道路に飛散物 2 件、非住家シャッターの中柱破損 1 件、その他風害 2 件の被害が発生する。
	横 手	火 災	4 月 30 日横手市金沢中野地内、住家 248.31 m ² ・農作業小屋 157.26 m ² ・物置小屋 39.66 m ² 全焼、パイプ車庫の壁及び屋根 53 m ² ・スピードスプレイヤー 1 台焼損、怪我人 1 名、損害額 1,823 万円。
	横 手 十 文 字	水 害	9 月 11 日台風 18 号による大雨の影響で、浸水 2 件、道路冠水 3 件、その他冠水 1 件の被害が発生する。
	横 手	火 災	9 月 26 日横手市横山町地内、下宿 417.07 m ² 全焼、住家屋根 36.41 m ² ・建具 1.09 m ² 部分焼、電気メーター及び外部コンセント・変電所の機械・普通自動車 5 台・軽自動車 2 台焼損、怪我人 1 名、損害額 6,837 万円。
	横 手	風 害	10 月 2 日午前 10 時頃、1 時間瞬間最大風速 18.5m、平均 10.4m の強風が発生。住家屋根トタン剥離 1 件、道路への倒木 2 件の被害が発生する。
	全 域	風 害	10 月 8 日から 9 日にかけて暴風により、住家・非住家屋根トタン剥離 10 件、倒木 2 件、その他風害 4 件の被害が発生する。
平成 28 年	増 田	火 災	10 月 15 日増田町亀田地内、住家 111 m ² 全焼、農機具格納庫外壁 3 m ² 及び窓ガラス 2 枚 (0.69 m ²)・柿立木 1 本・杉立木 1 本・街路灯 1 灯焼損、怪我人 1 名、損害額 120 万円。
	十 文 字	火 災	12 月 2 日十文字町睦合地内、住家 215 m ² ・物置 236 m ² 全焼、住家床面積 25 m ² ・表面積 50 m ² 焼損、軽乗用車運転席側フロント窓ガラス 1 枚破損、怪我人 1 名、損害額 1,504 万円。
	横 手	火 災	2 月 2 日横手市金沢本町字本町地内、住家 1 棟全焼、物置小屋 1 棟部分焼、車庫 1 棟部分焼、住家 1 棟部分焼、空き家 1 棟部分焼、カーポート 1 基ぼや、住家 1 棟ぼや、負傷者 1 名、損害額 715 万円。

平成 29 年	雄物川	火 災	2月14日雄物川町南形字町屋敷地内、住家1棟全焼、パイプ車庫1基焼損、損害額554万円。
	横手	火 災	2月20日横手市上八丁字天神町地内、きのこ栽培小屋2棟全焼、きのこ栽培小屋1棟部分焼、農業用ビニールハウス1棟焼損、損害額2,665万円。
	増田	火 災	2月26日増田町増田字伊勢堂南地内、住家1棟全焼、住家2棟部分焼、損害額1,000万円。
	全域	風 害	4月17日から18日にかけて発生した強風により、住家、非住家トタン剥離19件、倒木2件の被害が発生する。
	増田	火 災	5月3日増田町増田字田町地内、住家1棟部分焼、死者1名、損害額93万円。
	横手	火 災	6月11日横手市安田字ブンナ沢地内、住家1棟全焼、負傷者1名、損害額1,128万円。
	横手	火 災	9月20日横手市赤坂字後野地内、住家1棟全焼、住家1棟部分焼、事務所1棟部分焼、スチールパイプ製車庫1基焼損、スチール製物置1台焼損、廃車1台焼損、普通自動車1台焼損、損害額317万円。
	増田	火 災	1月11日増田町戸波字姥懐地内、農作業小屋1棟全焼、農機具格納庫1棟部分焼、自家用軽貨物自動車1台焼損、杉立木10本焼損、損害額1,629万円。
	雄物川	火 災	1月21日雄物川町今宿字西ノ在家地内、住家兼作業小屋1棟全焼、美容店併用住家1棟全焼、車庫兼倉庫1棟部分焼、住家1棟部分焼、農作業小屋1棟部分焼、死者1名、損害額889万円。
	大森	火 災	4月6日大森町上溝字松原地内、住家1棟全焼、住家3棟部分焼、作業場兼物置1棟部分焼、物置小屋1棟部分焼、負傷者2名、死者1名、損害額798万円。
	全域	風 害	4月11日から13日にかけて発生した強風により、人的被害1件、住家、非住家トタン剥離9件の被害が発生する。
	全域	風 害	4月17日から18日にかけて発生した強風により、住家、非住家トタン剥離8件の被害が発生する。
横手	火 災	5月4日横手市朝倉町地内、物置小屋兼車庫1棟全焼、長屋住家1棟半焼、事務所1棟部分焼、スチール製物置1台焼損、損害額2,223万円。	
山内	火 災	7月6日横手市山内土淵字二瀬地内、店舗併用住家1棟全焼、住家2棟全焼、損害額5,070万円。	
全域	水 害	7月22日夕方より大雨となり、横手市では1時間の降水量	

平成 30 年	横 手	火 災	68.5mm、期間降水量 316.5mmと観測史上最大の降雨を記録し、大森地区、横手地区を中心に多くの浸水、冠水被害が発生した。人的被害は軽傷者 3 名、避難所からの救急搬送者 2 名、救助人員 21 名。物的被害は住家半壊 2 棟、床上浸水 210 棟、床下浸水 440 棟、道路損壊 34 箇所、崖崩れ 72 箇所、孤立状況は 94 世帯、255 名である。
	横 手	火 災	8 月 22 日横手市南町地内、下宿 1 棟全焼、空き家 2 棟全焼、物置 1 棟全焼、学童施設 1 棟部分焼、軽自動車 1 台焼損、普通自動車 1 台焼損、自動販売機 1 台焼損、死者 5 名、負傷者 10 名、損害額 1,671 万円。
	横 山 山 内	風 害	9 月 20 日上空約 5,500 メートルに氷点下 21 度前後の寒気を伴った低気圧に暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で大気の状態が不安定となり、県南を中心に雷を伴った強い風雨に見舞われた。横手市では突風とみられる強風が発生し、倒木や住家の屋根が飛ばされるなどの被害が相次いだ。人的被害無し。住家一部破損 13 棟、非住家破損 33 棟、倒木被害 18 件。
	横 手	火 災	11 月 7 日横手市八幡字石町地内、長屋住宅 1 棟全焼、住家 2 棟部分焼、死者 1 名、損害額 108 万円。
	全 域	風 雪 害	3 月 1 日から 2 日にかけて発生した暴風雪により、住家住家一部破損 7 棟、公共建物 1 棟トタン剥離非住家倒壊 4 棟、剥離 4 件、車両の立往生 4 件、積雪による道路冠水 1 件の被害が発生する。
	増 田	火 災	4 月 13 日増田地内店舗兼住家 1 棟部分焼、死者 1 名。損害額 89 万円
	大 森	火 災	4 月 22 日袴形地内住家 1 棟、非住家 2 棟全焼、住家 1 棟、車庫 1 棟部分焼。損害額 1,855 万円。
	横 手	火 災	8 月 15 日卸町地内倉庫兼事務所兼作業場 1 棟全焼、倉庫 1 棟、お堂部分焼、軽貨物自動車 1 台焼損。損害額 3,316 万円。
	全 域	風 害	9 月 4 日から 5 日にかけて台風 21 号による強風の影響で、住家一部破損 4 棟、非住家トタン剥離 7 棟、倒木 4 件、公共建物 1 棟の被害が発生する。
	大 雄	火 災	10 月 4 日田根森東地内住家 1 棟、非住家 1 棟全焼。損害額 243 万円。
平 鹿	火 災	12 月 10 日下吉田地内住家 1 棟全焼、損害額 998 万円。	

平成31年	横手	火災	2月7日安田地内住家1棟全焼、負傷者1名。損害額256万円。
	平鹿	火災	2月9日上吉田地内住家1棟全焼、普通自動車1台、軽自動車1台焼損。損害額530万円。
	十文字	火災	2月25日睦合地内住家1棟、住家2棟部分焼、お堂1棟焼損、負傷者1名。損害額742万円。
	横手	火災	3月25日杉目地内住家1棟非住家1棟全焼、非住家1棟部分焼、パイプ車庫焼損、普通自動車1台焼損。損害額553万円。
	増田	火災	4月6日増田地内住家1棟全焼、防犯灯1基焼損、負傷者1名、損害額266万円。
令和元年	全域	風害	5月20日強風の影響でトタン剥離住家5棟、非住家9棟、倒木1件の被害が発生する。
	十文字	火災	6月2日梨木地内住家1棟全焼、住家2棟、非住家2棟損害額650万円。
令和2年	全域	風水害	8月10日雷雨の影響で住家トタン剥離4棟、住家床下浸水3棟、落雷による被害2件、道路冠水4件、倒木5件の被害が発生する。
	横手	火災	9月25日八幡地内住家1棟全焼、負傷者2名、損害額1,720万円。
	雄物川	火災	11月5日造山地内住家1棟全焼、死者1名、損害額461万円。
	横手	火災	12月6日金沢本町地内住家4棟、非住家3棟全焼、住家3棟部分焼、住家1棟ぼや、損害額3,116万円。
	全域	風害	3月20日強風の影響で住家一部破損4件、トタン剥離4件の被害が発生する。
	増田	火災	7月3日増田地内住家1棟全焼、死者1名、損害額2,324万円。
	平鹿	火災	10月20日下吉田地内住家1棟全焼、半焼1棟、部分焼2棟、負傷者1名、損害額1,391万円。
令和2年	平鹿	火災	11月6日醍醐地内住家1棟全焼、住家1棟部分焼、損害額1,258万円。
	大森	火災	12月12日板井田地内住家1棟全焼、住家1棟、非住家1棟部分焼、死者1名、負傷者1名、損害額484万円。
	雄物川	火災	12月15日西野地内住家1棟全焼、住家1棟、非住家1棟部分焼、損害額742万円。

令和3年	全 域	雪 害	<p>1月4日積雪189センチメートルを記録し、横手市は大雪災害対策本部を設置。</p> <p>1月6日から自衛隊による活動。</p> <p>1月7日に災害救助法適用が決定。</p> <p>2月5日に観測史上最大203センチメートルの積雪を記録。人的被害は死者3名を含む計79名。</p> <p>建物被害は住家1棟、非住家19棟の全壊を含む計471棟。農業被害は農業用ハウス1844棟、作業小屋・畜舎等159棟の全壊を含む2707件の被害。</p>
	増 田	火 災	1月11日亀田地内住家1棟全焼、損害額840万円。
	平 鹿	火 災	1月17日浅舞地内非住家1棟半焼、損害額645万円。
	全 域	風 害	2月16、17日強風の影響で住家一部破損38棟、トタン剥離住家56棟、倒木4件、負傷者1名の被害が発生する。
	大 雄	火 災	6月6日大雄地内住家1棟全焼、住家1棟部分焼、非住家1棟ぼや、損害額442万円。
	大 森	火 災	6月10日大森地内住家1棟全焼、非住家3棟全焼、住家1棟半焼、住家1棟部分焼、住家3棟部分焼、損害額8,547万円。
	全 域	風 水 害	6月14日強風、大雨の影響で非住家全壊1件、一部破損3件、倒木3件、トタン剥離3件の被害が発生する。
	増 田	火 災	11月17日亀田地内住家1棟全焼、住家2棟ぼや、損害額843万円。
	十 文 字	火 災	12月3日越前地内住家1棟全焼、住家1棟部分焼、住家2棟ぼや、非住家4棟部分焼、非住家1棟ぼや、損害額733万円。
	令和4年	大 雄	火 災
山 内		土 砂	8月13日三又地内において大雨による土砂崩れが発生。人的、建物被害無し。同日、土湊地内で私道脇の法面が崩れたことによる住家1件の孤立が発生。人的、建物被害は無し。
全 域		風 害	9月6日強風の影響で住家屋根トタン剥離1件、非住家屋根トタン剥離3件、一部破損1件の被害が発生する。
横 手		火 災	9月10日安本地内非住家（工場）1棟半焼、傷者1名、損害額1億4092万円。
平 鹿		火 災	9月19日浅舞地内住家1棟、非住家2棟全焼、住家1棟、非住家1棟部分焼、住家1棟ぼや、損害額2,283万円。

令和5年	大雄	火災	11月30日大雄地内住家1棟全焼、損害額410万円。
	横手	火災	12月28日杉沢地内住家1棟全焼、住家1棟ぼや、傷者1名、損害額100万円。
	平鹿	火災	4月2日中吉田地内住家1棟全焼、非住家1棟全焼、非住家部分焼1棟、損害額367万円。
	雄物川	火災	5月3日沼館地内住家3棟全焼、住家2棟部分焼、非住家1棟部分焼、非住家1棟ぼや、傷者1名、損害額1,514万円。
	平鹿	火災	5月22日浅舞地内住家1棟全焼、死者1名、傷者1名、損害額120万円。
	横手	火災	5月27日田中町地内非住家(飲食店)1棟半焼、傷者2名、損害額317万円。
	横手、増田	水害	7月15日から7月16日にかけて秋田県を中心に記録的な大雨となる。土砂崩れ2件、道路冠水2件、倒木2件の被害が発生する。
	平鹿	火災	8月31日樽見内地内住家1棟全焼、非住家1棟半焼、非住家1棟部分焼、損害額335万円。
	平鹿	火災	9月24日浅舞地内非住家1棟全焼、損害額2万円。
	横手	火災	9月29日明永町地内住家1棟全焼、非住家1棟部分焼、傷者1名、損害額544万円。
十文字	火災	10月17日宝龍地内住家2棟全焼、死者1名、傷者1名、損害額318万円。	
雄物川	火災	12月25日谷地新田地内住家2棟全焼、住家3棟部分焼、非住家2棟部分焼、住家1棟ぼや、死者1名、傷者2名、損害額2,229万円。	